4-158-602-**02**(1)

SONY

BRAVIA

地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン
液晶テレビ　取扱説明書

KDL-46ZX5/KDL-52ZX5

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

SONY　地上・BS・110度CSデジタルハイビジョン液晶テレビ　KDL-46ZX5/KDL-52ZX5

「接続ガイド」ホームページ
本機の接続などに関する情報を、以下のホームページでも確認できます。
http://www.sony.co.jp/im/

「Q&A」ホームページ
お客様からよくあるお問い合わせと解決法に関する情報を、以下のホームページで確認できます。
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などはホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話…0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「200」+「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通）0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

4158602020

この説明書は、古紙70％以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。

Printed in Japan

⚠警告 安全のために

本機は正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2 ～ 7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。172ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

お買い上げ時とその後1年に1度は「安全点検チェックリスト」（174ページ）に従って点検してください。
1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。（有料）
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。
また、本機の通風孔付近にほこりが付着するときがありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーご相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- テレビを見ているときや、スタンバイ状態（画面が消えていて、本機のスタンバイランプが赤色に点灯中）のときに、本機内部から異常な音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- 本機を落としたり、キャビネットを破損したりしたときは

1. 電源を切る
2. 電源プラグをコンセントから抜く
3. お買い上げ店またはソニーご相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号

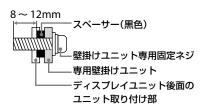
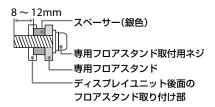
下記の注意を守らないと**火災・感電・破裂**により**死亡**や**大けが**などの人身事故が生じます。

壁に取り付ける場合は、必ず専用の壁掛けユニットを使用し、専門の業者に取り付けてもらう。また、設置の時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の人が取り付けたり、壁への取り付けが不適切だと、ディスプレイユニットが落下するなどして、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

次のことを守って、スタンドや壁掛けユニットにディスプレイユニットを設置する

誤った取り付け方法で設置すると、ディスプレイユニットが落下し、大けがをすることがあります。

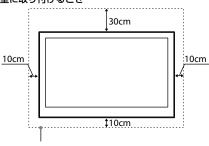
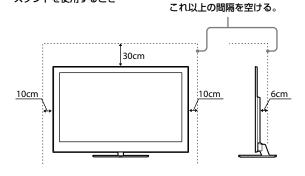
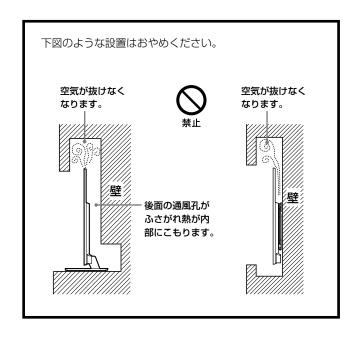
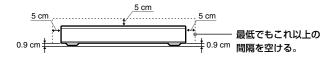
- 壁掛けユニットの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- 転倒防止の処置を必ず行う。転倒防止の処置をしないと、ディスプレイユニットが倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などとの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。
- 壁掛けユニットの取り付けに際しては、壁掛けユニットに同梱されている専用固定ネジをご使用ください。専用固定ネジは、取付金具の取り付け面からの長さが、8 ～ 12mmに設定されています(壁掛けユニットによってネジ径やネジの長さは異なります)。専用固定ネジ以外のネジを使用すると、落下やディスプレイユニット内部の破損の原因になります。

本機を医療機関に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

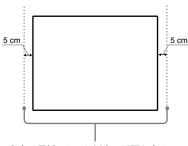
下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

周囲に間隔を空ける

周囲に間隔を空けないで設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。
本機を壁に近づけすぎると、壁などにほこりが付着し、黒くなることがあります。
風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

壁に取り付けるとき

スタンドを使用するとき

メディアレシーバーユニット(前から見た図)

上下左右に通風孔があります。充分空気が抜けるように、正しくご使用ください。

メディアレシーバーユニット(上から見た図)

メディアレシーバーユニット全体を密閉しないでください。密閉すると熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。特に前面、後面は開放状態にしてください。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 密閉された棚や押入の中に置かない。
- ホットカーペットの上に置かない。
- 布をかけない。
- メディアレシーバーユニットの上に物や他機器を置かない。
- 壁や家具に密着して置かない。また毛足の長いじゅうたんや布団などの上に置かない。

電源(コード、プラグ)

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V(50/60Hz)以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。
海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。

電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。
他機器との接続が終わった後に、電源プラグを壁のコンセントに差してください。

電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは必ずコードでなくプラグを持って抜いてください。

電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーご相談窓口に交換をご依頼ください。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

使用

本機にぶらさがらない

本機が壁からはずれたり、倒れたりして、本機の下敷きになり、大けがの原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

本機の上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。

メディアレシーバーユニットの上に重い物を載せない

故障の原因となります。

メディアレシーバーユニットの上に乗らない

倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

移動、設置

正しい方法で運搬/移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
本機を持ち運ぶ際には、13ページをご参照の上、正しい方法で行ってください。

使用・設置場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い時間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

不安定な場所に置かない

本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
平らで充分に強度があり、落下しない所に置いてください。

禁止

水のある場所に置かない

水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。

風呂・シャワー室での使用禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。
銭湯や温泉の脱衣所などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。

禁止

乗物の中や船舶の中などで使用しない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。
塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。

禁止

屋外や窓際で使用しない

雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

禁止

ディスプレイユニットの表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまでディスプレイユニットに触れない

電源プラグをコンセントから抜かずにディスプレイユニットに触れると、感電の原因となることがあります。

接触禁止

目や口に液晶を入れない／ガラスの破片に触れない

液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手で触れたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。
また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。においを嗅ぐこともやめてください。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。
蛍光管の種類によっては、水銀が含まれる場合があります。

接触禁止

⚠注意　下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。
本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。
完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。
コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。

プラグをコンセントから抜く

人が通行するような場所に置かない

コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続･配置してください。

禁止

液晶画面の表面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

禁止

音量について

周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりして、隣近所への配慮を充分にし、生活環境を守りましょう。

アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

本機の温度について

長時間使用したときなどに、ディスプレイユニットの前面や後面の一部や、メディアレシーバーユニットの上部や側面が熱くなり、手で触れると熱く感じることもあります。
また、変形しやすいもの(オーディオテープやビデオテープなど)をメディアレシーバーユニットの上に置かないでください。

目次

テレビを見るために準備する

「接続ガイド」ホームページ
http://www.sony.co.jp/im/

他機器をつなぐ

「接続ガイド」ホームページ
http://www.sony.co.jp/im/

基本的な使いかた

テレビを見る

見たい番組を探す

つないだ機器の映像を見る

ブラビアリンクを使う

ブラビアリンクについて詳しい説明
別冊の「ブラビアリンク接続・設定ガイド」

次のページにつづく⇨

さまざまな設定／調整をする

ネットワークで楽しむ

「接続ガイド」ホームページ
http://www.sony.co.jp/im/

予約する

困ったときは

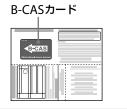
「Q&A」ホームページ
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

その他

本書では特に記載がない限り、KDL-46ZX5のイラストを使用しています。

付属品を確かめる

付属品一覧

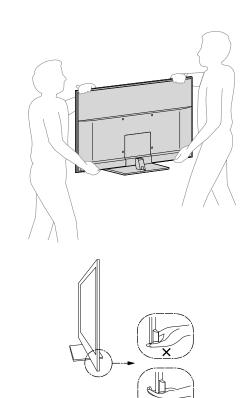
品名	図
• メディアレシーバーユニット(1個)	
• B-CAS(ビーキャス)カード(デジタル放送用ICカード)(1枚) 台紙に貼り付けてあります。	
• マルチリモコン(1個) • 単4形乾電池(2個)	
• VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブル(2.5m)(1本)	
• 電源コード(2m)(2本)	
• クリーニングクロス(1枚)	
• 取扱説明書 • かんたん設置ガイド • ブラビアリンク接続・設定ガイド • 保証書 • この機器の使用上の注意 (各1部)	

品名	図
• ディスプレイユニット(1個)	
• テーブルトップスタンド(1個)	
• スタンド取付用ネジ(＋PSW M4×12mm)(4本)	
• 端子カバー(1個)	
• 転倒防止用ベルト(1本) • 取付用ネジ(＋PSW M4×12mm)(1本) • 木ネジ(M3.8×20mm)(1本)	取付用ネジ 木ネジ
• スペーサー(黒色)(4個) • スペーサー(銀色)(4個) • フロアスタンド取付用ネジ(M6×20mm)(4本)	

別売りアクセサリーについて

他の機器との接続(☞22、32ページ)には、別売りアクセサリーが必要です。本書記載の別売りアクセサリーは、2009年8月現在のものです。万一品切れや生産完了のときはご容赦ください。

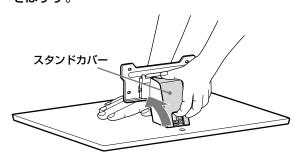
ディスプレイユニットの持ち運びかた

正しい方法で運搬／移動する

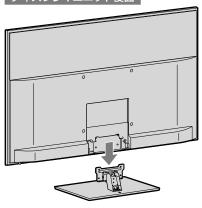
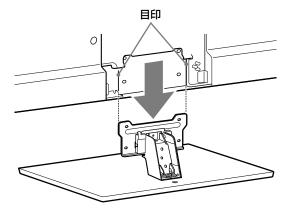
誤った方法で運搬したり移動したりすると、ディスプレイユニットが落下し、打撲や骨折をしたり、大けがや故障をすることがあります。
大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。
ディスプレイユニットの底面を持つときは、イラストのようにしっかりと持ってください。
運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。
特に、液晶画面を押さえたり、強い力が加わるような持ちかたをしないでください。
本機を運ぶときは、本機に接続されている電源プラグやケーブルなどをすべてはずしてください。
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
修理や引越しなどで本機を運ぶ場合は、お買い上げ時に本機が入っていた箱と、クッション材を使ってください。

スタンドの付けかた／はずしかた

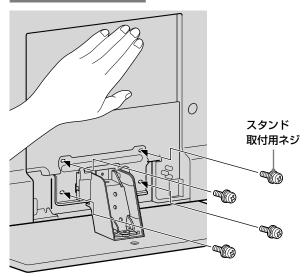
スタンドの付けかた

ディスプレイユニットに付属のテーブルトップスタンドを取り付けます。
取り付ける前に、付属のネジに合ったドライバーをご用意ください。

1 付属のテーブルトップスタンドのスタンドカバーをはずす。

2 ディスプレイユニットをテーブルトップスタンドに差し込む。

ディスプレイユニット後面のスタンド差し込み口の目印にスタンドを合わせて、ディスプレイユニットを差し込んでください。必ず2人以上で行ってください。

ディスプレイユニット後面

3 ディスプレイユニットとスタンドを付属のスタンド取付用ネジ4本で固定する。

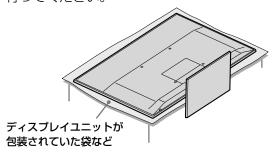
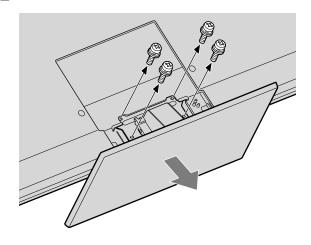
ディスプレイユニット後面

ご注意

電動ドライバーを使う場合、締め付けトルクは約1.5N·m {15kgf·cm} に設定してください。

スタンドのはずしかた

ディスプレイユニットを壁に掛けるときや別売りのフロアスタンドを使うときは、スタンドをはずしてください。

1 画面を下にしてディスプレイユニットを置く。

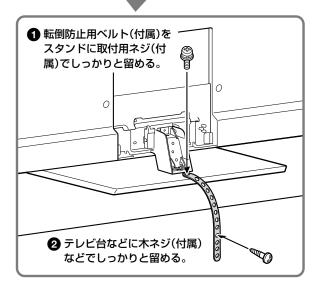
ディスプレイユニットより広い台の上に、ディスプレイユニットが包装されていた袋などを敷き、スタンド部分が台からはみ出るようにディスプレイユニットを載せてください。必ず2人以上で行ってください。

2 スタンド取付用ネジ4本をはずす。

ご注意

とりはずしたスタンドのネジは、壁掛けユニットやフロアスタンドの取り付けに使用しないでください。

ご注意

- ディスプレイユニットを持ち運ぶときは、下に敷いた包装袋などでディスプレイを覆ったまま移動してください。
- 画面に直接負荷や衝撃がかかると破損したり、傷がつく危険性があります。
- スタンドは両手でしっかり持つようにしてください。

ディスプレイユニットの転倒防止の処置をする

スタンドとテレビ台などに付属の転倒防止用ベルトを取り付けて、ディスプレイユニットが転倒しないようにします。

壁に掛けるとき

ディスプレイユニットを壁に掛けて使用するときは、必ず下記の別売りの壁掛けユニットをご使用ください。

SU-WL700（2009年8月現在）

詳しくは、壁掛けユニットの取扱説明書や本書の「別売りアクセサリーについて」（☞158ページ）をご覧になり、正しい手順で作業してください。

壁掛けユニットの取り付けは、お買い上げ店や工事店にご依頼ください。

ご注意

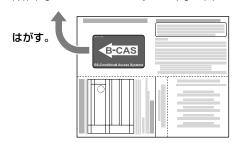
- 転倒防止の処置をしないと、ディスプレイユニットが転倒し、けがの原因となることがあります。
- テレビ台の種類により、付属の木ネジが使用できないときや、強度が充分とれないときには、お買い上げ店や工事店にご相談の上、市販のネジ（直径3 ～ 4mm）をご使用ください。

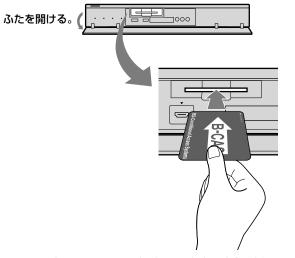
B-CAS（ビーキャス）カードをメディアレシーバーユニットに入れる

B-CASカード（デジタル放送用ICカード）はお客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。
デジタル放送を視聴するしないに関わらず、必ずB-CASカードを挿入してください。

次の手順は、電源を切った状態で行ってください。

1 同封の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

B-CASカードを貼ってある台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。

2 B-CASカードを奥までしっかり挿入する。

メディアレシーバーユニット前面

上の図のとおり、印刷された矢印の方向に挿入する。

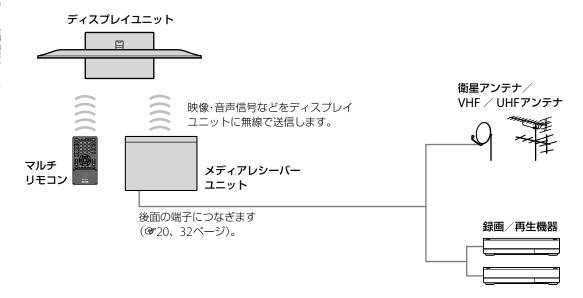
テレビを見るために準備する

ご注意

2004年4月から、番組の著作権保護のためにB-CASカードを利用しています。
B-CASカードを挿入しないと、すべてのデジタル放送を視聴できなくなります。

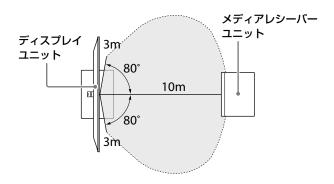
メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットを設置する

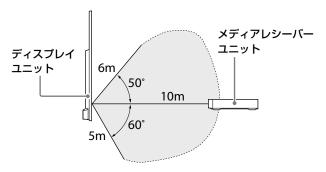
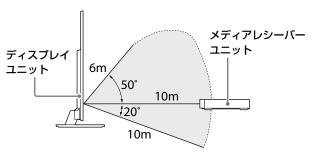
本機はメディアレシーバーユニットで受信したテレビ放送の映像･音声信号を、無線でディスプレイユニットに送信します。メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットを無線通信ができる範囲内に設置してください(☞19ページ)。
☞20 ～ 23ページの説明をご覧になって、お使いの環境にあわせてメディアレシーバーユニットとアンテナの接続を行ってください。
アンテナを接続するときは、電源コードをコンセントにつないでおかないでください。

無線通信のイメージ

本機の通信範囲

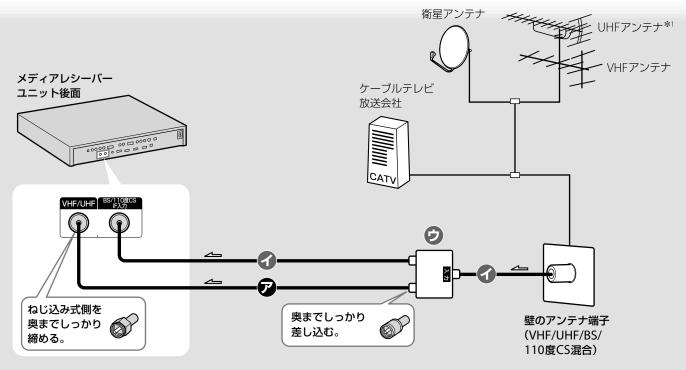
メディアレシーバーユニットの前面とディスプレイユニットの前面が向き合うように、下図の範囲内に配置してください。メディアレシーバーユニットの正面方向にディスプレイユニットが設置されている場合、最大の通信距離は約10mです。間に障害物がある場合や、設置場所の環境によって通信距離は短くなります。

詳しくは、「使用上のご注意」(☞172ページ)をご覧ください。

上から見た図

横から見た図

テーブルトップスタンドを使用しない場合

テーブルトップスタンドを使用する場合

ご注意

- 映像や音声に乱れが発生した場合には、メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの配置を確認してください。
- お買い上げ時のメディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの組み合わせのみ、無線通信(60GHz)ができます。
- 本機のご使用はご家庭内の同一の部屋に限ります。また、同一の部屋で使用できるのは、本機1組のみです。
- メディアレシーバーユニットやディスプレイユニットの前面を物で覆わないでください。無線通信(60GHz)に支障をきたします。
- メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの配置間隔は、50cm以上10m以内で設置してください。
- メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの間には、何も置かないようにしてください。
- メディアレシーバーユニットは、金属性のラックには設置しないでください。無線通信に支障をきたします。
- 20m四方のエリアでは、本機を含む2組以上の60GHz帯の無線装置を動作させないでください。電波の干渉により無線通信ができないことがあります。

アンテナをメディアレシーバーユニットだけにつなぐ

テレビを見るための準備する

地上波と衛星放送の信号が混合の場合

付属

ア VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブル（1本）

別売り

イ 衛星用同軸ケーブル（2本）

ウ 全端子電流通過型のCS ／ BS ／地上波放送対応分配器（EAC-DSD12など）（1個）*2

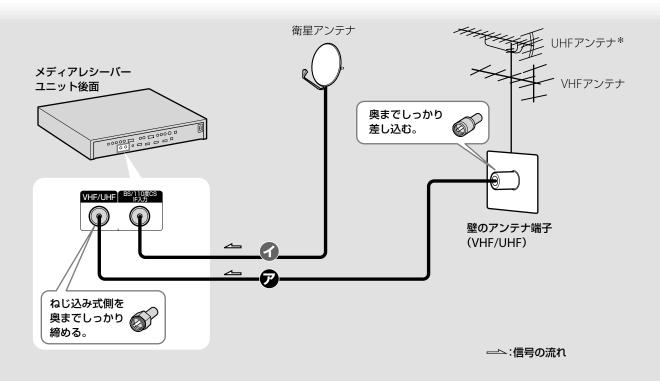
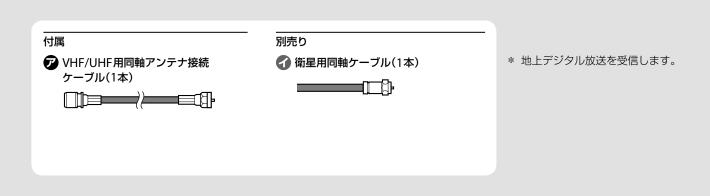
*1 地上デジタル放送を受信します。
*2 110度CSデジタル放送に対応したCS ／ BS ／地上波放送対応分波器（EAC－DSSM2など）もご使用できます。

ご注意

- 電波干渉を防ぐためにアンテナ線は電源コードからなるべく離してください。
- メディアレシーバーユニットの近くに無線電波をさえぎるようなものを置かないでください。特にメディアレシーバーユニットの上面にものを置くとディスプレイユニットとうまく通信ができないことがあります。
- これまでお使いのUHF用アンテナを地上デジタル用に使用する際に、受信エリア内であってもアンテナ設置状態、屋内配線状態でうまく映らなかったり、画面が乱れたりすることがあります。お買い上げ店などにご相談ください。
- BS/110度CS IF入力端子には、必ず衛星用同軸ケーブルをつないでください。
- 衛星用同軸ケーブルを接続する際には、同軸ケーブルの芯線が曲がらないよう、端子やコネクターに正しく差し込んでください。曲がると金属部分に触れ、ショートの原因となります。

- ショートすると、本機前面の電源ランプが緑色に点滅しますので、「故障かな？と思ったら」（☞130ページ）をご覧になり対処してください。

地上波と衛星放送の信号が個別の場合

＊ 地上デジタル放送を受信します。

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。お買い上げ店などにご相談ください。

フィーダー線

アンテナをメディアレシーバーユニットと録画機器につなぐ

地上波と衛星放送の信号が混合の場合

メディアレシーバーユニット後面

録画機器

衛星アンテナ

UHFアンテナ*

VHFアンテナ

VHF/UHF

BS/110度CS IF入力

地上デジタル/VHF/UHF

入力 出力

BS/110度CS-IF

コンバーター電気 DC15V/11V(最大4W)

CATV

ケーブルテレビ放送会社

奥までしっかり差し込む。

ねじ込み式側を奥までしっかり締める。

壁のアンテナ端子（VHF/UHF/BS/110度CS混合）

右−音声−左　映像

映像／音声端子をオ～ケのケーブルで接続してください。

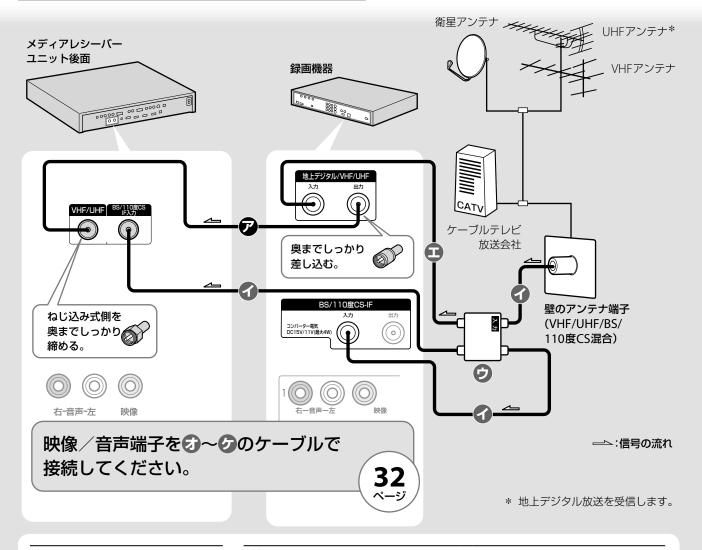
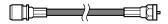
32ページ

→:信号の流れ

＊ 地上デジタル放送を受信します。

付属

ア VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブル（1本）

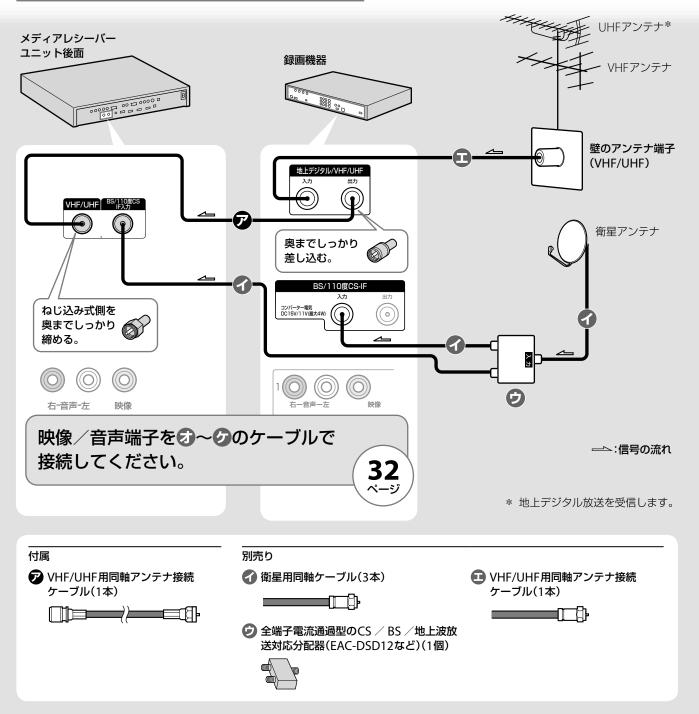
別売り

イ 衛星用同軸ケーブル（3本）

ウ 全端子電流通過型のCS ／ BS ／地上波放送対応分配器（EAC-DSD13など）（1個）

エ VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブル（1本）

ご注意

- つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
  デジタル放送対応の録画機器では、録画機器の取扱説明書にある接続を推奨します。
- 電波干渉を防ぐためにアンテナ線は電源コードからなるべく離してください。
- メディアレシーバーユニットの近くに無線電波をさえぎるようなものを置かないでください。特にメディアレシーバーユニットの上面にものを置くとディスプレイユニットとうまく通信ができないことがあります。
- これまでお使いのUHF用アンテナを地上デジタル用に使用する際に、受信エリア内であってもアンテナ設置状態、屋内配線状態でうまく映らなかったり、画面が乱れたりすることがあります。お買い上げ店などにご相談ください。
- BS/110度CS IF入力端子には、必ず衛星用同軸ケーブルをつないでください。

地上波と衛星放送の信号が個別の場合

メディアレシーバーユニット後面

録画機器

UHFアンテナ＊

VHFアンテナ

壁のアンテナ端子（VHF/UHF）

衛星アンテナ

VHF/UHF　BS/110度CS IF入力

地上デジタル/VHF/UHF　入力　出力

奥までしっかり差し込む。

ねじ込み式側を奥までしっかり締める。

BS/110度CS-IF　入力　出力

コンバーター電気 DC15V/11V(最大4W)

右-音声-左　映像

映像／音声端子をオ～ケのケーブルで接続してください。

32ページ

→：信号の流れ

＊ 地上デジタル放送を受信します。

付属

ア VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブル（1本）

別売り

イ 衛星用同軸ケーブル（3本）

ウ 全端子電流通過型のCS ／ BS ／地上波放送対応分配器（EAC-DSD12など）（1個）

エ VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブル（1本）

- 衛星用同軸ケーブルを接続する際には、同軸ケーブルの芯線が曲がらないよう、端子やコネクターに正しく差し込んでください。曲がると金属部分に触れ、ショートの原因となります。

- ショートすると、本機前面の電源ランプが緑色に点滅しますので、「故障かな？と思ったら」（☞130ページ）をご覧になり対処してください。
- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。お買い上げ店などにご相談ください。

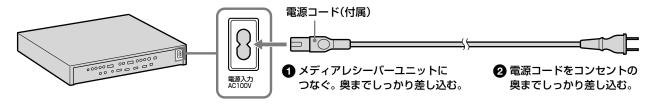
フィーダー線

- 衛星アンテナから録画機器を経由してメディアレシーバーユニットのBS/110度CS IF入力端子につながないでください。110度CSデジタルを受信できないことがあります。

電源コードをつなぐ

すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつなぎます。

メディアレシーバーユニット

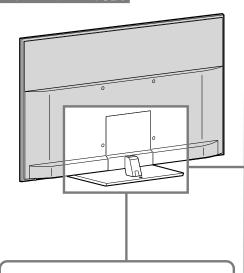
メディアレシーバーユニット後面

ディスプレイユニット

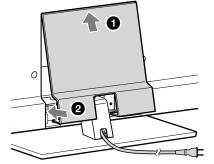
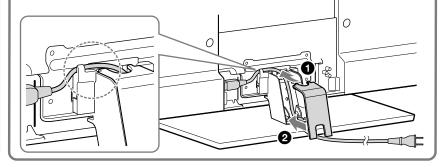
ディスプレイユニット後面

1 電源コード(付属)をディスプレイユニットにつなぐ。

2 スタンドカバーを付ける。

❶を差し込んで、❷をはめます。

電源コードをはさみ込まないように注意してスタンドカバーを付けてください。

3 端子カバーを付ける。

❶を入れてから、❷をはめます。

4 電源コードをコンセントの奥までしっかり差し込む。

ご注意

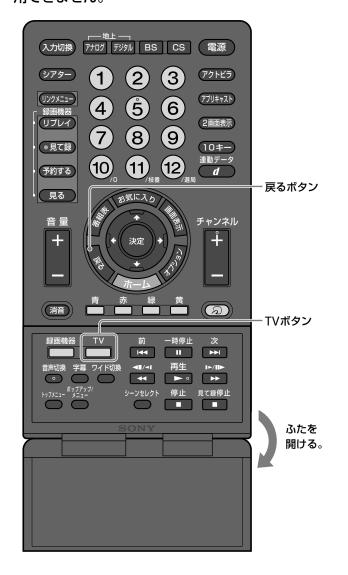
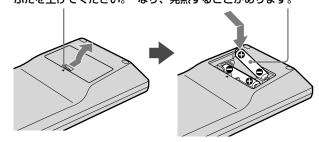
DVDレコーダーなどの他機器をつなぐときも、すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつないでください。

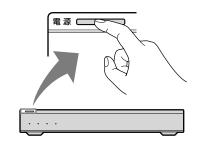
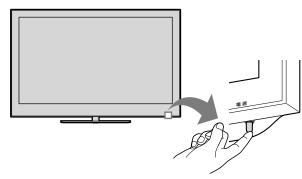
マルチリモコンを準備する

お買い上げ後初めて本機の電源を入れると、お使いになるために必要な設定が順番に表示されます。

- **マルチリモコン登録**
- **かんたん初期設定（☞27ページ）**
- **かんたん機能設定（☞30ページ）**

まず、付属のマルチリモコンを登録してください。

付属のマルチリモコンは、本機に登録しないと使用できません。

1 マルチリモコンに電池を入れる。

2 メディアレシーバーユニットまたはディスプレイユニットの電源スイッチを押す。

自動的にメディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの電源が入ります。

メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットが無線で接続されて、メディアレシーバーユニット前面のLINKランプ（☞136ページ）が点灯します。

無線接続されたあと、ディスプレイユニットにマルチリモコン登録画面が表示されます。

次のページにつづく⇨

ご注意

- マルチリモコンのふたを開けるときに、指などをはさまないようにご注意ください。
- RFマークの付いた機器のみ登録や操作できます。登録方法について詳しくは、別冊の「ブラビアリンク接続・設定ガイド」や登録する機器の取扱説明書、または☞74ページをご覧ください。

3 **マルチリモコンのふたの中の[TV]を押しながら、(戻る)を押し続ける。**

「登録を完了しました。」と表示されます。

引き続き[かんたん初期設定]（☞27ページ）を行ってください。

ご注意

- [登録しない]を選んだ場合は、必要によりあとで再登録してください。再登録のときは、ディスプレイユニットのボタン（☞179ページ）でホームメニューから(設定)→(かんたん設定)→[マルチリモコン登録]の順に選んでください。
- マルチリモコンの登録時、TVボタンと録画機器ボタンの両方が点滅して登録できない場合があります。このときは電池の電圧が不足していますので、電池を交換してください。

かんたん初期設定をする

地上アナログ、地上·BS·110度CSデジタルの受信設定は、[かんたん初期設定]で一度にできます。画面のメッセージに従い、マルチリモコンで設定してください。

1 かんたん初期設定を始める(画面1)。

画面1 かんたん初期設定開始	表示されたメッセージをよくお読みになり、→を押して、画面に従って設定してください。

2 地上アナログの受信設定をする(画面2 ~ 5)。

画面2 地上アナログ受信設定開始	[アナログ放送の設定をする]を選んでください。 [デジタル放送の設定をする]を選ぶと、地上アナログの設定をせずに、地上デジタルの受信設定に進みます。
画面3 チャンネルの登録方法を選ぶ	[オート]は、受信地域を選んで登録できます。チャンネルスキャンしないので、かんたんにチャンネル登録できます。 [スキャン]は、下記のようなときに選んでください。 • 隣接地域の放送も受信したいとき • ケーブルテレビ(CATV)のとき • 受信地域がわからないとき 受信地域について詳しくは、「地域別チャンネル表」(☞149ページ)をご覧ください。
画面4 放送局の地域を設定する	お住まいの地域と放送局がある地域とで異なる場合があります。お住まいの地域で一般的とされている放送局所在地を選んでください。
画面5 登録チャンネルを確認する	登録されたチャンネルを手動で修正することもできます。

3 地上デジタルの受信設定をする(画面6 ~ 10)。

画面6 デジタル放送受信を選択する	[デジタル放送の設定をする]を選んでください。 [画質モードの設定をする]を選ぶと、デジタル放送の設定をせずに画質モード設定に進みます。
画面7 受信地域を設定する	お住まいの地域のチャンネル設定のために必要です。
画面8 地上デジタル受信設定開始	[地上デジタル放送の設定をする]を選んでください。 [BS·CS放送の設定をする]を選ぶと、地上デジタルの設定をせずに、BS·110度CSデジタルの受信設定に進みます。
画面9 チャンネルの登録方法を選ぶ	[オート]は、受信地域を選んで登録できます。 [スキャン]は、下記のようなときに選んでください。 • 初めてチャンネルを登録するとき • 隣接地域の放送も受信したいとき • 視聴する地上アナログ放送局の地域を選んでいないとき • ケーブルテレビ(CATV)のとき • 放送局が増えたとき • 受信地域がわからないとき
画面10 登録チャンネルを確認する	[スキャン]を選んだときは、地上デジタルで受信できるチャンネルが表示されます。

4 BS·110度CSデジタルの受信設定をする(画面11 ~ 12)。

画面11 衛星受信設定開始	[BS·CS衛星アンテナレベルを確認する]を選んでください。 [郵便番号の設定をする]を選ぶと、BS·110度CSデジタルの受信設定をせずに、郵便番号設定に進みます。
画面12 アンテナレベルを確認する	アンテナレベルを確認しながら、衛星アンテナの向きを調整します。できるだけ最大値に近くなるように調整してください。

次のページにつづく⇨

5 郵便番号の設定をする(画面13)。

画面13 **郵便番号を設定する**	データ放送で天気予報などの地域密着の情報を受信するために設定します。

6 画質モードを設定する(画面14)。

画面14 **画質モード設定**	お好みの明るさ、画質に設定します。ここで設定した画質モードは各放送と入力で共通になります。画質モードについては、☞82ページをご覧ください。

7 スピーカー特性を設定する(画面15)。

画面15 **スピーカー特性**	ディスプレイユニットの設置方法に合わせて、音声の出力方法を設定します。 付属のテーブルトップスタンドを使う場合は[テーブルトップ]を選んでください。壁に掛けたり、別売りのフロアスタンドを使う場合は[壁掛け/壁寄せ]を選んでください。

8 現在時刻の設定をする(画面16)。

画面16 **現在時刻を設定する**	デジタル放送受信中に自動で時刻を取得しなかったときに、手動で設定します。 デジタル放送を受信するときはこの設定は不要です。

9 かんたん初期設定を終了する(画面17)。

画面17 **かんたん初期設定終了**	設定した放送を見ることができるようになります。

引き続き、より便利な機能設定を行うときは、[今すぐ設定をはじめる]を選んで、かんたん機能設定を始めます(☞30ページ)。
あとで、かんたん機能設定を行うときは、[今は設定しない]を選びます。
地上デジタルのチャンネルを今まで見ていた地上アナログのチャンネルと同じ数字ボタンに割り当てたいときは、☞29ページをご覧ください。

マンションなどの共同受信システムの場合は

[BS･CS:衛星アンテナ設定]を[切]にしてください。
ホームメニューから(設定)→(放送受信設定)→[アンテナ設定]→[BS･CS:衛星アンテナ設定]→[切]の順に選ぶ。

かんたん初期設定をあとでやり直すには

引越しなどでお住まいの地域が変わったときや地上デジタル放送が開始されたときは、かんたん初期設定をやり直してください。
ホームメニューから(設定)→(かんたん設定)→[かんたん初期設定]を選び、手順1～9(☞27ページ)を行う。

マルチリモコンボタンに希望のチャンネルを割り当てる

数字ボタンのチャンネルは自動で割り当てられるので、お好みのチャンネルと異なることがあります。その場合は手動でお好みのチャンネルに変更してください。

1 ホーム を押す。

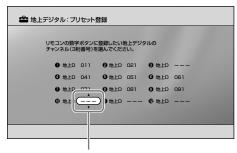
2 ←→で(設定)を選ぶ。

3 ↑↓で(放送受信設定)を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で[デジタル放送受信設定]を選んで、決定を押す。

5 ↑↓でチャンネルを変更したい放送のプリセット登録を選んで、決定を押す。

6 ↑↓←→で変更したい数字ボタンを選んで、決定を押す。

7 ↑↓で3桁のチャンネル番号を変更して、決定を押す。

10を押して051チャンネルを見たいときは、ここを「051」にする。

かんたん機能設定をする

より使いやすく、より便利な機能のために設定を行います。画面のメッセージに従い、マルチリモコンで設定してください。

1 かんたん機能設定を始める。

画面1 かんたん機能設定開始	表示されたメッセージをよくお読みになり、→を押して、画面に従って設定してください。

2 高速起動設定をする。

画面2 高速起動設定	マルチリモコンで電源を入れたときに、本機を早く起動できるようになります。[高速起動]については、☞100ページをご覧ください。

3 お好みナビを設定する。

画面3 お好みナビ設定	おすすめの番組をアイコンでお知らせします。お好みナビについては、☞53、99ページをご覧ください。

4 かんたん機能設定を終了する。

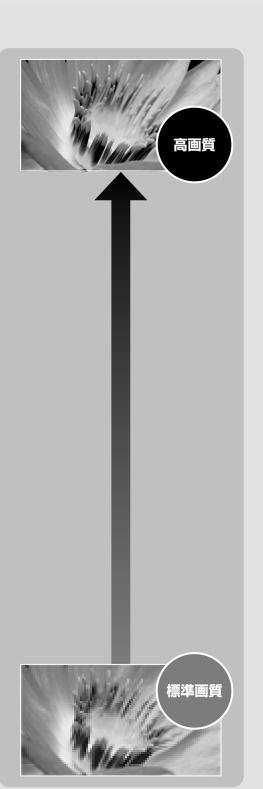
画面4 かんたん機能設定終了	本機を快適に使うための設定ができました。 これで、かんたん設定はすべて終了です。

ご注意

高速起動設定で[入]に設定すると、電源スタンバイ中の消費電力が上がりますので、ご注意ください。

本機で再生するために録画／再生機器をつなぐ

録画／再生機器にある映像端子と音声端子に応じて、以下のいずれかのケーブルでつないでください。

別売り

オ HDMIケーブル（1本）

ご注意

- ソニー製のHigh Speed HDMIケーブルをご使用ください。
- 市販のHDMIケーブルの中には、取り付けられないものもありますのでご注意ください。
- HDMI機器制御に対応したオーディオ機器をつないだときは、光デジタル接続ケーブルで音声の接続もしてください（☞34ページ）。

別売り

カ D映像ケーブル（1本）

キ 音声ケーブル（1本）

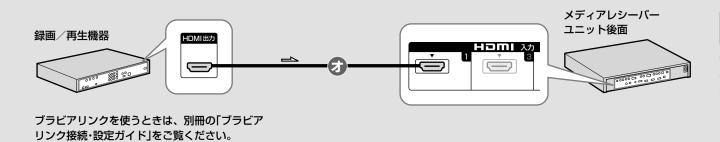
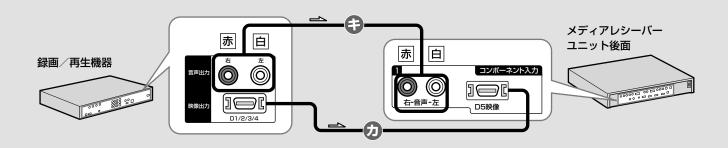
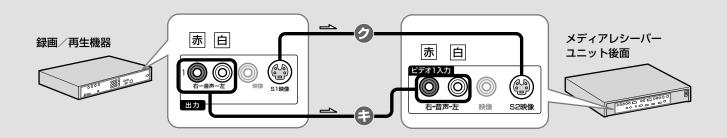
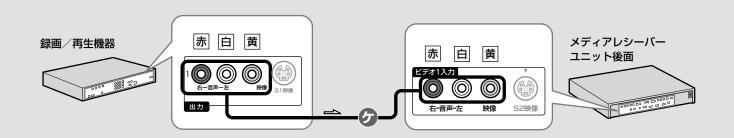
別売り

ク S映像ケーブル（1本）

キ 音声ケーブル（1本）

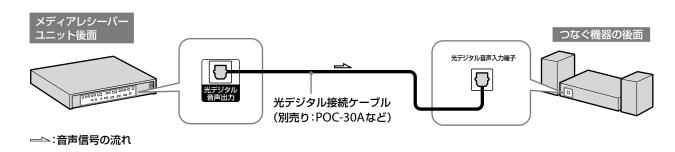
別売り

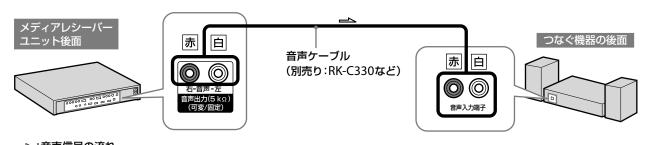
ケ 映像・音声ケーブル（1本）

ブラビアリンクを使うときは、別冊の「ブラビアリンク接続・設定ガイド」をご覧ください。

:映像・音声信号の流れ

オーディオ機器をつなぐ

光デジタル入力対応のオーディオ機器をつなぐとき

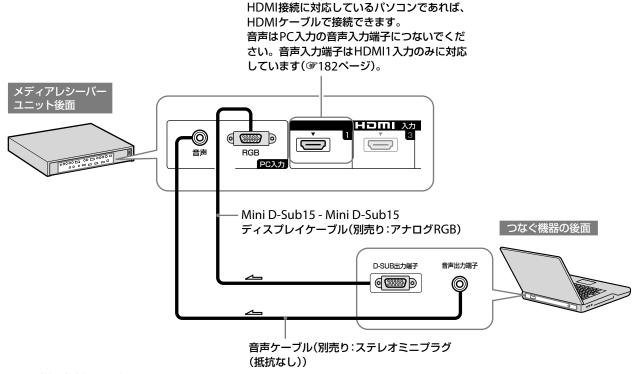
光デジタル音声入力端子を持つAVアンプや、ホームシアター機器などをつなぎます。

その他のオーディオ機器（2ch入力対応）をつなぐとき

ご注意

- つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- HDMI機器制御に対応したオーディオ機器をつなぐときは、HDMIケーブル（☞32ページ）と光デジタル接続ケーブルの両方での接続が必要です。
- 光デジタル音声出力端子につなぐオーディオ機器が対応している音声信号に合わせて、［光音声出力設定］（☞90ページ）を設定してください。

ちょっと一言

オーディオ機器を音声出力端子につないだときは、音声出力（可変／固定）端子から出力される音量を本機で調節できます（☞90ページ）。

パソコン(PC)をつなぐ

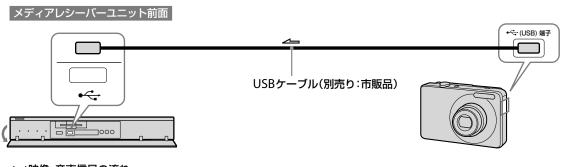
本機を別売りのディスプレイケーブルでパソコンにつなぐと、本機の画面にパソコンの画面を映し出せます。また、別売りの音声ケーブルをつなぐと、本機のスピーカーでパソコンの音声を楽しめます。

ご注意

パソコンの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ちょっと一言

- 対応信号については、☞164ページをご覧ください。
- パソコンの画像を見るための操作については「パソコン(PC)の画像をテレビに映す」(☞66ページ)をご覧ください。

デジタルカメラなどをつなぐ

ソニー製USBインターフェース付きデジタルカメラやデジタルビデオカメラなどをつなぐと、写真や音声、映像などを本機で再生できます。

:映像・音声信号の流れ

ソニー製デジタルカメラをUSBでつなぐときは、USB接続の設定をオートまたはMass Storageモードにしてください。USB接続設定について詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。

USB対応機種について

動作確認機種については下記のホームページで確認してください。
http://www.sony.co.jp/bravia/support/
動作確認機種以外の機器をつなぐと不具合が起こる場合があります。

記録メディアについて

- 動作確認されている記録メディアは、ソニー製"メモリースティック"の16GBまでです。
- 詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。
- 他の記録メディアについて動作を保証するものではありません。

本機の(USB)端子について

- Hi-Speed USBに対応しています。
- 一般的なUSB機器に対応するものではありません。
- USB機器を使用しないときは、はずしておいてください。
- ハブおよびハブ内蔵の機器には対応していません。

本機で再生できるファイルについて

- JPEG(拡張子が.jpgでMPF Baseline準拠のJPEG形式ファイル)
- JPEG(拡張子が.jpgでDCF2.0/Exif2.21準拠のJPEG形式ファイル)
- RAW(拡張子が.arwでARW/ARW2.0形式のファイル　簡易再生のみに対応)
- MP3(拡張子が.mp3で著作権保護されていないファイル)
- MPEG1(拡張子が.mpgのファイル)
- サイズが2GB以下のファイル

ただし、ファイルの仕様によっては上記の形式であっても再生できない場合があります。

ご注意

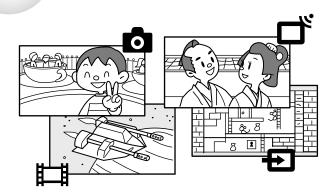
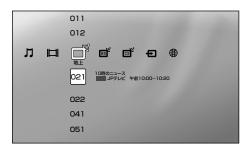
本機およびお使いの機器の不具合など、何らかの原因で記録内容が破損・消滅した場合などに対する保障はいたしかねますので、ご容赦ください。

本機でできること

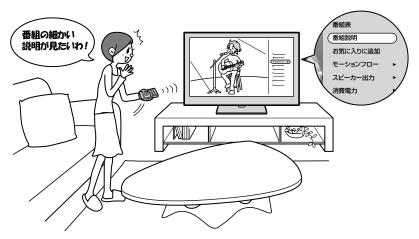
快適な操作性

ホームメニュー ―“XMB”（クロスメディアバー）

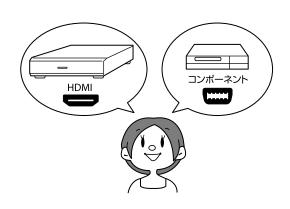
☞40ページ

放送やつないだ機器を快適に楽しめる！

オプションボタン

☞42ページ

そのときできる便利な機能を使える

入力切換

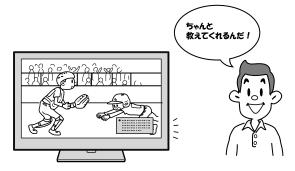
☞64ページ

メディアレシーバーユニットにつないだ機器を一覧表示で切り換え

デジタル放送でできる便利な機能

お好みナビ　☞53ページ

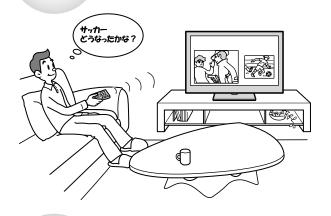
おすすめの番組を自動でお知らせ

イベントリレー　☞140ページ

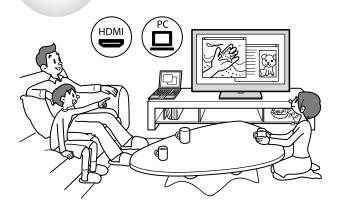
違うチャンネルで放送を継続するときに自動で選局

つないだ機器を楽しむ

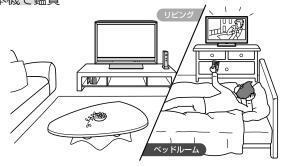
番組子画面　☞55ページ

放送とつないだ機器の映像を同時に視聴

PC画像視聴　☞66ページ

パソコンをつないで本機でチェック

写真鑑賞　☞68ページ

デジタルカメラの写真などを大画面で楽しむ

ホームネットワーク　☞116、145ページ

他の機器で保存した写真や音楽、映像などを本機で鑑賞

ホームメニュー一覧

「ホームメニュー」から操作をはじめましょう
マルチリモコンの（ホーム）を押すと、画面にホームメニューが表示されます。この画面から各種操作・設定画面に移動できます。

お問い合わせ・お知らせ（81ページ）

番組予約（120ページ）

番組表・検索（58ページ）

設定（80ページ）

フォト（68、116ページ）

ミュージック（68、116ページ）

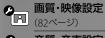
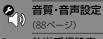
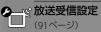
ビデオ（68、116、120ページ）

地上（46ページ）

設定

画質・映像設定（82ページ）

音質・音声設定（88ページ）

放送受信設定（91ページ）

機能設定（96ページ）

外部入力設定（101ページ）

通信設定（102ページ）

かんたん設定（104ページ）

フォト

ネットワーク機器名（116ページ）

USB（68ページ）

ミュージック

ネットワーク機器名（116ページ）

USB（68ページ）

ビデオ

ネットワーク機器名（116ページ）

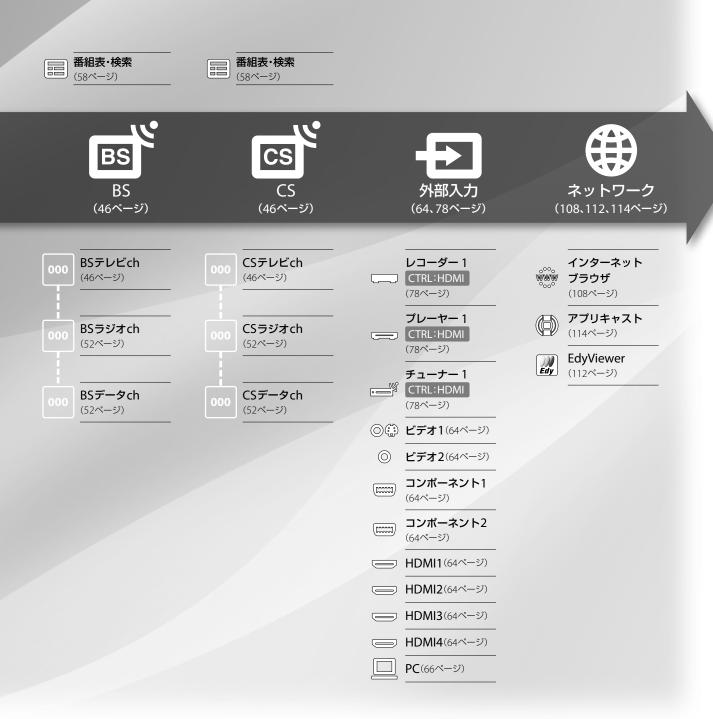
USB（68ページ）

地上

地上アナログch（46ページ）

地上デジタルテレビch（46ページ）

地上デジタルデータch（52ページ）

本機をインターネットにつないでいる場合、ホームメニューで追加情報が表示されることがあります。表示を消すには、追加情報が表示されている状態で、オプションの[追加情報表示]を[切]にしてください。オプションについて、詳しくは☞42ページをご覧ください。

マルチリモコン操作ボタンの説明は☞42ページをご覧ください。

かんたんなマルチリモコン操作

マルチリモコンはあらかじめ登録しておいてください(☞25ページ)。

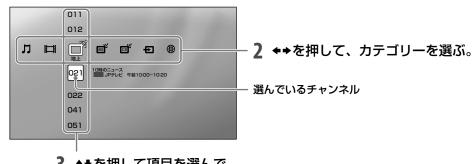
ホームボタン—操作や設定すべての「入り口」

放送を見たり、予約したり、お好みの設定に変更したりなど本機でできることの入り口となるのが、ホームメニューです。

1 [ホーム]を押す。

ホームメニューが表示されます。

2 ←→を押して、カテゴリーを選ぶ。

選んでいるチャンネル

3 ↑↓を押して項目を選んで、(決定)を押す。

オプションボタン—そのとき「できること」を表示

オプションを使えば、そのときにできる便利なことが表示されるので、通常の手順よりも早く操作できます。

1 (オプション)を押す。

オプションが表示されます。

2 ↑↓を押して項目を選んで、(決定)を押す。

オプションの[項目の並び換え]を選んで設定すると、よく使う項目順に並べられます。

この取扱説明書では、オプションでできることを、以下のマークで紹介しています。

オプションでできること…

便利なボタン

ボタン1つでできる、便利な操作です。

マルチリモコンのボタンについては、「各部の名前」（☞178ページ）もご覧ください。

本機で楽しめる放送について

本機では、以下のような放送が楽しめます。

テレビ放送

地上アナログ放送（従来のテレビ放送）

従来の地上アナログ放送を引き続きご覧いただけます。
本機では、オートワイド機能を使って、横縦比4:3の映像をワイド画面に広げて違和感無く見ることができます。

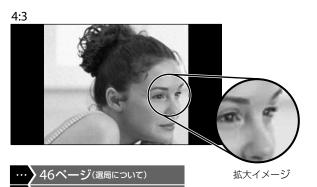
ご注意

番組表や番組説明、番組検索、お好みナビなどの機能は地上アナログ放送には対応していません。

4:3

拡大イメージ

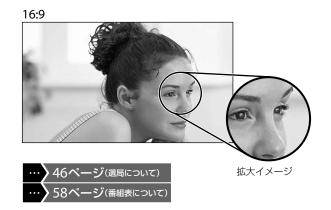
…46ページ（選局について）
…85ページ（オートワイドについて）

地上デジタル　BSデジタル　110度CSデジタル

デジタル放送

デジタル放送の高画質･高音質で多彩な番組をご覧いただけます。デジタルハイビジョン放送やサラウンド音声のある番組では、臨場感あふれる映像･音声をお楽しみいただけます。
本機では、番組表や検索機能を使って、デジタル放送のたくさんのチャンネルの中から簡単にお好みの番組を選べ、番組説明で各番組の詳しい情報も見ることができます。

16:9

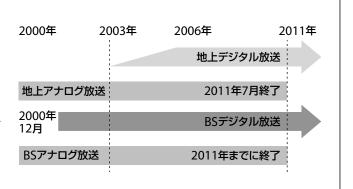
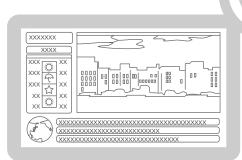
拡大イメージ

…46ページ（選局について）
…58ページ（番組表について）

アナログ放送からデジタル放送への移行

地上デジタルは、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部地域で2003年12月より放送が開始され、その他の県庁所在地は2006年末までに放送が開始されました。今後も受信可能エリアは順次拡大されます。地上アナログは2011年7月*に、BSアナログは2011年*までに放送が終了することが、国の方針として決定されています。

＊ 2009年8月現在の情報です。

データ／ラジオ放送

地上デジタル　BSデジタル　110度CSデジタル

データ放送

デジタル放送のデータ放送をご覧いただけます。これまでは見るだけが主流だったテレビですが、簡単なマルチリモコン操作でクイズやアンケートに参加して双方向で楽しめます。また、テレビ番組に連動したデータ放送（連動データ放送）では番組に関連した情報や地域の情報などもご覧いただけます。他に、データ放送のみを専門にしている独立データ放送があります。

… 52ページ（選局について）

BSデジタル　110度CSデジタル

ラジオ放送

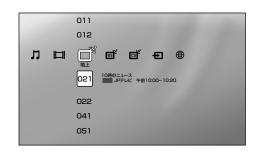
衛星放送のラジオ放送を楽しめます。
本機では、通常のステレオ音声の番組でも、サラウンド機能を使って、クリアで臨場感と迫力のある音声に再現してお聞きになれます。また消画機能を使って、映像を消して音声のみを楽しむこともできます（ラジオ放送は2009年8月現在、休止中です）。

… 52ページ（選局について）
… 88ページ（サラウンドについて）
… 97ページ（消画について）

テレビ放送を見る

あらかじめかんたん初期設定をしてください(☞27ページ)。

ホームメニューからチャンネルを選ぶには

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で見たい放送を選ぶ。

＊ 地上アナログのみ非表示にできます(☞94ページ)。

3 ↑↓で見たいチャンネルを選んで、（決定）を押す。

↑↓を押し続けると高速でスクロールします。

ご注意

[ホームメニュー速度設定]が[モード2]に設定されているときは、手順3で↑↓を押し続けても、高速でスクロールしません(☞100ページ)。

数字ボタンでチャンネルを選ぶには

1 アナログ または デジタル 、BS 、CS を押して、見たい放送を選ぶ。

2 数字ボタンまたはチャンネル＋／－ボタンを押して、チャンネルを選ぶ。

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩/0 ⑪/枝番 ⑫/選局

数字ボタンに登録されているチャンネルに切り換える。

または

チャンネル ＋ －

チャンネルを順送りで切り換える。

10キー選局するには

10キーボタンを押したあと、数字ボタンでチャンネル番号を入力して、最後に12ボタンを押します。

例：011ch（デジタル放送）の場合

10キー→⑩/0→①→①→⑫/選局

例：37ch（アナログ放送）の場合

10キー→③→⑦→⑫/選局

枝番が付いているチャンネルを選局するには

他の地域の放送も受信できる場合、重複するチャンネル番号を区別するために、補助的な番号（枝番）が付いています。
（地上デジタルのみ）

例：011₂chの場合

10キー→⑩/0→①→①→⑪/枝番→②→⑫/選局

視聴しながら現在放送中の番組表を見る［現在番組表］

デジタル放送を視聴しながら、現在放送中の番組と1時間以内の番組を表示できます。

デジタル放送視聴中に、（番組表）を押す。

視聴しながら番組説明を見る

1 デジタル放送視聴中に、（オプション）を押す。

2 ↑↓で［番組説明］を選んで、決定を押す。

さらに詳しい説明が必要な場合は［詳細］を選ぶ（☞59ページ）。

次のページにつづく⇨

ちょっと一言

- 現在番組表は、ホームメニューで（地上）または（BS）、（CS）の列の（番組表・検索）から選んでも表示できます。
- 現在番組表表示中に番組表ボタンを押すと、約1週間先までの番組表に切り換わります（☞58ページ）。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● ホームメニューでチャンネル選択中

項目	できること
チャンネル表示形式	デジタル放送で同じ放送局の中に複数あるチャンネルをすべて表示するように設定できます。
チャンネル登録	チャンネル＋／－ボタンやホームメニューで選んだり、番組表に表示するチャンネルを変更できます(☞92、93、94ページ)。
番組検索	番組を検索できます(☞61ページ)。
現在番組表	放送中および1時間以内の番組を表示します(☞47ページ)。
番組表	約1週間先までの番組を表示します(☞58ページ)。
番組説明	選んでいるチャンネルで放送中の番組の番組説明を表示します(☞59ページ)。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	選んでいるチャンネルを「お気に入り」に追加または削除します(☞49ページ)。

● テレビ視聴中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞82ページ)。
音質	音質を調整できます(☞88ページ)。
番組表	約1週間先までの番組を表示します(☞58ページ)。
番組説明	視聴しながら番組説明を確認できます(☞47ページ)。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	選んでいるチャンネルを「お気に入り」に追加または削除します(☞49ページ)。
モーションフロー	動きを滑らかにして映像の残像感を減らします(☞83ページ)。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**:本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**:本機のスピーカーから音声が出なくなります。本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます(☞90ページ)。
消費電力	消費電力を設定できます(☞97ページ)。
スリープタイマー	時刻を設定して自動的に電源を切ることができます(☞98ページ)。
映像切換	アングルなど、切り換えが可能な映像の場合に使えます(☞140ページ)。
データ放送情報	サーバー証明書一覧、ルートCA証明書一覧を表示します。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

● 現在番組表表示中

項目	できること
番組情報取得	表示中の放送の番組情報を取得します。
チャンネル表示形式	デジタル放送で同じ放送局の中に複数あるチャンネルをすべて表示するように設定できます。
サービス*1切換	番組表の放送サービスを切り換えます。
放送*2切換	番組表の放送の種類を切り換えます。
ジャンル色設定	番組表で表示される色にお好みのジャンルを割り当てられます。
番組検索	番組を検索できます(☞61ページ)。
拡大／縮小	9チャンネル、7チャンネルまたは4チャンネル表示に切り換えます。
番組表	約1週間先までの番組を表示します(☞58ページ)。
選局	選んだチャンネルに切り換えます。

*1 テレビ、ラジオ、データがあります。
*2 地上デジタル、BSデジタル、CSデジタルがあります。

ちょっと一言

本機をインターネットにつないでいるときにホームメニューに追加情報が表示されることがあります。追加情報を消したいときは、オプションの[追加情報表示]を[切]にしてください(☞115ページ)。

お気に入りの放送や映像を楽しむ

よく見るチャンネルやつないだ機器の入力、静止画ファイルや音楽ファイルなどを「お気に入り」に登録して、一覧表示の中から簡単に選んで切り換えられます。

1 お気に入り（お気に入り）を押す。

2 ←→で見たい「お気に入り」を選んで、決定を押す。

放送、つないだ機器の入力を選択：チャンネルや入力が切り換わります。

(フォト)、(ミュージック)のファイル、フォルダを選択：再生が始まります。(フォト)のフォルダを選ぶと、スライドショーが始まります。

選んでいる「お気に入り」

「お気に入り」の種類	説明
履歴	視聴した順に、チャンネルまたは入力が最新のものから最大10件表示されます。複数ある場合は↑↓で履歴を表示できます。
チャンネル	地上アナログ、地上デジタル、BS、CS放送のチャンネルが表示されます。
外部入力	ビデオ、コンポーネント、HDMI、PC入力につないだ機器や入力端子が表示されます。
お好みナビチャンネル	おすすめの番組が放送中に表示されます。お好みナビの設定が［入］になっている必要があります（☞53ページ）。
(ミュージック)	USB端子につないだ機器やネットワークでつないだ機器の音楽ファイル、フォルダが表示されます。
(フォト)	USB端子につないだ機器やネットワークでつないだ機器の静止画ファイル、フォルダが表示されます。

「お気に入り」を登録する

視聴中のチャンネルや外部入力、ネットワーク機器やUSB機器の(フォト)、(ミュージック)のフォルダ、ファイルを「お気に入り」に登録できます。

登録できる「お気に入り」の数

チャンネル：120件
外部入力：外部入力端子9件
HDMI機器制御に対応した機器13件
フォト：15件
ミュージック：15件

視聴中に登録するには

1 オプション（オプション）を押す。

2 ↑↓で［お気に入りに追加］を選んで、決定を押す。

ホームメニューから登録するには

1 ホームを押す。

2 ↑↓←→で入力やチャンネル、フォルダ、ファイルを選んで、オプション（オプション）を押す。

3 ↑↓で［お気に入りに追加］を選んで、決定を押す。

「お気に入り」を削除するには

1 お気に入り（お気に入り）を押す。

2 ←→で削除したい「お気に入り」を選んで、オプション（オプション）を押す。

3 ↑↓で［お気に入りから削除］を選んで、決定を押す。

次のページにつづく⇨

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

●「お気に入り」一覧表示中

項目	できること
履歴の全削除	最新以外の視聴履歴をすべて削除します。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	「お気に入り」に追加または削除します。
チャンネルの全削除	登録したチャンネルをすべて削除します。
外部入力の全削除	登録した外部入力をすべて削除します。
フォトの全削除	登録した（フォト）のファイル、フォルダをすべて削除します。
ミュージックの全削除	登録した（ミュージック）のファイル、フォルダをすべて削除します。
再生方法	再生時のさまざまな設定ができます。
再生	ファイルを再生します。
機器操作	機器に応じてさまざまな操作ができます。
ファイル操作	ファイルに対するさまざまな操作ができます。
フォルダ操作	フォルダに対するさまざまな操作ができます。
スライドショー	ファイルを連続再生します。あらかじめ本機にBGMが登録されていますが、[再生方法]で好きな曲をBGMに登録して流すこともできます。

ご注意

- （フォト）選択中に[再生方法]の[画像表示範囲]で[全画面（自動調整）]または[全画面（中央拡大）]を選んだときは、画像の一部が表示されないことがあります。
- フェイスフレーミング機能は、写真によっては効果が出ない場合があります。

ちょっと一言

- （フォト）選択中に[再生方法]の[画像表示範囲]を[全画面（自動調整）]に設定した場合、フェイスフレーミング機能により写真の顔の位置を検出し、人の顔が切れないように自動調整します。
- フェイスフレーミング機能は写真から人物の顔の位置を自動検出する機能です。
  ソニー独自の顔認識技術「FACE DETECTION」を採用しています。

見ている番組の詳細情報を連動データで楽しむ

番組と連動しているデータ放送を見ることができます。スポーツ中継を見ているときに選手の成績を確認するなど、番組によってさまざまなデータ放送を楽しめます。また、郵便番号の設定をすれば（☞92ページ）、天気などのお住まいの地域の情報を見ることができます。

1 デジタル放送視聴中に、（連動データ d）を押す。

連動データの画面に切り換わります。

連動データ放送の例

2 ↑↓←→や（青）・（赤）・（緑）・（黄）（カラーボタン）、（戻る）などを使って、画面に従って操作する。

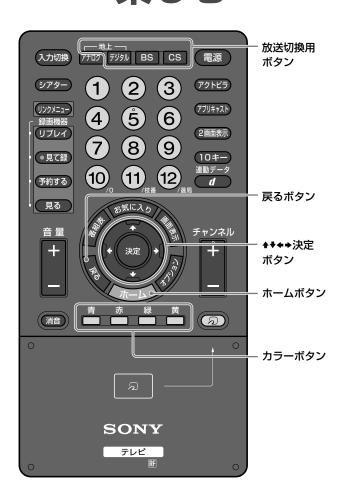
視聴者参加型のデータ放送を楽しむには

自宅にいながら、放送局とやり取り（双方向通信）できるので、クイズ番組に参加したりアンケートに答えたり、ショッピングしたりできます。

電話回線やネットワーク回線（☞106ページ）の接続が必要です。

ちょっと一言

- データ放送では、本機につないだ電話回線を使って通信する場合があります。通信中（消画／通信／タイマーランプがオレンジ色に点滅）は、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。また、電話料金がかかる場合があります。
- データ放送視聴中に、表示されているリンク先を↑↓←→で選んで、（決定）を押すと、インターネットブラウザが起動して、リンク先のホームページを見ることができます。

独立データ放送／ラジオ放送を楽しむ

独立データ放送を楽しむ

データのみを専門に扱っている放送サービスを楽しめます。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で見たい放送を選ぶ。

3 ↑↓でデータ放送のチャンネルを選んで、（決定）を押す。

独立データ放送の例

4 ↑↓←→や（青）・（赤）・（緑）・（黄）（カラーボタン）、（戻る）などを使って、画面に従って操作する。

ラジオ放送を楽しむ

衛星放送で流れるラジオです。映像を消して音声のみを楽しむこともできます（消画☞97ページ。ラジオ放送は2009年8月現在、休止中です）。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で聞きたい放送を選ぶ。

3 ↑↓でラジオ放送のチャンネルを選んで、（決定）を押す。

ちょっと一言

データ放送視聴中に、表示されているリンク先を↑↓←→で選んで、（決定）を押すと、インターネットブラウザが起動して、リンク先のホームページを見ることができます。

お好みの番組を自動で知らせる [お好みナビ]

よく見る番組のチャンネルや放送時間、ジャンルなどの情報、登録されたキーワードをもとに、本機が自動でおすすめの番組を紹介します。

お好みナビを使う

視聴中におすすめの番組が始まるときは

おすすめの番組が始まる（または放送中）というお知らせを画面に表示します。おすすめの番組を見るときは、下記の手順で操作してください。

1 お好みナビアイコン表示中に、決定を押す。

おすすめの番組の番組説明が表示され、番組名やおすすめの理由などを確認できます。

お好みナビアイコンを消すには

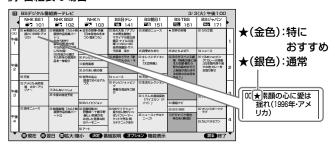
戻る（戻る）を押す。

2 [選局]が選ばれていることを確認して、決定を押す。

おすすめの番組に切り換わります。

ホームメニューや番組表で確認するには

おすすめの番組にはホームメニューや番組表などで★マークを付けてお知らせします。

例：番組表の場合

お好みナビ機能を入／切する

お好みナビの機能を[入]または[切]に設定します。

1 ホームを押す。

2 ←→で（設定）を選ぶ。

3 ↑↓で（機能設定）を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で[お好みナビ・語句設定]を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で[お好みナビ]を選んで、決定を押す。

6 ↑↓で[入]または[切]を選んで、決定を押す。

次のページにつづく⇨

ご注意

- 視聴予約されている番組は、お好みナビアイコンを表示しません。
- 視聴予約されている番組と放送時間が重複している番組は、お好みナビアイコンを表示しません。

ちょっと一言

- おすすめ番組は、デジタル放送のテレビ番組のみでお知らせします。
- 現在放送中の番組と、開始時刻が現在から1時間以内で次に放送される番組が、おすすめ番組の対象になります。
- 学習情報が蓄積されるまで、おすすめ番組は表示されません。
- 視聴中にお知らせが表示されるおすすめ番組は、おすすめ番組の中でも特におすすめの番組のみです。番組表などに★マークが表示される番組をすべてお知らせするわけではありません。

お好みナビの学習情報を消去する

おすすめ番組をお知らせするために蓄積したよく見る番組の情報を消去できます(☞99ページ)。

1 「お好みナビ機能を入/切する」(☞53ページ)の手順1 ~ 4を行う。

2 ↑↓で[お好みナビ学習情報初期化]を選んで、決定を押す。

3 ←→で[はい]を選んで、決定を押す。

お好みナビで使うキーワードを登録する

あらかじめキーワードを登録すれば、番組のタイトルや概要にキーワードが含まれた番組が自動で案内されます。登録できる件数は最大で20件です。

1 「お好みナビ機能を入/切する」(☞53ページ)の手順1 ~ 4を行う。

2 ↑↓で[語句設定]を選んで、決定を押す。

3 [新規に登録する]を選んで、決定を押す。

ソフトウェアキーボードが表示されます。

4 ソフトウェアキーボード(☞62ページ)で、語句を入力する。

語句の入力が終了すると、「語句設定」画面に戻ります。

すでに[お好みナビ]が[入]に設定されているときは、手順5、6の操作は不要です。

5 ←→で[はい]を選んで、決定を押す。

6 [閉じる]が選ばれていることを確認して、決定を押す。

番組説明の中にある語句を登録するには

番組説明にある語句を抜き出して、キーワードとして登録することもできます(☞60ページ)。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

●語句設定画面表示中

項目	できること
お好みナビ登録/お好みナビ登録解除	選んでいる語句をお好みナビ(☞53ページ)で使うキーワードとして登録します。すでに登録してあるときは、登録を解除します。
語句編集	選んでいる語句を編集できます。ソフトウェアキーボード(☞62ページ)で編集してください。
語句削除	選んでいる語句を削除できます。

2画面で見る[番組子画面]

デジタル放送の番組と本機につないだDVDやビデオなどの映像を、2画面で表示して同時に見ることができます。

2画面表示 を押す。

デジタル放送視聴中：最後に見ていた外部入力の映像が、左画面に表示されます。

外部入力視聴中：最後に見ていたチャンネルが、右画面に表示されます。

操作画面を切り換えるには

マルチリモコンで操作できる画面を切り換えられます。

←または→を押す。

画面の枠が移動します。

←：左画面が操作画面になります。

→：右画面が操作画面になります。

操作画面で使えるマルチリモコンボタン

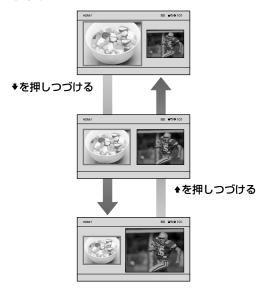
ボタン	できること
チャンネル＋／－、数字、10キー	チャンネルを切り換えます。
地上デジタル、BS、CS	放送を切り換えます。
入力切換	入力を切り換えます。
音声切換	音声を切り換えます。
音量＋／－、消音	音量を調節します。

画面の大きさを変えるには

希望の大きさになるまで、↑または↓を押し続ける。

押し続けるとさらに画面サイズが変わります。

↑：操作画面が大きくなり、非操作画面が小さくなります。

↓：操作画面が小さくなり、非操作画面が大きくなります。

1画面表示に戻すには

←→で1画面で表示したい方の画面を選んで、2画面表示 を押す。

表示できる放送と外部入力

放送と外部入力	左画面	右画面
地上アナログ	×	×
地上デジタル	×	○
BSデジタル	×	○
110度CSデジタル	×	○
ビデオ1、2入力	○	×
コンポーネント1、2入力	○	×
HDMI1 ～ 4入力	○*1	×
PC入力	×	×

*1 パソコン画像時、1125（1080）/24p時を除く。

次のページにつづく⇨

ご注意

ラジオ放送は音声のみ出力され、データ放送は表示できません。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

●2画面表示中

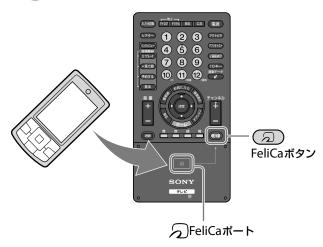
項目	できること
画質	画質を調整できます(☞82ページ)。
音質	音質を調整できます(☞88ページ)。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**:本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**:本機のスピーカーから音声が出なくなります。本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます(☞90ページ)。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

携帯電話を使ってテレビ番組関連情報を楽しむ［ポケットチャンネル］

あらかじめ携帯電話に待ち受け画面を表示してください。

ポケットチャンネルとは、テレビ番組で紹介されたお店や商品などの情報を閲覧できる携帯電話のホームページです。おサイフケータイ機能を搭載した携帯電話であれば、マルチリモコンを使って簡単に接続できます。

1 マルチリモコンのFeliCaポートに、おサイフケータイを置く。

マークを合わせるように置いてください。

2 マルチリモコンの（FeliCaボタン）を押す。

FeliCaボタンが点灯します。点灯中は、おサイフケータイをFeliCaポートに置いたままにしてください（約3秒）。

3 （FeliCaボタン）が消灯したら携帯電話を手にとり、画面に従って操作する。

ポケットチャンネルのホームページが表示されます。携帯電話によって表示画面は異なります。

ご注意

- おサイフケータイ機能を搭載した携帯電話であっても、一部対応していない機種があります。対応機種およびその他詳細については以下のホームページで確認できます。
  http://www.pokechan.jp/support
  （パソコン･携帯電話からアクセスが可能です）
- 携帯電話会社が提供するインターネット接続サービスに契約している必要があります。
- 本サービスは無料でご利用いただけますが、通信にかかる基本料金、通信費はお客様のご負担となります。
- FeliCaボタンが点灯しないときは、マルチリモコンのふたを開けてFeliCaボタンを押してください。ふたの中にあるTVボタンが3回点滅したら、電池の電圧が不足しているので電池を交換してください。他のマルチリモコン操作はできても情報を閲覧できない場合は、電池の交換をおすすめします。
- 携帯電話の電源が入っていない状態ではこの機能は使えません。
- ICロックなど、携帯電話のおサイフケータイ機能にセキュリティがかかった状態ではこの機能は使えません。
- 「アクトビラ」やEdyViewerで、EdyをFeliCaポートに置く指示が画面に表示されているときは、この機能は使えません。

ちょっと一言

- ポケットチャンネルのページを携帯電話にブックマーク登録して見ることもできますが、マルチリモコンを使って接続するとお得なサービスを利用できる場合があります。
- おサイフケータイ機能を搭載していない携帯電話をお持ちの場合は、下記のホームページアドレスを直接入力するか、またはQRコードを読み取るとポケットチャンネルに接続できます。
  http://m.pokechan.jp

  バーコードリーダーの機能を搭載している携帯電話で、このQRコードを撮影するとアクセスが可能です。

番組表で見たい番組を探す

地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送ごとに、放送局が送信する番組情報をもとに、番組表を見ることができます。また、ジャンルやキーワードで検索して番組を絞り込んで表示したり、番組を選んで予約したりできます。

デジタル放送視聴中に、(番組表)を押す。

押すたびに、現在番組表(☞47ページ)→番組表→放送中の映像の順に切り換わります。

例:BSデジタルの番組表の場合

上記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などとは関係ありません。

A 放送名

B 現在の日時

C チャンネル
◀▶で左右にスクロールします。

D 番組一覧
▲▼◀▶で番組を選んで、決定を押すと、選んだ番組の番組説明(☞59ページ)が表示されます。

E 放送日時
▲▼で上下にスクロールします。

F 操作ガイド表示欄
番組表を表示中にマルチリモコンでできることをガイド表示します。

マークの意味

- ◷ :視聴予約した番組
- ★ :おすすめ番組(☞53ページ)
- ¥ :有料番組
- ▲/▼:前の時間帯または次の時間帯に続いている番組
- ▌ :代表チャンネルのみを表示しているとき省略されたチャンネルでは、別の番組を放送していることを示しています。省略されたチャンネルを表示するには、オプションの[チャンネル表示形式]で[すべて表示]を選んでください(☞59ページ)。

他の放送の番組表を表示するには

デジタル または BS 、CS を押す。

番組表を拡大表示するには

黄 を押す。

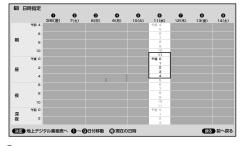
押すたびに、9チャンネル表示と7チャンネル表示、4チャンネル表示が切り換わります。

日時を指定して番組表を表示するには

1 (オプション)を押す。

2 ▲▼で[日時指定]を選んで、決定を押す。

日時指定画面が表示されます。

3 ▲▼◀▶で日時を選んで、決定を押す。

▌:視聴予約が入っている時間帯

指定した日時の番組表が表示されます。

ちょっと一言

- 番組表は、ホームメニューで(地上)または(BS)、(CS)の列の(番組表・検索)から選んでも表示できます。
- 日時指定画面表示中に番組表に表示される放送を切り換えるには、デジタルボタン、BSボタンまたはCSボタンを押してから、決定を押してください。
- 日時指定画面表示中は数字ボタンで日付を選ぶこともできます。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● 番組表表示中

項目	できること
番組情報取得	表示中の放送の番組情報を取得します。
チャンネル表示形式	デジタル放送で同じ放送局の中に複数あるチャンネルをすべて表示するように設定できます。
サービス*1切換	番組表の放送サービスを切り換えます。
放送*2切換	番組表の放送の種類を切り換えます。
ジャンル色設定	番組表で表示される色にお好みのジャンルを割り当てられます。
番組検索	番組を検索できます(☞61ページ)。
拡大/縮小	9チャンネル、7チャンネルまたは4チャンネル表示に切り換えます。
日時指定	日時を指定して番組表を表示します。
現在番組表	放送中および1時間以内の番組を表示します(☞47ページ)。
選局	選んだチャンネルに切り換えます。

*1 テレビ、ラジオ、データがあります。
*2 地上デジタル、BSデジタル、CSデジタルがあります。

番組説明を見る

番組名やあらすじ、出演者、映像/音声情報、ジャンルなど番組の詳しい情報を見ることができます。戻るボタンを押すと消えます。

番組表を表示中に、↑↓←→で番組を選んで、(決定)を押す。

上記の番組はフィクションであり、実際の放送局での放送内容や実際の人物、地名などとは関係ありません。

A おすすめ番組マークとおすすめの理由

B マーク(☞60ページ)

C 番組の状況
「開始前」や「終了」など状況を表示します。

D 番組内容表示欄
あらすじや出演者、ジャンルなどの情報を表示します。1/2は2ページ中の1ページ目の意味です。

E 放送中の番組のとき

[選局]
選局します。

[録画予約]
予約設定画面が表示されます(☞120ページ)。

放送開始前の番組のとき

[視聴予約]、[録画予約]
予約設定画面が表示されます(☞120ページ)。視聴予約済みの番組のときは予約を修正したり、削除できます。

F 番組情報欄
「映像情報」(☞139ページ)、**「音声情報」**(☞139ページ)、**「コピーコントロール」**(録画や録音についての情報☞142ページ)。

次のページにつづく⇨

ちょっと一言

- 番組説明は、ホームメニューで(地上)または(BS)、(CS)の列を選んでいるときに、オプションから[番組説明]を選んでも表示できます。
- 番組説明は、視聴中に見ることができる簡単な番組説明(☞47ページ)で[詳細]を選んでも表示できます。

マークの意味

字 ：字幕放送（☞180ページ）
d ：テレビやラジオと連動しているデータ放送（☞51ページ）
MV ：マルチビュー放送（☞140ページ）
HD ：デジタルハイビジョン信号 HD（☞139ページ）
SD ：標準テレビ信号 SD（☞139ページ）
：視聴年齢制限付き番組（☞97ページ）
¥ ：有料番組
複数信号 ：第2映像など複数の映像／音声信号がある番組
契約済／未契約 ：放送事業者との契約が済んでいるかどうか

他に放送局から、番組の種類を表すマークが付いてくる場合があります。以下はその一例です。

二 ：二か国語放送（☞139ページ）
S ：ステレオ放送（☞139ページ）
字 ：字幕放送（☞180ページ）
B ：圧縮Bモードステレオ放送（☞139ページ）
N ：ニュース番組

番組説明の中にある語句を登録するには

番組検索やお好みナビで使うキーワードとなる語句を番組概要から抜き出して登録できます。

1 番組説明表示中に、（オプション）を押す。

2 ↑↓で［語句抽出］を選んで、決定を押す。

番組概要が表示されます。

3 ↑↓←→で登録したい語句の開始文字を選んで、決定を押す。

選択文字表示エリアに選んだ文字が表示されます。

4 ←→で登録したい語句の最後の文字を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で［登録］を選んで、決定を押す。

語句が登録されます。

6 ←→で［はい］または［いいえ］を選んで、決定を押す。

［はい］を選ぶと、選んだ語句がお好みナビで使うキーワードとして登録されます。
［いいえ］を選ぶと、語句としては登録されますが、お好みナビでは使われません。

信号表示画面を見るには

デジタル放送の番組説明を表示中に 緑 を押す。

番組説明に表示されている番組が持っている映像信号や音声信号の情報を見ることができます。

見たい番組を探す

番組検索する

番組のタイトルまたは番組説明内のキーワードや、ジャンルなどを指定して見たい番組を検索できます。複数の項目を組み合わせて検索する番組を絞り込むこともできます。

1 ホームを押す。

2 ←→で番組を検索したい放送を選ぶ。

3 ↑↓で(番組表・検索)を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で見たい放送の(番組検索)を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で[放送]や[サービス]、[時間帯]などの設定項目を選んで、決定を押す。

6 ↑↓で設定項目を選んで、決定を押す。

7 [ジャンル]または[キーワード]を設定する。

ジャンル:「ジャンルを設定するには」(☞右記)をご覧ください。

キーワード:「キーワードを設定するには」(☞62ページ)をご覧ください。

8 ↑↓で[キーワード検索方法]を選んで、決定を押す。

9 ↑↓で設定項目を選んで、決定を押す。

10 →で[検索開始]を選んで、決定を押す。

検索された番組が放送開始時刻順に表示されます。

項目	できること
放送	放送の種類(地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル)を選びます。
サービス	放送サービス(すべて、テレビ、ラジオ、データ)を選びます。
課金番組	有料番組を含むかどうかを設定します。
時間帯	放送時間帯を設定します。
キーワード検索方法	[すべてのキーワードを含む]または[いずれかのキーワードを含む]を選びます。

ジャンルを設定するには

1 「番組検索する」の手順4のあとで、↑↓で[ジャンル]を選んで、決定を押す。

2 ↑↓で[指定する]を選んで、決定を押す。

3 ↑↓でジャンルを選んで、決定を押す。

4 ↑↓でサブジャンルを選んで、決定を押す。

次のページにつづく⇨

ちょっと一言

番組検索画面の[ジャンル]と[キーワード]はそれぞれ[ジャンル]を[キーワード]に、[キーワード]を[ジャンル]に変更できます。↑↓で[ジャンル]または[キーワード]を選んで、決定を押したあとで、←を押します。↑↓で変更できるようになります。

キーワードを設定するには

1 「番組検索する」(☞61ページ)の手順4のあとで、↑↓で[キーワード]を選んで、決定を押す。

2 ↑↓で[指定する]を選んで、決定を押す。

3 ↑↓でキーワードを選んで、決定を押す。

[新規に登録する]を選んだときは、ソフトウェアキーボード(☞右記)で、登録したい語句を入力してください。

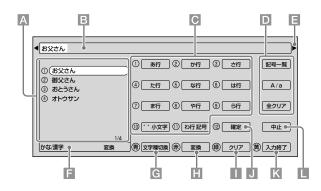
オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● 語句選択画面表示中

項目	できること
お好みナビ登録／お好みナビ登録解除	選んでいる語句をお好みナビ(☞53ページ)で使うキーワードとして登録します。すでに登録してあるときは、登録を解除します。
語句編集	選んでいる語句を編集できます。ソフトウェアキーボード(☞右記)で編集してください。
語句削除	選んでいる語句を削除できます。

文字を入力する[ソフトウェアキーボード]

文字を入力する必要があるときに自動的に表示されます。マルチリモコンのボタンには画面上の数字やカラーボタンがそれぞれ対応していて、携帯電話のように文字を入力できます。↑↓←→決定で画面上のボタンを選んでも入力できます。

A 変換候補表示エリア
入力した文字の変換候補が表示され、語句を選べます。

B 入力文字表示エリア
入力中の文字と、入力位置を示すカーソルが表示されます。

C 文字ボタン
文字や記号、スペース(空白)を入力します。

D 編集用ボタン
マルチリモコンの↑↓←→で選びます。
記号一覧:記号の一覧を表示します。
A/a:英字入力モードのときに、ソフトウェアキーボードの表示を小文字または大文字に切り換えます。
全クリア:入力文字表示エリアにある文字をすべて削除します。

E ◀／▶マーク
入力された文字が入力文字表示エリアに表示しきれないときに表示されます。カーソルを移動すると残りの文字が表示されます。

F 入力モード表示
入力中の文字の種類を表示します。

G [文字種切換]ボタン
押すたびに入力モードが切り換わります。

H [変換][全角／半角][定型文]ボタン
入力した文字を漢字に変換したり、英字や数字の全角、半角を切り換えたり、URL定型文字列を表示したりします。

I [クリア]ボタン
カーソルの後の1文字を削除します。後に文字がないときは、前の文字を削除します。緑ボタンを押し続けると、文字をすべて削除します。

J ［確定］ボタン
文字を確定します。

K ［入力終了］ボタン
入力した文字を確定してソフトウェアキーボードを消します。

L ［中止］ボタン
マルチリモコンの↑↓←→で選びます。文字入力を中止して元の画面に戻ります。入力文字表示エリアに表示されている文字は設定されません。

例：検索でキーワード「お父さん」を入力する場合

1 **「番組検索する」（☞61ページ）の手順1～4を行う。**

2 **↑↓で［キーワード］を選んで、決定を押す。**

3 **↑↓で［指定する］を選んで、決定を押す。**

4 **↑↓で［新規に登録する］を選んで、決定を押す。**

ソフトウェアキーボードが表示されます。

5 **①を5回押して、「お」を選ぶ。**

入力文字表示エリアに「お」と表示されます。

6 **④を5回押して、「と」を選ぶ。**

入力文字表示エリアに「おと」と表示されます。
同様にして、「う」、「さ」、「ん」と入力してください。

7 **赤を押す。**

変換候補が表示されます。正しい文字が表示されたときは手順9に進んでください。

8 **↑↓で「お父さん」を選んで、決定を押す。**

マルチリモコンの数字ボタンで、文字の左側に表示されている数字を選ぶこともできます。

9 **黄を押す。**

ソフトウェアキーボードが消えて、キーワードに「お父さん」が表示されます。

入力した文字を削除するには

入力文字表示エリアに表示されている文字を削除できます。

1 **↑↓←→でカーソルを削除する文字の左側に移動する。**

2 **緑を押す。**

つないだ機器の映像を見る

あらかじめ接続をしてください(☞22、32ページ)。
パソコンの画像を見るには(☞66ページ)。
USB機器の写真や音楽、映像を楽しむには(☞68ページ)。

ホームメニューから選ぶには

1 ホーム を押す。

2 ←→で(外部入力)を選ぶ。

3 ↑↓で見たい外部機器の入力を選んで、決定を押す。

	ビデオ1、2入力につないだ機器の映像に切り換わります。
	コンポーネント1、2入力につないだ機器の映像に切り換わります。
	HDMI1 ～ 4入力につないだ機器の映像に切り換わります。
	PC入力につないだパソコンの画像に切り換わります(☞66ページ)。

入力切換ボタンで切り換えるには

1 入力切換 を押す。

2 入力切換 をくり返し押して、入力を選ぶ。

[スキップ設定]が[オート]に設定されていて、機器をつないでいない入力は選べません(☞65ページ)。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● つないだ機器の映像を視聴中

項目	できること
画質	画質を調整できます(☞82ページ)。
音質	音質を調整できます(☞88ページ)。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	選んでいる入力を「お気に入り」に追加または削除します(☞49ページ)。
モーションフロー	動きを滑らかにして映像の残像感を減らします(☞83ページ)。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**:本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**:本機のスピーカーから音声が出なくなります。本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます(☞90ページ)。
消費電力	消費電力を設定できます(☞97ページ)。
スリープタイマー	時刻を設定して自動的に電源を切ることができます(☞98ページ)。
接続機器操作*	HDMI機器をHDMI1 ～ 4入力につないでいるときに、機器の操作メニューやオプション、リストなどを表示できます。機器操作は本機マルチリモコンの↑↓←→決定で行います(☞76ページ)。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

* つないだ機器がHDMI機器制御に対応していて、HDMI機器制御できるように設定されている必要があります。
また、つないだ機器が接続機器操作に対応している必要があります。

入力切換を使いやすくする［オートインプットスキップ設定］

入力端子ごとに接続状態に合わせて、入力切換操作を簡単にしたり、ホームメニュー表示をわかりやすくできます。

使わない入力に切り換わらないようにするには

1 ホーム を押す。

2 ←→で（設定）を選ぶ。

3 ↑↓で（外部入力設定）を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で［オートインプットスキップ設定］を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で設定したい入力を選んで、決定を押す。

6 ←→で［スキップ設定］を選ぶ。

7 ↑↓で［オート］または［表示する］を選ぶ。

オート：機器をつないでいるか、または機器からの入力があるかどうかを自動的に検出して、機器をつないでいる場合のみ、入力切換できるようにします。つないだHDMI機器によっては、機器の電源が入っていないと、認識できないものもあります。

表示する：機器をつないでいなくても、入力切換ができます。その場合、映像・音声は出ません。

名前やアイコン表示を変えるには

1 「使わない入力に切り換わらないようにするには」（☞左記）の手順1 ～ 4を行う。

2 ↑↓で名前とアイコン表示を変更したい入力を選んで、決定を押す。

3 ←→で［表示名称］を選ぶ。

手順2で［ PC］を選んだときは、［表示名称］は選べません。

4 ↑↓で表示したい名前とアイコンを選んで、決定を押す。

［編集：］を選ぶと、ソフトウェアキーボード（☞62ページ）で名前を入力できます。好きなアイコンも選べます。

5 （戻る）を押す。

6 ←→で［はい］を選んで、決定を押す。

「表示名称」変更後のホームメニュー

つないだ機器の映像を見る

ご注意

本機につなぐ機器（パソコンなど）やケーブルによっては、接続を正しく検出できず、入力が選べないことがあります。その場合は［スキップ設定］を［表示する］にしてください。

パソコン(PC)の画像をテレビに映す

パソコンを接続してください(☞35ページ)。
対応入力信号については(☞164ページ)。

1 ホーム を押す。

2 ←→で(外部入力)を選ぶ。

3 ↑↓で(PC)または(HDMI)を選んで、決定を押す。

(PC)	PC入力につないだパソコンの画像に切り換わります。
(HDMI)	HDMI1 ～ 4入力につないだパソコンの画像に切り換わります。

デジタル放送の番組を画面に表示する

パソコンの画像を表示中に、2画面表示 を押す。

最後に選んでいたチャンネルが子画面に表示されます。

パソコンの画面　放送画面
↑↓←→で移動

1画面表示に戻すには、もう一度2画面表示ボタンを押してください。

ご注意

パソコンやケーブルによっては、接続を正しく検出できず、入力が選べないことがあります。その場合は[オートインプットスキップ設定]の[スキップ設定]を[表示する]にしてください(☞65ページ)。

ちょっと一言

- パソコン側で外部出力設定をしてください。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご覧ください。
- 音量の調節は、パソコン側でも行ってください。
- 放送画面のチャンネルや放送は切り換えられます。
- 地上アナログ放送は子画面に表示されません。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● パソコンの画像を表示中

項目	できること
画質	画質を調整できます（☞82ページ）。
音質	音質を調整できます（☞88ページ）。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	選んでいる入力を「お気に入り」に追加または削除します（☞49ページ）。
モーションフロー	動きを滑らかにして映像の残像感を減らします（☞83ページ）。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**：本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**：本機のスピーカーから音声が出なくなります。本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます（☞90ページ）。
画面モード	画面モードを調整できます（☞87ページ）。
接続機器操作＊	HDMI機器をHDMI1 〜 4入力につないでいるときに、機器の操作メニューやオプション、リストなどを表示できます。機器操作は本機マルチリモコンの↑↓←→(決定)で行います。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

＊ つないだ機器がHDMI機器制御に対応していて、HDMI機器制御できるように設定されている必要があります。
また、つないだ機器が接続機器操作に対応している必要があります。

● 2画面表示中

項目	できること
画質	画質を調整できます（☞82ページ）。
音質	音質を調整できます（☞88ページ）。
スピーカー出力	**テレビスピーカー**：本機のスピーカーから音声が出ます。 **AVアンプ**：本機のスピーカーから音声が出なくなります。本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます（☞90ページ）。
音声選択	音声を聞く画面を切り換えられます。
項目の並び換え	オプション項目の表示順を使いやすいように並べ換えられます。

デジタルカメラなどの写真や音楽、映像を楽しむ

あらかじめ接続(☞36ページ)をしてください。

本機につないだデジタルカメラやデジタルビデオカメラなどの静止画ファイル(写真)や音楽ファイル、映像ファイルを再生できます。

1 ホーム**を押す。**

2 ←→で(フォト)または(ミュージック)、(ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓で(USB)を選んで、決定を押す。

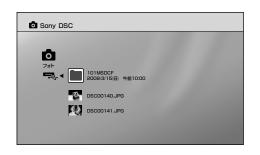
ファイルまたはフォルダのリストが表示されます。

サムネイル一覧を表示するには

リスト表示中に、黄を押す。

リスト表示に戻すには、もう一度黄ボタンを押してください。

4 ↑↓で再生したいファイルまたはフォルダを選んで、決定を押す。

フォルダを選んだときは、次に、再生したいファイルを選んで、決定を押してください。再生が始まります。

フォト再生のオートスタートについて

本機の電源を入れてから、静止画ファイルが入っているデジタルカメラなどをUSB端子につないで電源を入れると、自動でフォト再生が始まるように設定されています(☞100ページ)。

ご注意

- (フォト)では、ファイルによっては拡大して表示されるため、画質が粗くなります。また、サイズや横縦比によっては、画面いっぱいに表示されません。
- (フォト)では、静止画の表示に時間がかかるものがあります。
- つないでいるUSB機器にアクセス中は、本機やUSB機器の電源を切ったり、USBケーブルやUSB機器に入っている記録メディアを抜き差ししたりしないでください。保存データを破損する恐れがあります。
- 本機およびお使いの機器の不具合など、何らかの原因で記録内容が破損·消滅した場合などに対する保障はいたしかねますので、ご容赦ください。
- デジタルカメラなどをUSB端子につないだあとで、本機の電源を入れた場合は、自動で再生は始まりません(一部機器を除く)。

ちょっと一言

静止画にGPS情報があるときは地図が表示されます(☞117ページ)。地図を消したいときはオプションの[再生方法]で[地図画像表示]を[非表示]にしてください(☞70ページ)。
地図を詳細表示させるには、インターネットの接続(☞106ページ)が必要です。

(フォト)再生中に本機のマルチリモコンで操作するには

マルチリモコンボタン	機能
戻る	再生停止(ファイル／フォルダの選択画面へ)
⬆⬅	前のファイルへ
⬇➡	次のファイルへ

(ミュージック)再生中に本機のマルチリモコンで操作するには

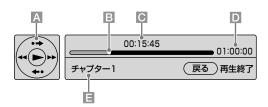
マルチリモコンボタン	機能
(決定)	一時停止／再生
戻る	再生停止(ファイル／フォルダの選択画面へ)
⬅➡を押したままにする	飛び先指定
⬆	頭出し再生*1
⬇	次のファイルへ

*1 ファイル冒頭から3秒以内のときは、前のファイルを頭出し再生します。

(ビデオ)再生中に本機のマルチリモコンで操作するには

マルチリモコンボタン	機能
(決定)	一時停止／再生
戻る	再生停止(ファイル／フォルダの選択画面へ)
⬅➡	早戻し／早送り
⬅➡を2回または3回押す	高速戻し／高速送り

情報パネルについて

情報パネルで再生の状態や再生時間などを確認できます。情報パネルは、画面表示ボタンで表示したり、閉じたりします*2。

A **操作ガイド**
再生中にマルチリモコンの⬆⬇⬅➡(決定)ボタンでできる操作をガイド表示します。

B **再生位置**
総時間を認識できないファイルの場合は表示されません。
(ミュージック)でファイル再生中に➡(早送り)、⬅(早戻し)を押したままにすると、飛び先を表示します。

C **再生時間**

D **総時間**

E **チャプター情報**

*2 (フォト)で静止画表示中は情報パネルは表示されません。

つないだ機器の映像を見る

次のページにつづく⇨

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● (フォト)選択中

項目	できること
画質・映像設定	画質の調整、モーションフローの設定ができます(☞82ページ)。
音質・音声設定	音質の調整、スピーカー出力の設定ができます(☞88ページ)。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	選んでいるフォルダやファイルを「お気に入り」に追加または削除します(☞49ページ)。
再生方法	再生時のさまざまな設定ができます。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧／リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
スライドショー	ファイルを連続再生します。 あらかじめ本機にBGMが登録されていますが、[再生方法]で好きな曲をBGMに登録して流すこともできます。
頭出し再生	冒頭からファイルを再生します。
機器操作	機器に応じてさまざまな操作ができます。
ファイル操作	ファイルに対するさまざまな操作ができます。
フォルダ操作	フォルダに対するさまざまな操作ができます。

● (ミュージック)選択中

項目	できること
音質・音声設定	音質の調整、スピーカー出力の設定ができます(☞88ページ)。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	選んでいるフォルダやファイルを「お気に入り」に追加または削除します(☞49ページ)。
再生方法	リピート／シャッフル／再生対象のミュージック再生設定ができます。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧／リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
再生	ファイルを再生します。
スライドショーBGM選択	(フォト)でスライドショー実行中に流すBGMを登録します。
機器操作	機器に応じてさまざまな操作ができます。
ファイル操作	ファイルに対するさまざまな操作ができます。
フォルダ操作	フォルダに対するさまざまな操作ができます。

ご注意

- (フォト)選択中に[再生方法]の[画像表示範囲]で[全画面(自動調整)]または[全画面(中央拡大)]を選んだときは、画像の一部が表示されないことがあります。
- フェイスフレーミング機能は、写真によっては効果が出ない場合があります。
- [スライドショー BGM選択]でフォルダを登録した場合、フォルダが保存されている機器のフォルダ／ファイル順が変わると、異なるフォルダが再生されることがあります。

ちょっと一言

- (フォト)選択中に[再生方法]の[画像表示範囲]を[全画面(自動調整)]に設定した場合、フェイスフレーミング機能により写真の顔の位置を検出し、人の顔が切れないように自動調整します。
- フェイスフレーミング機能は写真から人物の顔の位置を自動検出する機能です。
ソニー独自の顔認識技術「FACE DETECTION」を採用しています。

● (ビデオ)選択中

項目	できること
画質・映像設定	画質の調整、モーションフロー／画面モードの設定ができます(☞82ページ)。
音質・音声設定	音質の調整、スピーカー出力の設定ができます(☞88ページ)。
再生方法	リピート／シャッフル／再生対象のビデオ再生設定ができます。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧／リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
再生	前回停止した位置、または冒頭からファイルを再生します。
頭出し再生	冒頭からファイルを再生します。
次チャプター再生	次のチャプターに飛びます。
前チャプター再生	チャプターの先頭または前のチャプター(チャプターの先頭から3秒以内のとき)に戻ります。
機器操作	機器に応じてさまざまな操作ができます。
ファイル操作	ファイルに対するさまざまな操作ができます。
フォルダ操作	フォルダに対するさまざまな操作ができます。

ブラビアリンクでできること

ブルーレイディスクレコーダーとつないでできること

本機のマルチリモコンのボタンを押すだけで操作できます。ボタンを押すだけで切り換わるので、入力切換などの操作は必要ありません。

1 アンテナにつなぐ(☞22ページ)
2 HDMIケーブルでつなぐ(☞32ページ)
3 HDMI設定を確認する(☞[HDMI機器一覧]101ページ)
4 マルチリモコンに登録する(☞74ページ)
5 便利に使う(☞76ページ)

ホームシアターシステム／シアタースタンドシステムとつないでできること

映画に合った画質調整もオーディオへの音声切換もシアターボタンを押すだけで実現できます。

1 HDMIケーブルでつなぐ(☞32ページ)
録画機器と同様につないでください。
2 光デジタル接続ケーブルでつなぐ(☞34ページ)
3 HDMI設定を確認する(☞[HDMI機器一覧]101ページ)
4 便利に使う(☞76ページ)

ハードディスクレコーダーとつないでできること

見逃した瞬間を再生する「リプレイ」や今見ている番組をすぐ録画できる「見て録」を簡単操作で実現できます。

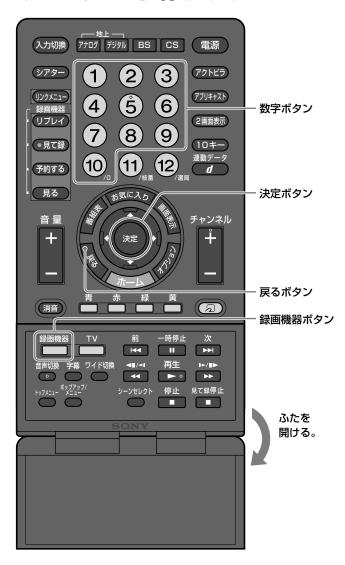
1 アンテナにつなぐ(☞22ページ)
2 HDMIケーブルでつなぐ(☞32ページ)
3 HDMI設定を確認する(☞[HDMI機器一覧]101ページ)
4 マルチリモコンに登録する(☞74ページ)
5 便利に使う(☞76ページ)

その他の機器とつないでできること

つないだ機器のメニュー操作を本機のマルチリモコンで実現できます。

1 HDMIケーブルでつなぐ(☞32ページ)
録画機器と同様につないでください。
2 HDMI設定を確認する(☞[HDMI機器一覧]101ページ)
3 便利に使う(☞76ページ)

ブラビアリンク対応機器を登録する

付属のマルチリモコンで、RFマークの付いたHDMI機器を操作できます。あらかじめ録画機器ボタンに機器を登録してください。
本機とマルチリモコンとの登録方法について詳しくは、☞25ページをご覧ください。

対応している機器

- ブルーレイディスクレコーダー＊
- ハードディスクレコーダー

＊ 2007年9月以降発売のソニー製対応機器。

機器を登録するには

録画機器ボタンには1つの機器を登録できます。

1 登録したい機器の電源を入れる。

ご注意

登録する機器の主電源を入れてから5分以内に登録してください。

2 録画機器を押しながら、戻る(戻る)を押し続ける。

— 録画機器ボタンが早く点滅したら指を離してください。
— マルチリモコンを登録したい機器に近づけて操作してください。

3 登録したい機器に対応した数字ボタンを押す。

録画機器ボタンが点灯します。

機器	数字ボタン
ブルーレイディスクレコーダー	①
ハードディスクレコーダー	②

4 決定を押す。

正しく登録されたときは、録画機器ボタンが2回点滅して消灯します。点灯し続けている場合はもう一度決定を押してください。

マルチリモコンの登録を確認するには

正しく登録できた場合、接続した機器が操作できます。操作できない場合は、登録する機器の電源を入れてから5分経過してしまった可能性があります。いったん登録する機器の電源を切り、「機器を登録するには」（☞上記）の手順1から登録し直してください。

ご注意

- 別冊の「ブラビアリンク接続・設定ガイド」や登録する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。
- マルチリモコンに機器を登録するとき、TVボタンと録画機器ボタンの両方が点滅して登録できない場合があります。このときは、電池の電圧が不足していますので、マルチリモコンの電池を交換してください。

機器登録したリモコンモードを切り換えるには

ブルーレイディスクレコーダーでは、リモコンのモード切換ができます。録画機器本体のリモコンモードを変更した場合は、下記に従って、本機のマルチリモコンを登録し直してください。

録画機器を押しながら、リモコンモードに対応した数字ボタンを押し続ける。

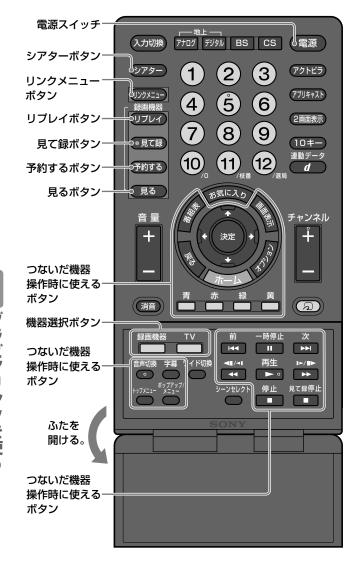
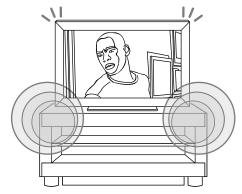
確定すると、録画機器ボタンが2回点滅します。

リモコンモード	数字ボタン
BD1	①
BD2	②
BD3	③

ブラビアリンクを使う

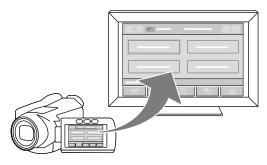
ブラビアリンクの使いかた

マルチリモコンを使ってできること

対応機器について詳しくは、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/bravia/support/

シアターボタン

映画の視聴に適した画質に自動設定。AVアンプをつないでいれば、スピーカー出力も自動切換。

対応機器

- ホームシアターシステム／シアタースタンドシステム
- ブルーレイディスクレコーダー

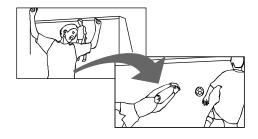
リンクメニューボタン

テレビを見ているときに押せば、対応機器一覧を表示し、操作する機器を選択。
機器の映像を見ているときに押せば、機器の操作メニューなどを表示。

対応機器

- ビデオカメラ
- リンクメニュー対応ブルーレイディスクレコーダー
- VAIOなどのリンクメニュー対応機器

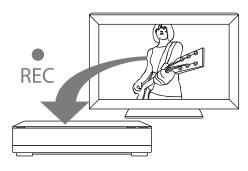
ご注意

リンクメニューボタンでメニューが表示できるのは、VAIOなどのリンクメニュー対応機器です。対応機器について詳しくは、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/bravia/support/

リプレイ リプレイボタン

見逃した場面をもう一度再生。

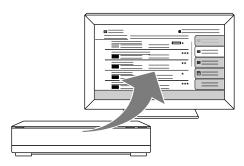
対応機器

- ハードディスクレコーダー

●見て録 見て録ボタン

テレビを見ているときに押すと、見ている番組を録画機器で録画。

対応機器

- ブルーレイディスクレコーダー
- ハードディスクレコーダー

予約する 予約するボタン

録画機器の録画予約画面を表示。スムーズに予約設定を開始。

対応機器

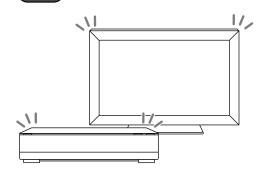
- ブルーレイディスクレコーダー
- ハードディスクレコーダー

見る 見るボタン

録画機器の録画リストを表示。番組を選べば再生開始。

対応機器

- ブルーレイディスクレコーダー
- ハードディスクレコーダー

電源 電源スイッチ

本機の電源を切ると、つないだ機器も連動して電源が切れる(☞78ページ)。

対応機器

- ブラビアリンク対応機器すべて

つないだ機器操作時に使えるボタン

録画機器ボタン／TVボタンを押して、ボタンを点灯させてから操作を開始。録画機器ボタンにはあらかじめ機器登録が必要。ビデオカメラはTVボタンを押してから操作。

対応機器

- ブルーレイディスクレコーダー
- ハードディスクレコーダー
- ビデオカメラ
- VAIOなどのリンクメニュー対応機器

次のページにつづく⇨

HDMI機器制御については、「ブラビアリンクで使われているHDMI機器制御について」(☞144ページ)をご覧ください。

ブラビアリンク対応機器などHDMI機器制御ができる機器を操作する

HDMI1 ～ 4入力端子にHDMI機器制御ができる機器をつないでいるときは、ホームメニューの(外部入力)の列に機器名が表示され、下記の操作ができます。本機とつないだ機器ともに主電源が入っている状態で行ってください。

ブルーレイディスクレコーダー／DVDプレーヤーなどのときは

ハードディスクレコーダーなどでも同様に操作できます。

操作	できること
本機で、ホームメニューの(外部入力)からHDMI機器を選ぶ	HDMI機器の電源が入り、本機の入力が切り換わります。
HDMI機器で再生を始める	本機の電源が入り、再生映像が表示されます。
本機の電源を切る*1	HDMI機器も設定していれば連動して電源が切れます。
本機で、オプションの[接続機器操作]から[メニュー]を選ぶ	つないだ機器のメニューが表示され、本機のマルチリモコンで操作できます。

*1 電源を切るときは、リモコンで操作してください。

AVアンプのときは

操作	できること
本機の電源を入れる*2	前回電源を切ったときに、音声がAVアンプから出力されていれば、AVアンプの電源が入り、本機の音声がAVアンプからの出力に切り換わります*3。 **音量調節：AVアンプ*4**
本機で、オプションの[スピーカー出力]を[AVアンプ]に切り換える	AVアンプの電源が入り、本機の音声がAVアンプからの出力に切り換わります*3。 AVアンプにつないだ録画機器などの映像を本機で視聴しているときは、録画機器の音声がAVアンプから出力されます。 **音量調節：AVアンプ*4**
AVアンプの電源を入れる	本機の電源が入っていれば、本機の音声がAVアンプからの出力に切り換わります*3。 AVアンプにつないだ録画機器などの映像を本機で視聴しているときは、録画機器の音声がAVアンプから出力されます。 **音量調節：AVアンプ*4**
本機の電源を切る*5	AVアンプの電源が切れます。 AVアンプにつないだ録画機器も設定をしていれば連動して電源が切れます。

*2 消音ボタンで本機の電源を入れたときは、AVアンプの電源は入りません。
*3 AVアンプをメディアレシーバーユニットの光デジタル音声出力につなぐ必要があります(☞34ページ)。
*4 本機マルチリモコンの音量＋／－ボタン、消音ボタンで音量を調節できる機器です。
*5 電源を切るときは、リモコンで操作してください。

ご注意

- HDMI1 ～ 4入力につないだ機器を操作するには、つないだ機器がHDMI機器制御に対応していて、HDMI機器制御ができるように設定されている必要があります。
- HDMI機器によっては、本機の電源を切っても連動して切れないことがあります。
- AVアンプはホームメニューの(外部入力)からは選べません。
- オプションの[接続機器操作]でメニューが表示できるのは、VAIOなどのリンクメニュー対応機器です。対応機器について詳しくは、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/bravia/support/

ちょっと一言

- 次のボタンを押すと、本機を操作できるようになります。
数字ボタン、チャンネル＋／－ボタン、アプリキャストボタン、地上アナログボタン、地上デジタルボタン、BSボタン、CSボタン、2画面表示ボタン、入力切換ボタン
- HDMI機器の電源を切ると、最後に見ていたチャンネルまたは入力に切り換わる可能性があります。
- 2008年3月以降に発売のソニー製ホームシアター機器の場合は、番組のジャンルに合わせて自動で音声効果が変わります。

本機で、オプションの[スピーカー出力]を[テレビスピーカー]に切り換える	音声が本機のスピーカーからの出力に切り換わります。 **音量調節:本機**[*1]
AVアンプの電源を切る[*2]	音声がAVアンプから出力されているときは、本機のスピーカーからの出力に切り換わります。 **音量調節:本機**[*1]

*1 本機マルチリモコンの音量+/−ボタン、消音ボタンで音量を調節できる機器です。
*2 電源を切るときは、リモコンで操作してください。

ビデオカメラのときは

操作	できること
ビデオカメラの電源を入れる、電源の入ったビデオカメラをつなぐ	本機の電源が入ったあとで、入力が切り換わり、ビデオカメラの操作メニューが表示されます。
本機の電源を切る[*3]	ビデオカメラも連動して電源が切れます。
本機で、オプションの[接続機器操作]から[メニュー]を選ぶ	ビデオカメラの操作メニューが表示され、本機のマルチリモコンで操作できます。

*3 電源を切るときは、リモコンで操作してください。

ご注意

オプションの[接続機器操作]でメニューが表示できるのは、VAIOなどのリンクメニュー対応機器です。対応機器について詳しくは、以下のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/bravia/support/

ちょっと一言

ビデオカメラの電源を切ると、最後に見ていたチャンネルまたは入力に切り換わる可能性があります。

本機の設定を変更する

設定画面でチャンネルや画質、音質などのさまざまな設定ができます。

1 （ホーム）を押す。

2 ←→で（設定）を選ぶ。

3 ↑↓で設定したい項目を選んで、（決定）を押す。

各設定項目の詳細については、右記の「設定カテゴリー一覧」に記載されているページをご覧ください。

設定カテゴリー一覧

アイコン	説明
（メール）	お問い合わせ・お知らせ（☞81ページ） お問い合わせ先を確認したり、メールやボードなどを表示できます。
（画質・映像）	画質・映像設定（☞82ページ） 画質や映像に関わる設定ができます。
（音質・音声）	音質・音声設定（☞88ページ） 音質や音声に関わる設定ができます。
（放送受信）	放送受信設定（☞91ページ） アンテナの設定や放送を受信するための設定ができます。
（機能）	機能設定（☞96ページ） 本機が対応しているさまざまな機能の設定ができます。
（外部入力）	外部入力設定（☞101ページ） メディアレシーバーユニットの外部入力端子に関わる設定ができます。
（通信）	通信設定（☞102ページ） 本機をネットワークにつなぐための設定ができます。
1·2·3	かんたん設定（☞104ページ） 放送を見るための初期設定やマルチリモコンの登録などができます。

お問い合わせ・お知らせ

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目説明
お問い合わせ	本機のお取り扱いについてのお問い合わせ先が表示されます。
デジタル放送からのメール	放送局からお客様へのお知らせ(メール)を見ることができます。
本機からのメール	ダウンロードのお知らせなど、本機が発行したメールを見ることができます。
ボード(CSデジタル)	110度CSデジタルの利用者全員へ共通のお知らせや番組案内などを見ることができます。
カード・受信機情報表示	B-CASカードや本機の情報を表示します。 また、無線通信の接続状態も表示します。

画質・映像設定

画質

操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
設定対象	共通	対応する画質モードがある入力画面に共通の設定ができます。
	現在の選択入力画面名称	以下の入力画面で個別に設定ができます。 地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、ビデオ1、ビデオ2、コンポーネント1、コンポーネント2、HDMI1、HDMI2、HDMI3、HDMI4、USB(ビデオ)、ネットワーク機器(ビデオ)、USB(フォト/ミュージック)、ネットワーク機器(フォト/ミュージック)、インターネットブラウザ、インターネットビデオ、PC
画質モード ご注意 他の設定内容によっては選べない項目もあります。	ダイナミック	映像の輪郭とコントラストを重視した鮮やかな映像になります。
	スタンダード	ご家庭でのご使用に合わせ、自然さを重視した標準的な映像になります。通常は[スタンダード]がおすすめです。
	カスタム	オリジナルの映像をお好みに合わせて細かく調整できます。
	シネマ1	映画スタジオでの編集環境に準じた映像になります。
	シネマ2	ご家庭で映画を鑑賞するのに適した映像になります。
	スポーツ	スポーツ番組に適した画質になります。
	ゲーム	ゲームに適した画質になります。
	グラフィックス	文字や表などを見るのに適した画質になります。
	フォト-ダイナミック	フォト専用に映像の輪郭、コントラスト、色を重視した鮮やかな映像になります。
	フォト-スタンダード	フォト専用に自然さを重視した標準的な映像になります。
	フォト-オリジナル	フォト専用に温かみのある映像になります。
	フォト-カスタム	フォト専用にオリジナルの映像をお好みに合わせて細かく調整できます。
標準に戻す	はい いいえ	[はい]を選ぶと、[画質]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
バックライト	調整バーを左に動かすと画面が暗くなり、右に動かすと明るくなります。	
ピクチャー	調整バーを左に動かすと明暗の差が小さくなり、右に動かすと大きくなります。	
明るさ	調整バーを左に動かすと暗くなり、右に動かすと明るくなります。	

設定したいこと	項目	項目説明
色の濃さ	調整バーを左に動かすと色が薄くなり、右に動かすと濃くなります。	
色あい	調整バーを左に動かすと色あいが赤みがかり、右に動かすと緑がかります。	
色温度	高／中／低1 ／低2	高い温度ほど青みがかった色調になり、低い温度ほど赤みがかった色調になります。[低1]と[低2]は[画質モード]で[ダイナミック]、[フォト-ダイナミック]以外を選んだときのみ設定できます。
シャープネス	調整バーを左に動かすと映像の輪郭が柔らかくなり、右に動かすとはっきりとします。	
ノイズリダクション	オート	地上アナログ放送のみ、映像のざらつきや色ノイズを検出して自動で軽減します。
	強／中／弱	ノイズの多さに応じて、強さを選び、映像のざらつきや色ノイズを軽減できます。ゴーストなど電波障害は軽減されません。
	切	ノイズ処理していないオリジナル映像信号に戻ります。映像のざらつきや色ノイズが強調されたり、色にじみが出ることがあります。
MPEGノイズリダクション	強／中／弱／切	デジタル特有のモスキートノイズやブロックノイズを低減できます。 ちょっと一言 MPEGノイズとは、DVDやハードディスクレコーダーに録画モードを長時間対応にして録画された映像などに出やすいノイズで、文字の輪郭などに蚊が飛んでいるように見えるモスキートノイズやモザイク状のひずみが出るブロックノイズがあります。
モーションフロー	強／標準／切	動きを滑らかにして映像の残像感を減らす機能です。 映画などの映像で[強]を選ぶと、動きがより滑らかになります。通常は[標準]のままお使いください。[強]や[標準]にしていてノイズが気になるときは[切]を選んでください。 ご注意 映像によっては切り換えても効果がわかりづらい場合があります。
シネマドライブ	オート1 ／オート2 ／切	[オート1]を選ぶと映画などのフィルム映像が、原画より滑らかな動きになります。通常は[オート1]のままお使いください。[オート2]を選ぶと、映画フィルム映像をより原画に忠実な映像に再現します。[オート1]または[オート2]にしていて輪郭がギザギザして見えるときは[切]を選んでください。

次のページにつづく⇨

設定したいこと	項目	項目説明	
詳細設定 [画質モード]で[ダイナミック]、[フォト-ダイナミック]以外を選ぶと設定できます。	**標準に戻す**	**はい**	[はい]を選ぶと、[詳細設定]の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
		いいえ	
	黒補正	**強/中/弱/切**	お好みに合わせて、黒を強調してコントラストを強くできます。
	アドバンスト C.E.	**強/中/弱/切**	映像の明るさを判別し、コントラストを自動で調整します。特に、黒つぶれしやすい暗いシーンで効果があり、細部まで表現力豊かに再現します。
	ガンマ補正	調整バーを左右に動かして、映像の明暗のバランスを調整できます。	
	クリアホワイト	**強/弱/切**	お好みに合わせて、白の鮮明さを強調できます。
	ライブカラー	**強/中/弱/切**	お好みに合わせて、色の鮮やかさを強調できます。
	色温度調整	**標準に戻す**	[色温度調整]をお買い上げ時の設定に戻します。
		Rゲイン/ Gゲイン/ Bゲイン/ Rバイアス/ Gバイアス/ Bバイアス	色温度を色ごとに細かく調整します。

画面モード

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

放送や外部入力の設定項目（パソコン画像以外）

設定したいこと	項目	項目説明
設定対象	共通	パソコン画像以外のすべての入力画面に共通の設定ができます。
	現在の選択入力画面名称	以下の入力画面で個別に設定ができます。 地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、ビデオ1、ビデオ2、コンポーネント1、コンポーネント2、HDMI1、HDMI2、HDMI3、HDMI4、USB（ビデオ）、ネットワーク機器（ビデオ）、インターネットビデオ
ワイド切換	ワイドズーム／ノーマル／フル／ズーム／字幕入	お好みの画面モードに切り換えられます。［オートワイド］を［切］に設定しておくとお好みの画面モードに固定できます（☞180ページ）。 **ご注意** 番組情報が表示されているときや視聴している番組によっては、ワイド切換ができないことがあります。
オートワイド	入	［入］を選ぶと、画像を検出して適切な画面モードに自動で切り換えます。 **ご注意** • 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、画面モード切り換え機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。 • ワイド映像でない従来の4:3の映像を、ワイドズームモードを利用して本機の画面いっぱいに表示させてご覧になると、周辺画像が一部見えなくなったり変形して見えたりします。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像はノーマルモードでご覧になれます。 • オートワイド［入］のときは、CMが入ったり番組が変わったりするときなどに、画面サイズが変わって不自然に見えたり、変わるまでに数秒間かかったりすることがあります。 • HDMIケーブルでつないだ機器の録画または出力の設定によっては、動作が異なることがあります。つないだ機器側の設定を確認してください。
	切	
4:3映像	ワイドズーム／ノーマル／切	［オートワイド］が［入］のときに4:3映像をどのように表示するか選べます。
自動表示領域切換	入	［入］を選ぶと、入力信号を検出して自動で適切な表示領域に切り換えます。
	切	

次のページにつづく⇨

設定したいこと	項目	項目説明
表示領域	フルピクセル	下記の信号を受信していて、[ワイド切換]が[フル]に設定されているときに、オリジナルの画サイズで表示されます。 • コンポーネント入力(1080i/1080p) • デジタル放送(1080i/1080p) • HDMI入力(1080i/1080p)
	+1	下記の信号を受信しているときに、オリジナルの映像領域が表示されます。 • HDMI入力(480i/480p)で[ワイド切換]が[フル]または[ノーマル] • HDMI入力(720p)で[ワイド切換]が[フル]
	標準	推奨の表示領域になります。
	−1/−2	オリジナルの映像の画欠けを見えなくします。 画面の周辺が欠けたり周辺のノイズが気になる場合は、[−1]または[−2]に設定してください。
画面位置調整	縦	画面の位置を上下に調整できます。 **ご注意** 視聴している信号によっては設定できないことがあります。
	横	画面の位置を左右に調整できます。 **ご注意** 視聴している信号によっては設定できないことがあります。
縦サイズ	画面のサイズを上下に調整できます。 **ご注意** 視聴している信号によっては設定できないことがあります。	

パソコン画像の設定項目（PC入力／ HDMI入力）

設定したいこと	項目	項目説明
自動画調整*	はい いいえ	[はい]を選ぶと、入力信号に合わせ、自動的に画面が最適になるように調整します。入力信号によっては、[自動画調整]により最適にならない場合があります。その場合は手動で[フェーズ]、[ピッチ]、[水平位置]、[垂直位置]を調整してください。
標準に戻す	はい いいえ	[はい]を選ぶと、パソコン画像の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
フェーズ*	画像にチラツキがある場合に調整します。	
ピッチ*	画像に縦じまのノイズがある場合に調整します。	
水平位置*	画像の水平位置を調整します。	
垂直位置*	画像の垂直位置を調整します。	
ワイド切換	ノーマル	オリジナルのサイズで表示します。
	フル1	オリジナル映像の横縦比率を保ったまま、画面いっぱいに表示します。
	フル2	オリジナルの映像をワイド画面いっぱいに表示します。

＊ パソコンをHDMIケーブルでつないだ場合は設定できません。

音質・音声設定

音質

操作方法は「本機の設定を変更する」（80ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
設定対象	**共通**	すべての入力画面に共通の設定ができます。
	現在の選択入力画面名称	以下の入力画面で個別に設定ができます。 地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル、ビデオ1、ビデオ2、コンポーネント1、コンポーネント2、HDMI1、HDMI2、HDMI3、HDMI4、USB（ビデオ）、ネットワーク機器（ビデオ）、USB（フォト／ミュージック）、ネットワーク機器（フォト／ミュージック）、インターネットブラウザ、インターネットビデオ、PC
音質モード	**ダイナミック**	重低音を響かせながら、高音も通るように、明瞭感あふれるメリハリのきいた音質になります。
	スタンダード	オリジナルの音源を活かし、全音域がバランスよく自然に広がっていく音質になります。クラシック音楽や自然ドキュメンタリーなどのコンテンツ向きです。
	クリアボイス	話しことばが聞き取りやすく、長時間聞いても耳にやさしい音質になります。
標準に戻す	**はい**	［はい］を選ぶと、［音質］の設定項目をお買い上げ時の設定に戻します。
	いいえ	
高音	調整バーを左に動かすと高音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。	
低音	調整バーを左に動かすと低音部分が弱くなり、右に動かすと強くなります。	
バランス	調整バーを左に動かすと左側の音が大きくなり、右に動かすと右側の音が大きくなります。	
サラウンド **ご注意** 他の設定内容によっては選べない項目もあります。	**S-FORCE Front Surround**	本機のスピーカーだけで、通常のステレオ放送や、5.1chサラウンドステレオ放送、つないだ機器の音声を臨場感のある立体的な音場で楽しむことができます。
	スポーツ	スポーツをライブ観戦しているような臨場感あふれる音場で楽しむことができます。
	ミュージック	ホールなどで音楽を聞くような臨場感あふれる音場で楽しむことができます。
	シネマ	映画館のような臨場感あふれる音場で楽しむことができます。
	ゲーム	ゲームに適した音声になります。
	切	5.1chなどデジタル放送のサラウンド音声は、通常のステレオ音声（2ch）に変換して再現します。それ以外の音声はオリジナル音声をそのまま再現します。
ボイスズーム	セリフなどが聞き取りにくいときに調整します。 調整バーを左に動かすと人の声が小さくなり、右に動かすと大きくなります。	

設定したいこと	項目	項目説明
サウンド エンハンサー	入 切	高音域を補正して明瞭感にあふれた聴き取りやすい音を再現します。
サウンド ブースター	強／弱／切	お好みに合わせて、高低音域を強調して立体感あふれる音声に調整できます。 ［音質モード］で［スタンダード］を選んだときのみ設定できます。
自動音量調整	入 切	［入］を選ぶと、放送･入力信号の音量変化に合わせて、音量を自動補正します。CMの音量が番組の音量より大きいときなどに有効です。
音量レベル	音の大きさが気になるときに調整します。 調整バーを左に動かすと他の入力より音が小さくなり、右に動かすと他の入力より音が大きくなります。 ［設定対象］で［共通］を選んだときは、調整できません。	

次のページにつづく⇨

☞操作方法は「本機の設定を変更する」（80ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
スピーカー出力	テレビスピーカー	本機のスピーカーから音声が出ます。
	AVアンプ	本機のスピーカーから音声が出なくなります。 HDMI機器制御対応のAVアンプをHDMI1 ～ 4入力と光デジタル音声出力につないでいるときは、AVアンプから本機の音声が出ます（☞78ページ）。［HDMI機器制御設定］（☞101ページ）をする必要があります。HDMI機器制御対応のAVアンプをつないでいないときは、本機につないだオーディオ機器のスピーカーで音声を聞くときに選びます。
スピーカー特性	テーブルトップ／壁掛け／壁寄せ	ディスプレイユニットのスピーカーから出る音声を、ディスプレイユニットの設置方法に合わせます。 ［テーブルトップ］は付属のテーブルトップスタンドを使う場合に選びます。ディスプレイユニットを壁に掛けたり、別売りのフロアスタンドに取り付けたりする場合は［壁掛け／壁寄せ］を選んでください。
音声外部出力設定	固定	音声出力からは一定の音量で音声が出力されます。
	可変	音声出力から出力される音量を、マルチリモコンの音量＋／－ボタンで調節できます。
光音声出力設定	オート1	光デジタル音声出力に圧縮音声対応AVアンプなどをつないでいるときに選びます。デジタルの圧縮音声は圧縮音声のまま出力されます。地上アナログやアナログ録画機器からの音声は、PCM音声のデジタル音声に変換して出力されます。
	オート2	光デジタル音声出力に圧縮音声対応AVアンプなどをつないでいるときに選びます。2ch以下の圧縮音声と地上アナログやアナログ録画機器からの音声は、PCM音声のデジタル音声に変換して出力されます。AAC音声の副音声への切り換えを本機の音声切換ボタンで操作したい場合は［オート2］をおすすめします。
	PCM	光デジタル音声出力に圧縮音声に対応していないAVアンプやホームシアター機器などをつないでいるときに選びます。デジタルの圧縮音声も地上アナログやアナログ録画機器からのアナログ音声も、PCM音声のデジタル信号に変換して出力されます。
AVシンク	標準／モード1 ／モード2 ／モード3	光デジタル音声出力にAVアンプをつないでいるときに、音声と映像がずれるのが気になるときに調整できます。 AVアンプにも同等の機能があるときは、本機の設定を［標準］にして、AVアンプ側で調整してください。 AVアンプに同等の機能がない場合、［モード1］、［モード2］、［モード3］となるに従い、光デジタル音声出力が映像より早く出力されるように調整できます。

放送受信設定

アンテナ設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」（80ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
地上デジタル：アンテナレベル **BS：衛星アンテナレベル** **CS：衛星アンテナレベル** 受信中のチャンネルのアンテナレベルが確認できます。地上デジタルでは［伝送チャンネル］で、BS/CSでは［3桁チャンネル番号］で受信するチャンネルを切り換えて、チャンネルごとの受信レベルを確認できます。 **ちょっと一言** アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は受信C/Nの換算値を表します。	**ビープ音**	アンテナの向きを調整するときに本機画面で確認できない場合には［入］にします。受信レベルが良いほど高い音、悪いほど低い音が出ます。［切］にすると音は消えます。
	伝送チャンネル（地上デジタルのみ）	受信チャンネルを表示します。受信チャンネルを選んで、切り換えられます。
	3桁チャンネル番号	受信中のチャンネル番号を表示します。
	現在受信中の放送	受信中の放送局名を表示します。
	アンテナサービス	サービス技術者用の表示です。
	現在	受信中のチャンネルの現在のアンテナレベル値を表示します。
	ピーク	受信中のチャンネルの過去に取得できた最大のアンテナレベル値を表示します。
	受信レベル表示バー	受信中のチャンネルのアンテナレベルをバーで表示します。赤、黄、緑の順に受信レベルが高くなります。良好な放送受信には緑の受信レベルが望ましいです。
地上アナログ：アンテナレベル	**受信チャンネル**	受信中のチャンネル番号を表示します。
	アンテナレベル	受信中のチャンネルのアンテナレベルを表示します。
	アンテナサービス	サービス技術者用の表示です。
BS・CS：衛星アンテナ設定	**オート**	本機の電源が入っているときに、本機が衛星アンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断します。本機の電源が切れているときは供給しません。衛星アンテナ電源がショートして［切］になった場合は、本機の電源を入れ直すことで再び［オート］になります。
	入	本機の電源が入っているときはつねに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。［オート］の設定でお使いのとき、BSデジタルが映ったり消えたりするときは［入］を選びます。
	切	電源を供給しません。マンションなどの共同受信システムのときは［切］を選びます。

次のページにつづく⇨

デジタル放送受信設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
デジタル共通:地域設定(県域)	**都道府県名**	お住まいの地域に合った放送チャンネル(地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル共通)の情報を取得するために設定します。引越しなどでお住まいの地域が変わったときは、新たに都道府県を選び直し、同時に[地上デジタル:自動チャンネル設定]でチャンネルも設定し直してください。
デジタル共通:地域設定(郵便番号)	**郵便番号**	お住まいの地域独自の放送チャンネル(地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル共通)の情報を取得するために設定します。お住まいの地域の郵便番号3桁または7桁を選択ボックスの数字を変化させて選ぶか、1 ～ 10の数字ボタンで入力します。
地上デジタル:自動チャンネル設定	**初期スキャン**	設定してあるチャンネルを消去し、受信可能なチャンネルを自動で設定し直します。
	再スキャン	設定してあるチャンネルは変えずに、自動で受信可能チャンネルを追加したり、変更になったチャンネルを更新したりします。
地上デジタル:プリセット登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**地上デジタルのチャンネル**	マルチリモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルにはチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには[－－－]を選びます。
地上デジタル:チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**+/-選局**	チャンネル+/-ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには[する]、選ばないチャンネルには[しない]を選びます。
	番組表表示	番組表に表示するチャンネルを設定します。表示するチャンネルには[する]、表示しないチャンネルには[しない]を選びます。
BS:プリセット登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**BSデジタルのチャンネル**	マルチリモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルにはチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには[－－－]を選びます。
[BS:プリセット登録]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**初期化**	マルチリモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを、お買い上げ時の設定に戻せます。
BS:チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**+/-選局**	チャンネル+/-ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには[する]、選ばないチャンネルには[しない]を選びます。
	番組表表示	番組表に表示するチャンネルを設定します。表示するチャンネルには[する]、表示しないチャンネルには[しない]を選びます。

設定したいこと	項目	項目説明
CS：プリセット登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**110度CSデジタルのチャンネル**	マルチリモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルにはチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには［－－－］を選びます。
［CS：プリセット登録］を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**初期化**	マルチリモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを、お買い上げ時の設定に戻せます。
CS：チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**＋／－選局**	チャンネル＋／－ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには［する］、選ばないチャンネルには［しない］を選びます。
	番組表表示	番組表に表示するチャンネルを設定します。表示するチャンネルには［する］、表示しないチャンネルには［しない］を選びます。
BS・CS：降雨対応放送受信	**オート** **切**	［オート］を選ぶと、降雨対応放送（☞140ページ）が始まると自動で切り換わります。

さまざまな設定／調整をする

次のページにつづく⇨

アナログ放送受信設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
地上アナログ：自動チャンネル設定	**オート**	放送局のある地域を選ぶ画面に変わります。お住まいにより近い放送局がある地域を選んでください。
	スキャン	受信できる地上アナログチャンネルを検索して、お住まいの地域のチャンネル情報を自動的に設定します。
地上アナログ：チャンネル登録 自動設定したチャンネルを手動で変更するときに使います。	**受信チャンネル**	マルチリモコンの1 ～ 12の数字ボタンで選局するチャンネルを設定できます。受信するチャンネルには、[1]～[62]または[C13]～[C63]のいずれかのチャンネル番号を選びます。受信しないチャンネルには[－]を選びます。
	表示チャンネル	視聴中に画面に表示されるチャンネル番号を設定できます。受信チャンネルの番号ではなく、[表示チャンネル]で設定した番号で選局したいときに使います。[1]～[62]または[C13]～[C63]のいずれかのチャンネル番号を選びます。
	＋／－選局	チャンネル＋／－ボタンやホームメニューで選べるチャンネルを設定します。選ぶチャンネルには[する]、選ばないチャンネルには[しない]を選びます。
	オートステレオ設定	通常は[入]を選んで、ステレオ放送を自動的にステレオのまま受信します。ステレオ放送で雑音が気になるときは、[切]を選ぶと、音声はモノラルになりますが雑音は軽減できます。
	チャンネル微調整	チャンネルごとに受信状態を微調整できます。[オート]を選ぶと、自動で最適な受信状態に調整します。[カスタム]を選ぶと、手動で調整できます。
	確定	設定を確定します。
	修正	選んでいるチャンネルの設定を変更できます。
	入換	設定されている内容を、そのまま他の数字ボタンに入れ換えられます。
	削除	自動登録されたチャンネルで電波が弱いチャンネルなどを選んで、削除できます。
	追加スキャン	受信できるチャンネルが増えたときなどに、すでに登録してあるチャンネルに追加して登録できます。
地上アナログ：ホームメニュー表示	**する** **しない**	地上デジタルを受信していて、地上アナログを視聴する必要がないときに、地上アナログをホームメニューに表示されないように設定できます。[する]を選ぶと、地上アナログをホームメニューに表示できます。

放送受信詳細設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
チャンネル選局 チャンネル+/−ボタンで切り換えられるチャンネルの範囲を選びます。	通常	視聴中の放送と放送サービス(例:地上デジタルのテレビ放送など)の中で順送りでチャンネルを切り換えられます。
	シームレス	放送サービス(テレビ、ラジオ、データ)ごとに、すべての放送のチャンネルに切り換えられます。
地上デジタル:自動チャンネル変更	する しない	[する]を選ぶと、放送局やチャンネルが増えたときや伝送チャンネルが変更されたときに自動で登録します。[しない]を選ぶと、自動では登録せず、チャンネルスキャンすると受信できるようになります。
地上デジタル:受信状態	通常	地上デジタルで受信状態が良好のときは、[通常]に設定しておいてください。
	混信	[通常]にすると選局時にノイズが気になる場合に選びます。
番組の継続視聴	する しない	[する]を選ぶと、同じ番組を別のチャンネルで継続して放送(イベントリレー)するときに、自動でチャンネルが切り換わります。
データ放送:セキュリティサイト自動接続	する しない	[しない]を選ぶと、セキュリティサイトに入るときと出るときに確認ダイアログを表示します。
データ放送:証明書のダウンロード確認	する しない	[する]を選ぶと、放送局から新しい証明書が発行されたときに、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 **ちょっと一言** • ルートCA証明書はルートCA(認証機関)が発行するデジタル証明書で、放送局が運営するセキュリティサイトとの通信の安全性を示すものです。 セキュリティ情報をやりとりするときに、接続先のセキュリティサイトの証明書が確認され、信頼するかどうかを決定できます。 • サーバー証明書はセキュリティサイトを表示しているときに見ることができます。セキュリティサイトを表示しているときは画面右下に🔒が表示されます。 • セキュリティサイトを表示中でも、証明書取得中はサーバー証明書を表示できないことがあります。
データ放送:証明書のダウンロード	する しない	[する]を選ぶと、放送局から新しい証明書が発行されたときに、自動でダウンロードします。
デジタル放送からのダウンロード	オート しない	[オート]を選ぶと、本機内部のソフトウェアを最新の状態に保つために、デジタル放送から自動でダウンロードします(☞138ページ)。

機能設定

シーンセレクト

☞操作方法は「本機の設定を変更する」（80ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目説明
シネマ	映画館のような臨場感あふれる画質･音質になります。
スポーツ	スポーツ観戦に適した画質･音質になります。
フォト	フォトの質感･色をリアルに再現します。
ミュージック	ホールなどで音楽を聞くような臨場感あふれる音場で楽しむことができます。
ゲーム	ゲームに適した画質･音質になります。
グラフィックス	文字や表などを見るのに適した画質になります。
切	[シーンセレクト]の設定を無効にします。
オート	視聴している内容に連動して、[シーンセレクト]の設定を自動で切り換えます。 デジタル放送視聴中は番組表のジャンル情報と連動して、シネマ、スポーツ、ミュージックに切り換わります。 HDMI入力のときは、つないだ機器からの情報によって、自動で切り換わることがあります。

省エネ設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
消費電力 消費電力量を抑えるように設定できます。	標準	お買い上げ時の設定です。
	減(明)	消費電力を抑えたいときに選びます。
	減(暗)	[減(明)]よりもさらに消費電力を抑えられます。
	減(消画)	ラジオ放送などをお楽しみになるときに、画面を消して音声のみを楽しめます。画面を表示するには、音声切換ボタン、消音ボタン、音量+/−ボタン以外のボタンを押してください。 ちょっと一言 消画にしたままで電源を切ると、次に電源を入れたときは[消費電力]が[標準]に戻ります。
明るさセンサー	入 切	[入]を選ぶと、周囲の明るさに合わせて自動で画面の明るさを調整します。[画質モード]と[消費電力]の設定によって、明るさセンサーによる効果が異なったり、効果が出にくいことがあります。
無操作電源オフ	切/ 1時間/ 2時間/ 3時間	選んだ時間中に本機の操作(チャンネル切換や音量調節など)をしなかった場合に、自動で電源を切ります(電源スタンバイ)。[切]を選ぶと、電源は自動で切れません。

視聴・インターネット制限設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目説明
暗証番号設定	[視聴年齢制限設定]を行うために暗証番号を設定します。 すでに暗証番号を設定してあるときは変更できます。設定してある暗証番号を入力してから新しい暗証番号を設定してください。 ちょっと一言 設定した暗証番号は忘れないようにしてください。忘れてしまったときは、[個人情報初期化]を行い、一度消去することで新しく設定し直せます。その場合は、消去される内容(☞137ページ)はすべて消去されるのでご注意ください。
視聴年齢制限設定	デジタル放送で推奨する視聴年齢がある番組を、暗証番号を入力しなければ視聴/予約できないように設定できます。[暗証番号設定]で暗証番号を入力したあと、年齢を設定します。
インターネットアクセス制限設定	暗証番号を入力しなければインターネットブラウザとアプリキャストを表示できないように設定できます。[暗証番号設定]で暗証番号を入力したあとで設定します。

次のページにつづく⇨

タイマー

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
現在時刻設定	デジタル放送を正しく受信できないときや、ケーブルテレビ(CATV)でデジタル放送を受信しているときは、時刻情報を自動で取得できないことがありますので、手動で設定してください。 **ご注意** [現在時刻設定]を設定したあと、メディアレシーバーユニットの電源コードを抜くと、時刻情報は消去されます。その場合はデジタル放送に切り換えて、時刻情報を取得してください。時刻情報が取得できないときは、もう一度[現在時刻設定]を設定し直してください。	
オンタイマー	オンタイマー	見たい番組があるときや目覚まし時計がわりに、本機の電源を入れられます。 [入]を選ぶと、設定した時刻に自動で電源が入ります。 **ご注意** • [入]に設定したあとは、マルチリモコンの電源スイッチで電源スタンバイ状態にしてください。メディアレシーバーユニットやディスプレイユニットの電源スイッチで主電源を切らないでください。 • [オンタイマー]を使うには、デジタル放送で時刻情報を取得するか、[現在時刻設定]を行う必要があります。 • ケーブルテレビ(CATV)でデジタル放送を受信しているときは時刻情報を取得できず、[オンタイマー]を使えないことがあります。[現在時刻設定]で時刻を設定してください。
	曜日	以下から曜日を選びます。 毎日、毎週(月)～(金)、日、月、火、水、木、金、土、毎週(日)、毎週(月)、毎週(火)、毎週(水)、毎週(木)、毎週(金)、毎週(土)
	時刻	時刻を設定します。
	視聴時間	設定した時間が経過すると自動で電源が切れます(電源スタンバイ)。 1時間、2時間、3時間、4時間、5時間、6時間
	チャンネル	放送とチャンネルを選びます。
	音量	テレビスピーカーの音量を調節します。
スリープタイマー	120分／90分／60分／45分／30分／15分／切	自動で電源を切る(電源スタンバイ)までの時間を選びます。

表示設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
お知らせタイトル	入／切	[入]を選ぶと、デジタル放送で選局したときに、選局先のチャンネル番号や現在放送されている番組のタイトルなどの情報を画面中央に表示します。
時計表示	入／切	[入]を選ぶと、画面右下に常に時刻を表示します。
デジタル放送:字幕	第1言語／第2言語／切	字幕のある番組を視聴中に字幕の言語を切り換えたり、字幕を消したりできます。
デジタル放送:文字スーパー	第1言語／第2言語／切	臨時ニュースなど、文字スーパーが送信されているときに文字スーパーの言語を切り換えたり、文字スーパーを消したりできます。
デジタル放送:データ取得中表示	入／切	[入]を選ぶと、デジタル放送の番組情報などを取得中に、画面にデータ取得中の表示を出します。

お好みナビ・語句設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
お好みナビ	入／切	[入]を選ぶと、お好みの番組を自動で探し、お知らせします(☞53ページ)。
お好みナビ学習情報初期化	はい／いいえ	お好みナビのために蓄積した学習情報を初期化します。
語句設定	番組検索やお好みナビで使う語句を設定します。	
[語句設定]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	お好みナビ登録／お好みナビ登録解除	選んでいる語句をお好みナビのキーワードとして登録できます。すでに登録してあるときは、登録を解除できます。
	語句編集	選んでいる語句を編集できます。ソフトウェアキーボード(☞62ページ)で編集してください。
	語句削除	選んでいる語句を削除できます。

さまざまな設定／調整をする

次のページにつづく⇨

本体設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
USBオートスタート	スライドショー／サムネイル一覧／切	［スライドショー］または［サムネイル一覧］を選ぶと、フォトの入っているデジタルカメラなどをUSB端子につないで電源を入れると自動で再生を始めます。 **ご注意** デジタルカメラなどをUSB端子につないだあとで、本機の電源を入れた場合は、自動で再生は始まりません(一部機器を除く)。
ホームメニュー速度設定	標準	お買い上げ時の設定です。
	モード1	↑↓←→で操作したときにゆっくりカーソルが移動します。
	モード2	↑↓←→を押すたびにカーソルが移動します。↑↓←→を押し続けても早くスクロールすることはできません。
高速起動	学習機能／早朝／朝／昼／夜／深夜	マルチリモコンで電源を入れたときに、本機を早く起動できます。待機時消費電力が増えますのでご注意ください。時間帯は3項目まで設定できます。 ［学習機能］を［入］に設定すると、自動でよく使う時間帯は［高速起動］が働き、電源を入れることが少ない時間帯は［高速起動］が働かないようにします。
フロントイルミネーション	入／切	［入］を選ぶと、メディアレシーバーユニット前面のディスプレイが点灯した状態になります。
モニターボタンイルミネーション	オート	ディスプレイユニット前面のボタンに触れると点灯します。
	常時点灯	電源が入っているときは、ディスプレイユニット前面のボタンが点灯します。
個人情報初期化	消去する／中止する	［消去する］を選ぶと、本機を廃棄したり譲渡したりするときに、個人的な情報を消去できます(☞137ページ)。

外部入力設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明	
オートインプットスキップ設定	ビデオ1／ビデオ2／コンポーネント1／コンポーネント2／HDMI1／HDMI2／HDMI3／HDMI4／PC	スキップ設定	[オート]を選ぶと、機器をつないでいるかどうかを自動検出して、機器をつないでいない入力はホームメニューや入力切換ボタンで切り換えられなくなります。
		表示名称(PC入力以外)	ホームメニューやマルチリモコンの入力切換ボタンで選べる入力端子名やアイコンを一覧から選んで変更できます。[設定しない]を選ぶと機器の名前は表示されません。[編集:]を選ぶと、ソフトウェアキーボード(☞62ページ)が表示されて、機器の名前を変更できます。
		アイコン	[表示名称]で[編集:]を選んだときのみアイコンを変更できます。

HDMI機器制御設定

☞ブラビアリンクを使うときは、別冊の「ブラビアリンク接続・設定ガイド」をご覧ください。
☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
HDMI機器制御	する／しない	HDMI1 ～ 4入力にHDMI機器制御に対応した機器をつないでいるときに、HDMI機器制御を有効にするかどうかを選びます。[する]を選ぶと、[テレビ→HDMI機器電源連動]と[HDMI機器→テレビ電源連動]の設定ができるようになります。 HDMI機器制御に対応したAVアンプをつないでいるときは、本機のマルチリモコンでAVアンプの音量を調節できます。 また、HDMI機器制御設定連動*に対応しているソニー製機器(AVアンプやビデオなど)のHDMI機器制御設定も有効になります。 **ご注意** • [する]を選んだときは、メディアレシーバーユニットやディスプレイユニット、対応機器の主電源を切らないでください。 • 有効にならない場合は、接続した機器側のHDMI設定も行ってください。
テレビ→HDMI機器電源連動	する／しない	[する]を選ぶと、本機の電源を切るときにHDMI機器の電源も連動して切ります(☞78ページ)。
HDMI機器→テレビ電源連動	する／しない	[する]を選ぶと、HDMI機器で電源を入れたり、再生などの操作をしたりするときに、本機の電源も連動して入ります(☞78ページ)。
HDMI機器一覧	HDMI入力につないだHDMI機器制御に対応した機器を一覧表示します。一覧表示されたAVアンプ以外の機器はホームメニューの(外部入力)から選べるようになります。[有効にする]を選ぶと、HDMI機器制御設定連動*に対応しているソニー製機器のHDMI機器制御設定も有効になります。	

＊ テレビのHDMI機器制御設定を有効にすると、HDMIで接続されているソニー製の「HDMI機器制御設定連動」対応機器のHDMI機器制御設定も有効にする機能です。

通信設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」（80ページ）をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明	
ネットワーク設定	**IPアドレス取得方法**	［DHCPを利用（DNS自動）］を選ぶと、ルーターやプロバイダーのDHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。［DHCPを利用（DNS手動）］を選ぶと、ルーターやプロバイダーのDHCPサーバー機能により、自動でDNSサーバー以外のネットワークの設定を割り当てます。DNSサーバーの設定は手動で行います。 ［固定IPアドレスを指定］を選ぶと、ルーターの使用状況やプロバイダーの指定に合わせて、手動でネットワークを設定する必要があります。	
	接続診断	ネットワークに正常に接続できるか診断します。	
	IPアドレス／サブネットマスク／デフォルトゲートウェイ／DNSサーバー（プライマリ）／ DNSサーバー（セカンダリ）	［IPアドレス取得方法］で［固定IPアドレスを指定］を選んだときに、↑↓で数字を選ぶか、1 ～ 10の数字ボタンで入力します。 ［IPアドレス取得方法］で［DHCPを利用（DNS手動）］を選んだときも、［DNSサーバー（プライマリ）］と［DNSサーバー（セカンダリ）］を入力します。	
	MACアドレス	ネットワーク上で、ネットワークインターフェースを識別するために設定されている固有の番号を表示します。	
［ネットワーク設定］を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**プロキシ設定**	**プロキシサーバー使用**	インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは［する］に設定してください。
		プロキシサーバー	［プロキシサーバー使用］を［する］に設定したときに入力してください。
		ポート（1 ～ 65535）	［プロキシサーバー使用］を［する］に設定したときに入力してください。
接続サーバー設定	**使用**	［する］を選ぶと、ネットワークに接続したサーバーをホームメニューに表示して選べるようになります。	
［接続サーバー設定］を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**すべて削除**	接続サーバーをすべて削除します。	
	サーバーリスト更新	サーバーリストを最新の情報に更新できます。	
	情報	選んでいる接続サーバーの情報を表示できます。	
	削除	選んでいる接続サーバーを削除します。	
接続サーバー診断	**はい** **いいえ**	［はい］を選ぶと、サーバーに接続できるか診断します。	

レンダラー設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明
レンダラー機能	**入**	[入]を選ぶと、携帯電話やデジタルカメラなどのコントローラーを操作して写真や音楽、映像を本機で再生できます(☞117ページ)。
	切	
レンダラーアクセス制御設定	**アクセス制御**	レンダラーにアクセス可能なコントローラーを設定します。[する]に設定したコントローラーを操作して写真や音楽、映像を本機で再生できます。
[レンダラーアクセス制御設定]を表示中にオプションボタンを押すと表示されます。	**すべて削除**	コントローラーをすべて削除します。
	情報	選んでいるコントローラーの情報を表示します。
	リストから削除	選んでいるコントローラーを削除します。
レンダラー詳細設定	**自動アクセス許可**	ネットワーク上のコントローラーが初めて本機にアクセスしたときに、自動でアクセス許可するかどうかを設定します。
	スマートセレクト	スマートセレクト機能に対応したコントローラーから、すぐ近くにある本機を発見する機能を使用するかしないかを選びます。
	レンダラー名	コントローラー側で表示される本機の名前をソフトウェアキーボード(☞62ページ)で設定できます。

次のページにつづく⇨

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目	項目説明	
電話回線設定	**電話回線の種類**	[オート]:回線の種類を自動的に選びます。[オート]でうまく通信できないときは、[トーン]、[10pps]または[20pps]を選んでください。 ADSL回線を使っているときは[オート]を選びます。 [トーン]:プッシュホン回線またはISDN回線を使っているときに選びます。 [10pps]／[20pps]:プッシュホン回線を使っていないときに選びます。プッシュホン回線を使っているか不明のときは、電話会社にお問い合わせください。	
	発信方法	[通常発信]:外線に電話するときに、相手の電話番号にそのままかける場合に選びます。 [0発信]／[9発信]:外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」(0発信)または「9」(9発信)を付けるときに選びます。	
	電話線接続確認	電話線が正常に接続されているか確認します。 **ご注意** [電話線接続確認]は、本機と電話回線が物理的に接続されてやりとりできるかをテストします。テストがうまくいってもつながらないときは、[電話回線の種類]で[トーン]や[10pps]、[20pps]を正しく設定し直してください。	
[電話回線設定]を表示中にオプションから[詳細設定]を選ぶと表示されます。	**発信先への電話番号通知** デジタル放送の放送局へ登録などができないときは、電話会社に問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。	**通知しない**	電話番号の先頭に「184」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせない設定です。
		通知する	電話番号の先頭に「186」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせる設定です。
		設定なし	電話番号の先頭に番号を付けません。
	電話会社の番号	必要なときに設定してください。	
	マイラインプラス契約	**していない** **している**	マイライン契約をしているかどうかを選びます。 **ご注意** データ放送によっては、マイラインプラスの契約どおりに通信できないことがあります。

かんたん設定

☞操作方法は「本機の設定を変更する」(80ページ)をご覧ください。

設定したいこと	項目説明
かんたん初期設定	地上アナログ、地上·BS·110度CSデジタルの受信設定を、一連の流れでできます(☞27ページ)。
かんたん機能設定	本機を快適に使用するための基本的な設定を、一連の流れでできます(☞30ページ)。 高速起動設定／お好みナビ設定
マルチリモコン登録	一度登録したマルチリモコンを登録解除したり、新たに登録したりできます(☞25ページ)。

ネットワークにつないでできること

「アクトビラ」*を楽しむ

本機に光ファイバー回線などのブロードバンド回線をつないで、ニュースや天気、株価など生活に役立つ情報や、映画や音楽、アニメなど幅広いジャンルの映像を、好きなときに楽しめます。

画面はイメージです。

1 LANケーブルをつなぐ(☞106ページ)

2 **本機のネットワーク設定をする(☞106ページ)**

3 **「アクトビラ」を見る(☞108ページ)**

* 「アクトビラ」はシャープ株式会社、ソニー株式会社、ソネットエンタテインメント株式会社、株式会社東芝、株式会社日立製作所、パナソニック株式会社が共同で設立した株式会社アクトビラが提供するテレビの新しいネット・サービスです。

Edyを使う

マルチリモコンにEdyカードやおサイフケータイをかざせば、チャージ(入金)や有料サービスの支払いなどをできます。

1 LANケーブルをつなぐ(☞106ページ)

2 **本機のネットワーク設定をする(☞106ページ)**

3 Edyを使う(☞110、112ページ)

アプリキャストを楽しむ

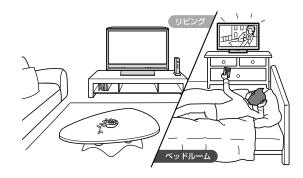
テレビ放送を見ながら気になる情報をチェックできます。

1 LANケーブルをつなぐ(☞106ページ)

2 **本機のネットワーク設定をする(☞106ページ)**

3 **アプリキャストを見る(☞114ページ)**

ホームネットワークを楽しむ

ネットワーク機器に保存したファイルを本機で再生できます。

1 LANケーブルをつなぐ(☞106ページ)

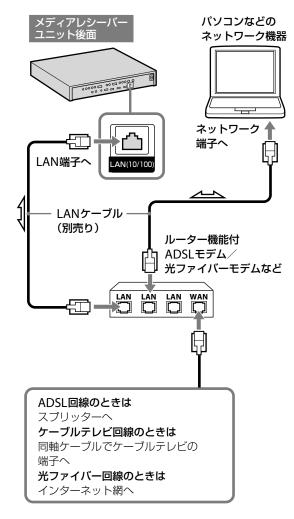
2 **本機のネットワーク設定をする(☞106ページ)**

3 **ホームネットワーク設定をする(☞106ページ)**

4 **ホームネットワークを使う(☞116ページ)**

ネットワークにつなぐ準備をする

LANケーブルをつなぐ

インターネット回線の状況に合わせてつないでください。

ルーターやモデムについて

- 本機以外にパソコンなどのネットワーク機器もつなぐときは、ルーター機能が必要です。
  ルーター機能があるかどうかは、モデムなどの取扱説明書をご覧ください。
- あらかじめルーター機能設定が有効になっている必要があります。
  設定方法について詳しくは、モデムなどの取扱説明書をご覧ください。

LANケーブルについて

- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。モデムやルーターなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 100BASE-TX/10BASE-TタイプのLANケーブルをお使いください。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

本機のネットワーク設定をする

ネットワークに接続する機器に割り当てられる固有の番号（IPアドレス）などを本機で設定します。
ホームメニューから（設定）→（通信設定）→[ネットワーク設定]（☞102ページ）を選んで、接続環境に合わせて設定してください。

ホームネットワーク設定をする

本機でホームネットワークを楽しむためには、ネットワーク機器（サーバー）側で下記のような設定が必要になります。

- 本機をクライアント登録する
- ファイアーウォールの設定をする（パソコンのみ）

設定方法などについて詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。

ホームネットワークに接続できたか確認するには

ホームネットワークにうまく接続できないときに、本機でサーバーを正しく認識できるか確認します。

1 ホーム を押す。

2 ←→で(設定)を選ぶ。

3 ↑↓で(通信設定)を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で[接続サーバー診断]を選んで、決定を押す。

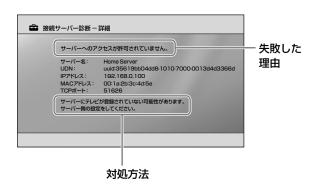
5 [はい]が選ばれていることを確認して、決定を押す。

接続サーバー診断が始まります。

6 接続サーバー診断終了後に、↑↓で確認したいサーバーを選んで、決定を押す。

ホームネットワーク上で見つかったサーバー

7 診断結果内容を確認する。

診断結果が失敗だったときは、理由と対処方法を見て接続や設定を確認してください。詳しくは、「故障かな?と思ったら」(☞129ページ)をご覧ください。

インターネットアクセス制限を設定する

暗証番号を入力しなければ「アクトビラ」やアプリキャストなどを表示できないように設定できます。あらかじめ暗証番号を設定しておく必要があります(☞97ページ)。

1 ホーム を押す。

2 ←→で(設定)を選ぶ。

3 ↑↓で(機能設定)を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で[視聴・インターネット制限設定]を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で[インターネットアクセス制限設定]を選んで、決定を押す。

6 数字ボタンを使って暗証番号を入力して、決定を押す。

設定を変更できます。

7 ↑↓で[制限する]を選んで、決定を押す。

8 戻る(戻る)を押して、←→で[はい]を選んで、決定を押す。

「アクトビラ」を楽しむ

あらかじめ「LANケーブルをつなぐ」と「本機のネットワーク設定をする」（☞106ページ）をしてください。

本機に光ファイバー回線などのブロードバンド回線をつないで、ニュースや天気、株価など生活に役立つ情報や、映画や音楽、アニメなど幅広いジャンルの映像を、好きなときに楽しめます。

1 **(アクトビラ) を押す。**

画面はイメージです。

2 **↑↓←→や(決定)などを使って、見たいコンテンツを選ぶ。**

インターネットブラウザを終了するには、アクトビラボタンを押してください。「アクトビラ」を表示する前の画面に戻ります。

「アクトビラ ビデオ」／「アクトビラ ビデオ・フル」を見る

迫力ある高画質な映像を、大画面で、好きなときに楽しめます。

↑↓←→で見たいビデオコンテンツを選んで、(決定)を押す。

画面はイメージです。

有料サービスを見るには

「アクトビラ」には有料のサービスやコンテンツもあります。クレジットカードやEdyカード、おサイフケータイなどで支払いができますが、各サービスやコンテンツによって利用可能な支払い方法は異なります。利用する前にご確認ください。

Edyカードやおサイフケータイなどとマルチリモコンを使えば、より簡単に有料サービスやコンテンツの支払いができます（☞110ページ）。

■ アクトビラに関するお問い合わせ先は、
株式会社アクトビラ　カスタマーセンター
0570-091017（ナビダイヤル）
受付時間　10：00 ～ 19：00（年末年始を除く）
（IP電話の場合　03-3513-6740）
info@desk.actvila.jp（電子メール）
■ アクトビラの最新情報は…
アクトビラ公式情報サイト（http://actvila.jp/）をご覧ください。

ご注意

- 「アクトビラ」を見るには、（ADSLやFTTH、CATVなどの）ブロードバンド接続環境が必要です。
- プロバイダーや回線事業者との契約･使用料は別途必要です。
- 回線事業者やプロバイダーが採用している接続方式･契約約款により、利用できない場合があります。
- 天災、システム障害その他の事由により、「アクトビラ」のサービスを表示できない場合があります。あらかじめご了承ください。
- サービスの内容や画面は、予告なく変更することがあります。
- 本ページの記載内容は2009年8月現在のものです。
- 「アクトビラ」の利用条件については別途アクトビラ公式情報ホームページ（http://actvila.jp/）にてご確認のうえご利用ください。

ちょっと一言

「アクトビラ ビデオ」のご利用には実効速度6Mbps程度、「アクトビラ ビデオ･フル」のご利用には実効速度12Mbps程度の回線速度を想定しています。お客様のネットワーク環境により異なりますので保証するものではありません。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● ホームページ表示中

項目	できること
画質･音質	画質／音質を調整できます(☞82、88ページ)。
ブラウザ設定	ブラウザ設定画面を表示します。 **文字サイズ**:文字の表示サイズを変更します。 **JavaScriptの設定**:JavaScriptの使用の有効／無効を設定します。 **Cookieの設定**:Cookieの使用の有効／無効を設定します。 **Cookieの全削除**:Cookieをすべて削除します。 **スタートページに設定**:表示しているホームページをスタートページに設定します。 スタートページは、一度本機の電源を切ったあとでインターネットブラウザ画面を表示したときに表示されます。本機の電源を切らずに再びインターネットブラウザ画面を表示したときは、最後に見ていたホームページが表示されます。 **SSLの警告表示**:セキュリティで保護されたページに接続するときの確認表示の入／切を設定します。
ウィンドウ一覧	現在開いているホームページを一覧表示します。
ブックマーク一覧	登録したブックマークを一覧表示します。
前のページ	以前に表示していたホームページに戻ります。
次のページ	前のページを見たあとに、元のページに再び進みます。
読込み中止	読込みを中止します。
再読込み	表示中のホームページを更新します。
URL入力	直接URLを入力するためにソフトウェアキーボードを表示します(☞62ページ)。
ブックマークに追加	表示中のホームページをブックマークに登録します。
新しいウィンドウで開く	リンク先のホームページを新しいウィンドウで開きます。
文字エンコード指定	表示言語の文字コードを設定します。本機は文字の自動判別機能を備えていますが、ホームページが正しく表示されないときに設定します。
情報	表示中のホームページのタイトルやURL、サーバー証明書の情報を表示します。

● ウィンドウ一覧画面表示中

項目	できること
ウィンドウを閉じる	複数のウィンドウを開いているとき、選んだウィンドウを閉じます。
選択	選んだウィンドウを表示します。
情報	選んだウィンドウのタイトルやURL、サーバー証明書の情報を表示します。

● 複数行入力できる文字入力欄選択中

項目	できること
左削除	文字入力中に、カーソルの左側の文字を削除します。
入力	ソフトウェアキーボードを表示します(☞62ページ)。
改行	改行します。

● ブックマーク一覧画面表示中

項目	できること
最近使った順に並べる	最近閲覧した順に並べ換えます。
タイトル順に並べる	タイトル順に並べ換えます。
登録順に並べる	新しく登録した順に並べ換えます。
選択	選んだブックマークを表示します。
ブックマークの削除	選んだブックマークを削除します。
タイトルの編集	選んだブックマークのタイトルを編集できます。ソフトウェアキーボードを表示します(☞62ページ)。
情報	タイトル、URL、登録日時、最後に閲覧した日時を表示します。

電子マネー(Edy/eLIO)で支払いをする

あらかじめ「LANケーブルをつなぐ」と「本機のネットワーク設定をする」(☞106ページ)をしてください。

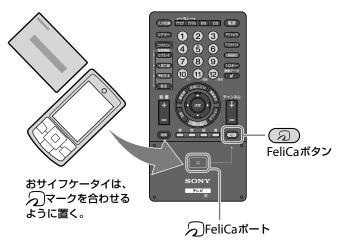
本機のマルチリモコンを使って、電子マネーで「アクトビラ」などの有料サービスの支払いができます。「アクトビラ」では、電子マネー Edy/eLIOでの支払いに対応しています。

Edyで支払う

Edyとは、チャージ(入金)して使うプリペイド型電子マネーです。

1 **「アクトビラ」などの有料サービスの購入時にEdy決済を選んで、画面の指示に従って操作する。**

下記の画面が表示されます。

2 **マルチリモコンのFeliCaポートにEdyカードやおサイフケータイを置いた状態で、(FeliCaボタン)を押す。**

FeliCaボタンが点滅します。決済完了までそのままお待ちください。

3 **「ご利用明細」画面で、[次へ]を選んで決定を押す。**

「アクトビラ」の画面が表示されます。

■ Edyに関するお問い合わせ先は、
Edy救急ダイヤル
0570-081-999(ナビダイヤル)
(044-520-1761)
受付時間　平日9:30 ～ 19:00 ／土･日･祝日10:00 ～ 18:00
(年末年始および毎年10月第3土曜日を除く)

ご注意

FeliCaボタンが点灯しないときは、マルチリモコンのふたを開けてFeliCaボタンを押してください。ふたの中にあるTVボタンが3回点滅したら、電池の電圧が不足しているので電池を交換してください。他のマルチリモコン操作はできても電子マネー(Edy/eLIO)で支払いができない場合は、電池の交換をおすすめします。

eLIOで支払う

eLIOとは、カード番号などの入力が不要なインターネット専用クレジット決済サービスです。

1 **「アクトビラ」などの有料サービスの購入時にeLIO決済を選んで、画面の指示に従って操作する。**

下記の画面が表示されます。

2 **マルチリモコンのFeliCaポートにeLIOカードやおサイフケータイを置いた状態で、 (FeliCaボタン)を押す。**

FeliCaボタンが点滅します。決済完了までそのままお待ちください。決済が完了すると、自動的に「アクトビラ」の画面が表示されます。

■ eLIOカードに関するお問い合わせ先は、
ソニーファイナンスカードセンター
0570-00-4156
受付時間　9:30 ～ 17:30(年末年始を除く)
※上記番号がご利用できない場合は018-888-9824へおかけください。
■ ソニーファミリーカード(VISA)に関するお問い合わせ先は、
グループカードデスク
0120-012-568
受付時間　9:30 ～ 18:00(月 ～ 土／日祝休)
※上記番号がご利用できない場合は018-888-9865へおかけください。
■ ソニーファミリーカード(JCB)に関するお問い合わせ先は、
ファミリーカードデスク
0120-977-260
受付時間　9:00 ～ 17:00(月 ～ 土／日祝休)
※上記番号がご利用できない場合は0422-46-9961へおかけください。
■ 2通貨決済機能付きのSonyCardの専用お問い合わせ先は、
0120-935-698
受付時間　9:30 ～ 17:30(年末年始を除く)
※上記番号がご利用できない場合は03-5645-6977へおかけください。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sonyfinance.co.jp/contact/index.html

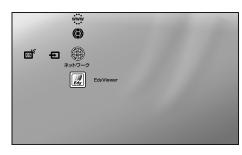
Edyを使う[EdyViewer]

あらかじめ「LANケーブルをつなぐ」と「本機のネットワーク設定をする」(☞106ページ)をしてください。

Edy(エディ)とは、財布にお金を入れるようにEdyカードやおサイフケータイにチャージ(入金)して、読み取り機にかざすだけで支払いができるプリペイド型電子マネーです。申し込みや審査が不要です。本機ではマルチリモコンを読み取り機として使って、EdyViewer上でチャージ(入金)などができます。

> **Edyを始めるには**
> Edyには、カードタイプとおサイフケータイで使うアプリタイプの2種類があります。
> ■ Edyカード
> 会員カードやポイントカード、クレジットカードなど、さまざまな種類のカードから選べます。
> ■ おサイフケータイ
> Edyアプリをダウンロードして設定するだけで、携帯電話でEdyが利用できます。
>
> 詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
> http://www.edy.jp/

1 ホーム を押す。

2 ←→で🌐(ネットワーク)を選ぶ。

3 ↑↓で(EdyViewer)を選んで、決定を押す。

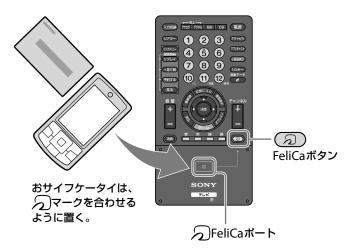
下記の画面が表示されます。

EdyViewerでできること

項目	できること
Edyギフト	ポイント交換やキャンペーンなどでプレゼントされたEdyを受け取ることができます。
Edyチャージ	登録されているクレジットカードからのチャージ(入金)ができます。
残高照会	残高と利用履歴が確認できます。
ヘルプ	EdyViewerの使いかたを確認できます。

マルチリモコンでEdyを読み取るには

操作中に下記の画面が表示されたら、マルチリモコンを使ってEdyカードやおサイフケータイの読み取りをしてください。

マルチリモコンのFeliCaポートにEdyカードやおサイフケータイを置いた状態で、(FeliCaボタン)を押す。

FeliCaボタンが点滅します。点滅中は、Edyカードやおサイフケータイを FeliCaポートに置いたままにしてください。

チャージ(入金)をする

本機でチャージ(入金)するには、あらかじめクレジットカード情報を登録*しておく必要があります。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.edy.jp/

* Edyカードをご利用の場合は、パソコンでのみクレジットカード情報の登録ができます。パソコンにFeliCaポートが搭載されていない場合は、別売りのパソリ(非接触ICカードリーダ・ライタ)が必要です。

1 ☞112ページの手順1 ～ 3を行う。

2 ↑↓で[Edyチャージ]を選んで、決定を押す。

3 マルチリモコンでEdyカードやおサイフケータイを読み取る(☞「マルチリモコンでEdyを読み取るには」112ページ)。

4 クレジットカード情報を登録したときに設定したパスワードを入力して、決定を押す。

5 ↑↓←→で[実行]を選んで、決定を押す。

6 ↑↓でチャージ(入金)する金額を選んで、決定を押す。

7 ↑↓←→で[実行]を選んで、決定を押す。

8 金額を確認して、←→で[確認]を選んで、決定を押す。

9 正しくチャージ(入金)されたことを確認するために、もう一度マルチリモコンでEdyカードやおサイフケータイを読み取る。

■ Edyに関するお問い合わせ先は、
Edy救急ダイヤル
0570-081-999(ナビダイヤル)
(044-520-1761)
受付時間　平日9:30 ～ 19:00 ／土･日･祝日10:00 ～ 18:00
(年末年始および毎年10月第3土曜日を除く)

ご注意

- 本機では、クレジットカード情報の登録はできません。
- おサイフケータイをご利用の場合は、Edyアプリでクレジットカード情報の登録をしてください。

ちょっと一言

現金からEdyにチャージ(入金)するには、Edyが使えるコンビニエンスストアのレジや、お店に設置されているEdyチャージャー(現金入金機)が利用できます。

アプリを楽しむ[アプリキャスト]

あらかじめ「LANケーブルをつなぐ」と「本機のネットワーク設定をする」(☞106ページ)をしてください。

放送中の番組とインターネット上のアプリを同時に楽しめます。アプリの一覧からお好みのアプリを選ぶだけで、さまざまな情報を見ることができます。

1 アプリキャスト を押す。

2 ↑↓で使いたいアプリを選んで、決定を押す。

放送中の番組やビデオなどの映像　選んでいるアプリ

3 ↑↓←→や決定などを使って、画面に従って操作する。

アプリキャストを終了するには、アプリキャストボタンを押してください。

アプリの一覧から他のアプリを選ぶ

ホームメニューからお好みのアプリを選べます。

1 ホーム を押す。

2 ←→で(ネットワーク)を選ぶ。

3 ↑↓で使いたいアプリまたはフォルダを選んで、決定を押す。

フォルダを選んだときは、次に、使いたいアプリを選んで、決定を押してください。
左記の手順2の画面が表示されます。

4 ↑↓で使いたいアプリを選んで、決定を押す。

5 ↑↓←→や決定などを使って、画面に従って操作する。

マークの意味

- NEW ：追加になったアプリ
- 更新 ：内容が更新になったアプリ
- 中断 ：一時的に利用不可のアプリ
- 終了 ：サービスが終了になったアプリ
- 登録済 ：登録したアプリ(☞115ページ)

ご注意

- すべてのアプリの登録を解除したときは、アプリキャストを起動できません。アプリの一覧からアプリを選んでください。
- 左画面にPC入力やネットワーク機器、インターネットブラウザの画面は表示できません。
- 字幕や文字スーパーは表示できません。
- ラジオ放送は音声のみ出力され、データ放送は表示できません。
- アプリを楽しむには、インターネットサービスを提供するプロバイダーとの契約が別途必要になります。
- インターネットに接続するときに、よりよいサービスの提供のため、本機からMACアドレスやIPアドレスをサーバーへ自動的に送信します。インターネット接続が完了している場合は、電源を入れたときやアプリの利用時に、定期的にソニーが管理しているサーバーに送信されます。MACアドレスがソニーの管理しているサーバー以外に送信されることはありません。
- アプリは予告なく停止したり、終了することがあります。
- 本機の時刻情報が消去されると、ホームメニューでアプリ一覧が表示されなくなります。その場合は、時刻の設定をしてください(☞98ページ)。

アプリを登録する

アプリキャストにアプリを登録すると、アプリキャストボタンを押すだけで2画面に切り換わり、アプリを探す手間が省けます。
登録したアプリはすべて右画面に表示されます。

登録したアプリ

アプリを登録するには

アプリキャストには、最大30個までアプリを登録できます。

1 ホーム を押す。

2 ⇔で(ネットワーク)を選ぶ。

3 ⇕で登録したいアプリを選んで、(オプション)を押す。

フォルダを選んだときは、次に、登録したいアプリを選んで、オプションボタンを押してください。

4 ⇕で[登録]を選んで、決定を押す。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

●ホームメニューでアプリ選択中／ 2画面表示中

項目	できること
追加情報表示	ホームメニューの右下に表示されるアプリの追加情報を、表示するかどうかを設定します。
アプリ全件解除	アプリキャストからすべてのアプリの登録を解除します。
オートスクロール	何も操作をしないで設定した時間が経過すると、自動でアプリをスクロールします。 オートスクロールをやめるには[切]を選んでください。
アプリ設定	アプリに設定ができるときは、設定画面を表示します。例えば、天気のアプリでお住まいの地域を最初に表示する設定など、アプリによって設定は異なります。
登録／登録解除	アプリをアプリキャストに登録または登録を解除します。
コピーを登録	同じアプリをもう1つ登録します。増えたアプリにコピー元の設定は引き継がれません。
視聴中通知	アプリが対応しているときは、2画面を解除しても、アプリからのお知らせを受け取れるようにします。アプリからのお知らせがあるときは、画面右下にアイコンが表示されます。
並び換え	アプリを並べ換えられます。
お問い合わせ	アプリのお問い合わせ先を表示します。

ちょっと一言

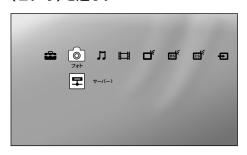
- ホームメニューで(ネットワーク)→(アプリキャストのはじめかた)を選ぶと、アプリキャストの紹介が表示されます。また、(アナログ時計)、(カレンダー)、(アラーム)を選んで使うことができます。これらのアプリは、インターネットに接続していなくてもお使いいただけます。
- PC入力中にアプリキャストを起動すると、左画面は、前回視聴していた放送になります。
- 放送中の番組やビデオなどの映像は切り換えられます。
- お買い上げ後、初回のインターネット接続時に、いくつかのアプリが自動的に登録されます。
- USB機器をつないでいるときは、ホームメニューで(USB)が表示されます。(USB)にアプリが表示された場合は、アプリを選択できます。
- ホームメニューの追加情報を消したいときは、オプションの[追加情報表示]を[切]にしてください。
- アプリによっては、インターネットブラウザなど本機の他の機能を起動することがあります。

パソコン(PC)などに保存した写真や音楽、映像を本機で楽しむ

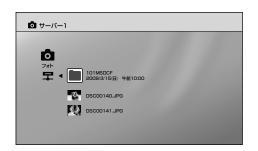
あらかじめ「LANケーブルをつなぐ」と「本機のネットワーク設定をする」、「ホームネットワーク設定をする」(☞106ページ)をしてください。
「ネットワーク機器について」(☞145ページ)もご覧ください。

本機につないだネットワーク機器の静止画ファイル(写真)や音楽ファイル、映像ファイルを本機で再生できます。ネットワーク機器は、DLNAガイドラインまたはソニールームリンクに対応している必要があります。
ネットワーク機器の情報を以下のホームページで確認できます。
http://www.sony.jp/event/DLNA/
ネットワーク機器の設定を変更した場合は、メディアレシーバーユニットの電源スイッチで主電源を入れ直してください。

1 ホームを押す。

2 ←→で(フォト)または(ミュージック)、(ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓で再生したいファイルが保存されている機器を選んで、決定を押す。
ファイルまたはフォルダのリストが表示されます。

サムネイル一覧を表示するには
リスト表示中に、黄を押す。
リスト表示に戻すには、もう一度黄ボタンを押してください。

4 ↑↓で再生したいファイルまたはフォルダを選んで、決定を押す。
フォルダを選んだときは、次に、再生したいファイルを選んで、決定を押してください。再生が始まります。

(フォト)再生中に本機のマルチリモコンで操作するには

マルチリモコンボタン	機能
戻る	再生停止(ファイル／フォルダの選択画面へ)
↑←	前のファイルへ
↓→	次のファイルへ

(ミュージック)再生中に本機のマルチリモコンで操作するには

マルチリモコンボタン	機能
決定	一時停止／再生
戻る	再生停止(ファイル／フォルダの選択画面へ)
←→を押したままにする	飛び先指定
↑	頭出し再生*
↓	次のファイルへ

＊ ファイル冒頭から3秒以内のときは、前のファイルを頭出し再生します。

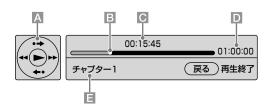
ご注意
- ネットワーク機器によっては、ネットワーク機器側で登録が必要な場合があります。詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。
- (フォト)では、ファイルによっては拡大して表示されるため、画質が粗くなります。また、サイズや横縦比によっては、画面いっぱいに表示されません。
- (フォト)では、静止画の表示に時間がかかるものがあります。

ちょっと一言
静止画にGPS情報があるときは地図が表示されます(☞117ページ)。地図を消したいときはオプションの[再生方法]で[地図画像表示]を[非表示]にしてください(☞118ページ)。
地図を詳細表示させるには、インターネットの接続(☞106ページ)が必要です。

(ビデオ)再生中に本機のマルチリモコンで操作するには

マルチリモコンボタン	機能
決定	一時停止／再生
戻る	再生停止(ファイル／フォルダの選択画面へ)
◆◆	早戻し／早送り
◆◆を2回または3回押す	高速戻し／高速送り
◆◆を押したままにする	飛び先指定
◆	約30秒先へ
◆	15秒前へ

情報パネルについて

情報パネルで再生の状態や再生時間などを確認できます。情報パネルは、画面表示ボタンで表示したり、閉じたりします*。

A **操作ガイド**
再生中にマルチリモコンの◆◆◆◆決定ボタンでできる操作をガイド表示します。

B **再生位置**
総時間を認識できないファイルの場合は表示されません。
(ミュージック)や(ビデオ)でファイル再生中に◆(早送り)、◆(早戻し)を押したままにすると、飛び先を表示します。

C **再生時間**

D **総時間**

E **チャプター情報**

* (フォト)で静止画表示中は情報パネルは表示されません。

あらかじめ[通信設定]の[レンダラー設定](☞103ページ)をしてください。

デジタルカメラなどの画像を本機で楽しむ[レンダラー]

レンダラーとは、対応機器の操作により、デジタルカメラや携帯電話の写真や音楽ファイル、映像ファイルを、ネットワークを通して本機で再生する機能です。レンダラーを楽しむためには、デジタルカメラや携帯電話などのレンダラー対応機器がコントローラーとして必要です。
コントローラーの取扱説明書もあわせてご覧ください。

コントローラーで選んだファイルを、本機で再生する。

つないだネットワークを通して本機でファイルを再生します。

ファイル再生中の操作は、本機のマルチリモコンまたはコントローラーで行います。

デジタルカメラなどの画像に地図を表示させる[地図画像表示]

地図画像表示とは、デジタルカメラなどの静止画にGPS情報がある場合に、撮られた写真の場所を地図画面で表示することができる機能です。
地図を詳細表示させるには、インターネットの接続(☞106ページ)が必要です。
操作はオプションから[再生方法]→[地図画像表示]の順に選びます。

次のページにつづく⇨

ご注意

- 地図画像表示を使うには、写真にGPS情報が書き込まれていることが必要です(Exif2.1以降準拠)。
- 地図情報はオンラインサービスより取得しています。当該サービスはお客様への予告なく変更、終了となる可能性があります。
- お使いのネットワーク機器によっては、地図画像表示ができない場合があります。
- 地図は正確に表示されないことや、国によって表示できないことがあります。

ちょっと一言

- 地図画像表示中に青ボタンを押すと地図の表示位置を移動させたり、地図を非表示にすることができます。
- リピート再生のスライドショー中は、地図が最広域になります。
- 別売りのソニー GPSユニットキットを使用すれば、パソコンで静止画にGPS情報を書き込むこともできます。

オプションでできること…

お使いの状態により、表示されるオプションの項目は異なります。

● (フォト)選択中

項目	できること
画質・映像設定	画質の調整、モーションフローの設定ができます(☞82ページ)。
音質・音声設定	音質の調整、スピーカー出力の設定ができます(☞88ページ)。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	選んでいるフォルダやファイルを「お気に入り」に追加または削除します(☞49ページ)。
再生方法	再生時のさまざまな設定ができます。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧／リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
スライドショー	ファイルを連続再生します。 あらかじめ本機にBGMが登録されていますが、[再生方法]で好きな曲をBGMに登録して流すこともできます。
頭出し再生	冒頭からファイルを再生します。
機器操作	機器に応じてさまざまな操作ができます。
ファイル操作	ファイルに対するさまざまな操作ができます。
フォルダ操作	フォルダに対するさまざまな操作ができます。

● (ミュージック)選択中

項目	できること
音質・音声設定	音質の調整、スピーカー出力の設定ができます(☞88ページ)。
お気に入りに追加／お気に入りから削除	選んでいるフォルダやファイルを「お気に入り」に追加または削除します(☞49ページ)。
再生方法	リピート／シャッフル／再生対象のミュージック再生設定ができます。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧／リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
再生	ファイルを再生します。
スライドショーBGM選択	(フォト)でスライドショー実行中に流すBGMを登録します。
機器操作	機器に応じてさまざまな操作ができます。
ファイル操作	ファイルに対するさまざまな操作ができます。
フォルダ操作	フォルダに対するさまざまな操作ができます。

ご注意

- (フォト)選択中に[再生方法]の[画像表示範囲]で[全画面(自動調整)]または[全画面(中央拡大)]を選んだときは、画像の一部が表示されないことがあります。
- フェイスフレーミング機能は、写真によっては効果が出ない場合があります。

ちょっと一言

- (フォト)選択中に[再生方法]の[画像表示範囲]を[全画面(自動調整)]に設定した場合、フェイスフレーミング機能により写真の顔の位置を検出し、人の顔が切れないように自動調整します。
- フェイスフレーミング機能は写真から人物の顔の位置を自動検出する機能です。
ソニー独自の顔認識技術「FACE DETECTION」を採用しています。

● (ビデオ)選択中

項目	できること
画質・映像設定	画質の調整、モーション フロー／画面モードの設定ができます(☞82ページ)。
音質・音声設定	音質の調整、スピーカー出力の設定ができます(☞88ページ)。
再生方法	リピート／シャッフル／再生対象のビデオ再生設定ができます。
並び換え	フォルダやファイルを並べ換えます。
サムネイル一覧／リスト表示	サムネイル一覧またはリスト表示を切り換えます。
再生	前回停止した位置、または先頭からファイルを再生します。
頭出し再生	冒頭からファイルを再生します。
次チャプター再生	次のチャプターに飛びます。
前チャプター再生	チャプターの先頭または前のチャプター(チャプターの先頭から3秒以内のとき)に戻ります。
機器操作	機器に応じてさまざまな操作ができます。
ファイル操作	ファイルに対するさまざまな操作ができます。
フォルダ操作	フォルダに対するさまざまな操作ができます。

番組を予約する

本機では下記の方法でデジタル放送の予約ができます。

ネットワーク録画

本機と離れたところに設置しているネットワーク録画対応機器（2007年9月以降発売）に、本機から録画予約の情報をネットワークを通して送信します。

HDMI録画

本機とつながれているソニー製デジタルハイビジョンチューナー内蔵HDDレコーダー BRX-A320に、本機から録画予約の情報を送信します。

視聴予約

電源が入っている状態で放送開始時刻になると、自動で予約した番組にチャンネルが切り換わります。最大で10件まで設定できます。

あらかじめ「LANケーブルをつなぐ」と「本機のネットワーク設定をする」、「ホームネットワーク設定をする」（☞106ページ）をしてください。
「ネットワーク機器について」（☞145ページ）もご覧ください。

ネットワークを通して録画予約する

1 ホーム を押す。

2 ←→で（ビデオ）を選ぶ。

3 ↑↓で（番組予約）を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で（録画予約）を選んで、決定を押す。

5 ↑↓で予約したい放送の番組表を選んで、決定を押す。

番組表が表示されます。

6 ↑↓←→で録画したい番組を選んで、決定を押す。

番組説明が表示されます。

7 ←→で［録画予約］を選んで、決定を押す。

ご注意

- 放送時間が変更になった場合などは、変更に合わせた録画はできません。
- 予約情報が録画機器に送信されたあとは、本機とは関係なくすべて録画機器側の動作となります。また、本機の予約リストには表示されません。
- 契約が必要なチャンネルの番組を録画予約するときは、録画機器に契約済みのB-CASカードを入れてください。
- ハードディスクレコーダー･DVDレコーダー複合機などのときは、録画予約する前に、複合機器側で録画する機器（HDDやDVDなど）を選んでおいてください。
- ［録画予約］を選んですぐに他の画面に切り換えると、「設定を中止します。予約済の可能性がありますので、録画機器側で確認してください。」というメッセージが表示されます。録画機器で予約できているか確認してください。

ちょっと一言

番組情報取得の状況によっては、番組名などが表示されないことがあります。

8 ⬆⬇で設定欄を選んで、(決定)を押す。

設定欄

9 ⬅➡で[機器名　接続]を選んで、(決定)を押す。

10 ⬆⬇で「接続」が「LAN」の録画機器を選んで、(決定)を押す。

11 ⬆⬇で[予約確定]を選んで、(決定)を押す。

録画機器へ予約情報が送信されます。
予約した時間になると録画機器のデジタルチューナーを使って録画開始します。

予約の修正や削除をする場合には、録画機器で操作してください。

あらかじめ接続と設定をしてください(☞「ブラビアリンクでできること」73ページ)。

HDMI機器に録画予約する

1 「ネットワークを通して録画予約する」(☞120ページ)の手順1 ～ 7を行う。

2 ⬆⬇で設定欄を選んで、(決定)を押す。

設定欄

3 ⬅➡で[機器名　接続]を選んで、(決定)を押す。

4 ⬆⬇で「接続」が「HDMI」の録画機器を選んで、(決定)を押す。

5 ⬆⬇で[予約確定]を選んで、(決定)を押す。

録画機器の電源が入り、予約情報が送信されます。
予約した時間になると録画機器のデジタルチューナーを使って録画開始します。

予約の修正や削除をする場合には、録画機器で操作してください。

次のページにつづく⇨

ご注意

- 録画予約したときに、「予約設定しましたが、一部録画できない場合があります。録画機器側で確認してください。」というメッセージが表示された場合は、録画予約が重複、または無効になっています。録画機器を確認して、録画予約が重ならないようにしてください。
- [録画予約]を選んで決定し、「予約設定中。電源を切らないでください。」というメッセージが表示されている途中で他の画面に切り換えた場合、再び予約しようとしても「予約設定を中止しているため、現在新たな予約の設定はできません。予約設定の中止は、数分かかることがあります。」というメッセージが表示され、しばらく予約ができないことがあります。

ちょっと一言

[日付]、[開始時刻]、[終了時刻]を変更するには、設定欄を選んだあと変更したい項目を選んで、設定してください。[日付]は前後1日ずつ変更できます。ただし当日の番組を予約するときは、昨日にすることはできません。

視聴予約する

1 「ネットワークを通して録画予約する」(☞120ページ)の手順1 ～ 6を行う。

2 ←→で[視聴予約]を選んで、決定を押す。

3 [予約確定]が選ばれていることを確認して、決定を押す。

視聴予約を確認する

1 ホームを押す。

2 ←→で(ビデオ)を選ぶ。

3 ↑↓で(番組予約)を選んで、決定を押す。

4 ↑↓で(予約リスト)を選んで、決定を押す。

予約リストが表示されます。
↑↓で選び決定を押すと、「予約修正」画面が表示され、予約の修正、削除ができます。

A **予約番号**
1 :予約番号。番号の順に実行されます。
1 :重複していて、実行できない視聴予約。

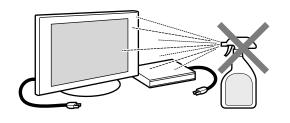
B **予約設定の内容**
番組のタイトル、予約日時、チャンネル。

ご注意

視聴予約は電源が入っている状態(本機前面の電源ランプが緑色に点灯)でないと実行されません。

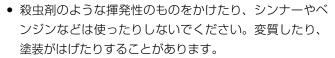
長くお使いいただくためのお手入れ方法

液晶画面には、反射による映り込みを抑えたり、映像を見やすくしたりするために、特殊な表面処理を施しています。
誤ったお手入れをした場合、本機を傷つける原因にもなりますので、次のことを必ずお守りください。

液晶画面、外装のお手入れ

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされているので、なるべく画面に触れないようにしてください。
- 本機に直接洗剤をかけないでください。吹きかけた洗剤が画面下部や、外装部にたれて本機が故障する場合があります。

中性洗剤を水で薄める。
固く絞る。

- 画面や外装の汚れをふき取るときは、めがね拭きなどの乾いた柔らかい布または、付属のクリーニングクロスでそっとふき取ってください。
- 万一、油性マジックなどが付着してしまった場合は、水で薄めた中性洗剤などに布を浸して固く絞ってふき取り、最後に乾いた布または、付属のクリーニングクロスで軽くふいてください(強くこすると、液晶表面に傷がつきます)。
- クレンザーのような研磨剤が入った洗剤は使わないでください。
- ふき取るときの圧力で、液晶配列が崩れて、汚れのように見えることがあります。これは、電源を入れ直すと元に戻ります。
- 印刷面は乾いた柔らかい布または、付属のクリーニングクロスで丁寧にふいてください。爪などでひっかくと、印刷面が傷つくことがあります。

揮発性のもの(殺虫剤、シンナー、ベンジンなど)は使用しないでください。

- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、シンナーやベンジンなどは使ったりしないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 市販の化学ぞうきんやクリーニングクロスなどを使うときは、その販売会社に確認してください。
- 市販の液晶パネル用保護フィルターなどは使わないでください。

修理に出す前に

修理に出す前に、もう一度、点検をしてください。それでも、正常に動作しないときは、巻末にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。お問い合わせになるときは次のことをお知らせください。

液晶デジタルテレビ

ケーディーエル　ゼットエックス
KDL-46ZX5
ケーディーエル　ゼットエックス
KDL-52ZX5

メディアレシーバーユニット

エムビーティ　ダブリューゼット
MBT-WZ5

ディスプレイユニット

ケーディーエル　ゼットエックス
KDL-46ZX5
ケーディーエル　ゼットエックス
KDL-52ZX5

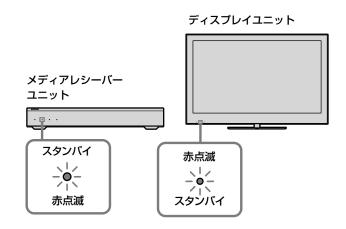
マルチリモコンの型名：

アールエムエフ　ジェイディー
RMF-JD006

故障の状況：できるだけくわしく

購入年月日：

自己診断表示ー画面が消え、スタンバイランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能がついています。これは本機に異常が起きたときに、本機前面のスタンバイランプの点滅およびその速さで本機の状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。本機前面のスタンバイランプが赤く点滅したら、下の手順に従って、巻末にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。お問い合わせの内容によっては、修理が必要な場合があります。

1 本機前面のスタンバイランプの点滅回数を数えてください。

2 本体の電源スイッチで主電源を切り、電源コンセントを抜いてから、ソニーご相談窓口に点滅回数をお知らせください。

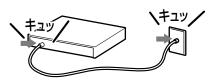
本機の設置場所を変えたときは

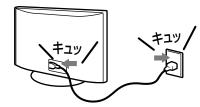
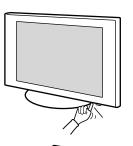
お引越しや模様替えなどで、アンテナをつなぎ換えたときは、もう一度、本機でかんたん初期設定をしてからお使いください（☞「かんたん初期設定をあとでやり直すには」28ページ）。

故障かな？と思ったら

インターネットのホームページでもよくあるお問い合わせ「Q&A」を紹介しています。
http://www.sony.co.jp/faq/bravia/

まず確認してください

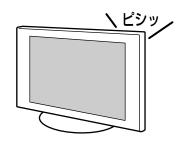
アンテナ線をしっかりつなぐ。

付属のVHF/UHF用同軸
アンテナ接続ケーブルを使う。

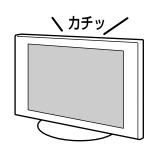
電源コードをしっかりつなぐ。

本体の電源スイッチを入れる。

こんな場合は故障ではありません

画面に光る点、または光らない点がある。

輝点・滅点

液晶テレビの映像は微細な画素の集合です。
画面の一部に画素欠けや輝点が存在する場合があります。

「ピシッ」というきしみ音が出る。

電源を入れているかどうかに関わらず、周囲との温度差でキャビネットが伸縮し、「ピシッ」という音が出ることがあります。

電源を入れたときや電源スタンバイ時に「カチッ」と音がする。

電源を入れたときは、内部の回路が働くため音がします。

次のページにつづく⇨

無線通信

症状	対処のしかた	参照ページ
通信できない、接続状態が悪く**画像が出ない**、**LINKランプ**が点灯しない、**音声**が途切れる。	• 20m四方のエリアでは、本機を含む2組以上の60GHz帯の無線装置を動作させないでください。電波の干渉により無線通信ができないことがあります。	
	• メディアレシーバーユニットやディスプレイユニットの周りの金属製の接続機器などを本機から離してください。	
	• メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの間に障害物が入らないように、設置位置を変更してください。	19
	• [カード·受信機情報表示]の[リンクレベル]で無線通信の接続状態を確認してください。	81
画面中央が**点滅したまま**になる。	• 電源を入れたときや通信が途切れたときなど、メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの無線通信ができるまでのあいだは、画面中央が点滅します。 点滅したままの場合は、メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの配置を確認してください。	19

映像

全般

症状	対処のしかた	参照ページ
本機の**電源が突然切れた**／いつのまにか消えていた。	• [無操作電源オフ]を設定していると自動的に電源が切れます。	97
	• 無信号状態が続くと「オートシャットオフ」により電源が自動的に切れます。	143
	• [オンタイマー]を利用して電源を入れた場合、設定した視聴時間を経過すると、電源が切れます。	98
	• メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの配置を確認してください。無線通信ができない状態が続くと電源が自動的に切れます。	19
本機の**電源が勝手に入ってしまう。**	• [HDMI機器制御設定]の[HDMI機器→テレビ電源連動]を[しない]に設定してください。	101
色がつかない、色がおかしい、画面が暗い。	• (画質·映像設定)をお好みに合わせて調整してください。	82
	• [消費電力]を確認してください。[減(明)]または[減(暗)]に設定されていると画面が暗くなります。	97
音声は出るが**画像が出ない。**	• [消費電力]を確認してください。[減(消画)]に設定されていると画像は出ません。 このときは本機前面の消画／通信／タイマーランプが緑色に点灯します。	97
画像が**乱れる。**	• 本機の近くで携帯電話や電子レンジ、掃除機などを使用すると、映像や音声が一時的に乱れることがあります。	
	• 画像の輪郭が乱れる場合は[モーションフロー]を[標準]または[切]にするか、[シネマドライブ]を[切]にしてください。	83
	• メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの配置を確認してください。 無線通信の接続状態が悪いと映像が乱れることがあります。	19
画面サイズが勝手に切り換わる。 映像が上下に動く。	• [オートワイド]が[入]に設定されていると映像に適した画面サイズを自動的に判断します(お買い上げ時は[入]に設定されています)。気になるときは[オートワイド]を[切]にしてください。	85

症状	対処のしかた	参照ページ
チャンネルが映らない。	• チャンネルを再度設定してください。	92、94
チャンネル+／－ボタンで選局できない。	• チャンネル登録で、チャンネル+／－ボタンで選局できるチャンネルを設定してください。	92、93、94

地上アナログ

症状	対処のしかた	参照ページ
画像が**二重、三重**になる。	• アンテナレベルを確認しながら地上波アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	91
雪が降るような画面、**うすい**画面、風がふくと**ちらつく。**	• アンテナが壊れたり曲がったりしていないか確認してください。	
	• アンテナレベルを確認しながら地上波アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	91
斑点や**点模様**が走る。	• アンテナ線は電源コードからできるだけ離してください。	
	• フィーダー線や室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、お買い上げ店などにお問い合わせください。	
	• アンテナはなるべく道路から離して設置してください。ヘアードライヤー、自動車、バイクなどからの雑音電波の干渉を受けている可能性があります。	
チャンネルを切り換えたときに、画面が一瞬**またたく**。	• 本機が自動的にアナログ放送のゴースト(映像や画面がずれて二重三重になる)を検出して、調整しています。異常ではありません。	

地上デジタル

症状	対処のしかた	参照ページ
地上デジタルが**受信できない／**地上デジタルの**画像が乱れる。**	• お住まいの地域で地上デジタルが放送開始されているか確認してください。	
	• 地上デジタルに対応したアンテナにつないでください。	
	• アンテナレベルを確認しながら地上波アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	91
	• ブースターのレベルを下げてみてください。信号を増幅しすぎると受信できないことがあります。	
	• アンテナを直接つないでいるか、ケーブルテレビ(CATV)を受信しているかを確認してください。ケーブルテレビ放送会社によって、再送信の方式が異なります(本機が対応しているのはパススルー方式のみです)。	139
	• 有料放送を見るには視聴契約してください。	141
	• お住まいの地域によって放送が異なります。必ず、チャンネルスキャンの前に[デジタル共通:地域設定(県域)]を設定してください。	92
	• [地上デジタル:自動チャンネル設定]で[初期スキャン]または[再スキャン]してください。受信範囲外である場合は、チャンネルは割り当てられません。	92

次のページにつづく⇨

BS/110度CSデジタル

症状	対処のしかた	参照ページ
BSデジタル･110度CSデジタルが**受信できない。**	• BS･110度CSデジタルに対応したアンテナおよび同軸ケーブルにつないでください。	20
	• アンテナや分配器、分波器、ブースターなどがBS･110度CSデジタルに対応していないと受信できません。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。	
	• BSアナログチューナー内蔵の録画機器からアンテナ接続ケーブルをつなぐと受信できません。分配器を使ってメディアレシーバーユニットとBSアナログチューナー内蔵録画機器にそれぞれつないでください。	22
	• 衛星アンテナの前方に障害物がないか確認してください。	
	• [BS･CS：衛星アンテナ設定]を[オート]または[入]に設定してください。マンションなどの共同受信システムの場合は[切]に設定してください。	91
	• 衛星アンテナレベルを確認しながら衛星アンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	91
	• 有料BSデジタルや110度CSデジタルの受信契約（加入申し込み）をしてください。	141
BSデジタル･110度CSデジタルの**画像が乱れる。**	• 雨や雪が降ると映りが悪くなることがあります。また、お住まいの地域が晴れていても、送信する放送衛星会社の地域で雨や雪が降っていると映りが悪くなることがあります。天候の回復をお待ちください。	
	• 降雨対応放送の場合は、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で受信します。	140

接続機器

症状	対処のしかた	参照ページ
つないだ機器の**画像が出ない。**	• つないだ機器の電源が入っているか確認してください。	
	• 接続ケーブルの端子が正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。	32、35、36
	• ディスプレイユニットまたはマルチリモコンの入力切換ボタンを押して、入力を切り換えてください。	64
	• デジタルカメラにメモリーカードなどを正しく入れてください。	
	• デジタルカメラのメモリーカードなどは、デジタルカメラの取扱説明書に従ってフォーマットしてあるものをお使いください。	
	• すべてのUSB機器に対して動作を保障するものではありません。また、USB機器の機能や再生する映像などによって動作が異なります。	
ホームメニューで、つないだ機器が選べない、入力を切り換えられない。	• 接続ケーブルの端子が正しく、しっかり差し込まれているか確認してください。	32、35、36
	• [オートインプットスキップ設定]の[スキップ設定]を[表示する]に設定してください。	65

音声

症状	対処のしかた	参照ページ
画像は出るが、**音が出ない。**	• 音量が下がりきっていないか確認してください。	
	• マルチリモコンの消音ボタンまたは音量＋ボタンを押してください。	179
	• ［スピーカー出力］を［テレビスピーカー］にしてください。［AVアンプ］に設定されていると、本機からは音は出ません。	90
聞きたい音声になっていない。	• 二か国語放送などで、副音声や第2音声になっている場合は、音声切換ボタンを押して、音声を切り換えてください。	180
音声が出ない／音声が**おかしい。**	• ［サラウンド］を［切］に設定してください。番組によっては、サラウンド音声にしていると音が聞こえにくかったり、聞こえなくなることがあります。	88
	• HDMI入力端子につないだ機器を再生しているとき、光デジタル音声出力端子から音声は出力されますが、録音はできません。	
	• メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの配置を確認してください。	19
	• ［スピーカー特性］を確認してください。	90

ネットワーク

DLNA（ホームネットワーク）

症状	対処のしかた	参照ページ
写真や音楽、映像**ファイル**が出ない／**アイコン**が表示されない。	• つないだ機器がDLNAまたはソニールームリンクに対応しているか確認してください。	145
	• つないだ機器が［接続サーバー設定］または［レンダラーアクセス制御設定］で登録されているか確認してください。	102、103
	• LANケーブルやネットワーク機器の電源コードがはずれていないか確認してください。	
	• ネットワーク機器が正しく設定されているか確認してください。サーバーの設定を変更した場合は、メディアレシーバーユニットの電源スイッチで主電源を入れ直してください。	
	• 選んだ機器がネットワークにつながれてアクセスできる状態か確認してください。	
	• （通信設定）で［IPアドレス取得方法］を［DHCPを利用（DNS自動）］または［DHCPを利用（DNS手動）］に設定している場合、DHCPサーバーが存在しないと機器の認識に時間がかかる場合があります。［接続診断］をしてください。また、［接続診断］の結果で「DNSサーバーが応答しません」と表示されるときは、接続と設定もあわせて確認してください。	102、106
	• PCをサーバーにしている場合、PCの負荷状況やセキュリティソフトを入れているなどで、サーバーアプリケーションがうまく動作しないことがあります。またVAIOでは20台までのアクセスのみ可能です。詳しくはお使いのPC、ソフト、VAIOの説明をご覧ください。	
	• すべてのネットワーク機器に対して動作保証するものではありません。また、ネットワーク機器の機能やコンテンツによって動作が異なります。	

次のページにつづく⇨

インターネット／アプリキャスト

症状	対処のしかた	参照ページ
ホームページ／アプリが**まったく表示されない。**	• LANケーブルやネットワーク機器の電源コードがはずれていないか確認してください。	
	• ［ネットワーク設定］または［現在時刻設定］が正しく設定されているか確認してください。	98、102
	• ［インターネットアクセス制限設定］を設定している場合は暗証番号を入力してください。	97
アプリの**動きがおかしい。**	• アプリキャストで2画面表示中にマルチリモコンのオプションボタンを押して「お問い合わせ」画面を表示し、お問い合わせください。	115
ホームページが**正しく表示されない。**	• ホームページの内容によっては、文字や画像、レイアウトが正しく表示されない場合があります。文字が正しく表示されない場合は、正しい文字コードを設定してください。	109
特定のホームページだけが表示されない。	• URLが正しく入力されているか確認してください。	
	• しばらくたってからもう一度、ホームページを読み込んでください。インターネットの回線が混んでいる、または障害が発生して表示できない場合があります。	
ホームメニューで、突然画面の右下に情報が表示される。	• 本機をネットワークに接続している場合、ホームメニューに追加情報が表示されることがあります。表示を消すには、追加情報が表示されている状態で、オプションの［追加情報表示］を［切］にしてください。	115

その他

ランプの点滅

症状	対処のしかた	参照ページ
電源ランプが緑色に点滅する。	• 衛星アンテナがショートしています。 (1) メディアレシーバーユニットの電源スイッチで主電源を切り、衛星用同軸ケーブルの芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。 (2) メディアレシーバーユニットの電源スイッチで主電源を入れてください。 (3)「かんたん設定」の途中で電源ランプが緑色に点滅した場合は、「かんたん設定」をやり直してください。 (4) ［BS･CS：衛星アンテナ設定］を［オート］または［入］に設定してください。マンションなどの共同受信システムの場合は［切］に設定してください。 (5) それでも電源ランプが緑色に点滅するときは、メディアレシーバーユニットの電源スイッチで主電源を切り、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にお問い合わせください。	27 91
消画／通信／タイマーランプがオレンジ色に点滅する。	• 本機が自動的にソフトウェアの書き換えをしています。異常ではありません。	136、138
スタンバイランプが赤色に点滅する。	• 本機に何らかの異常が起きています。点滅回数をご確認のうえ、ソニーご相談窓口にお問い合わせください。	124
LINKランプが点灯しない。	• メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの設置状態を確認してください。「無線通信」をご覧になり、対処してください。	126

マルチリモコン

症状	対処のしかた	参照ページ
マルチリモコンで**本機を操作できない。**	• 操作したときに、ふたの中のTVボタンまたは録画機器ボタンが点滅していたら、電池を交換してください。	25
	• 電池の⊕⊖を正しい向きに入れてください。	25
	• スタンバイランプが赤色に点灯していないときは、メディアレシーバーユニットまたはディスプレイユニットの電源スイッチを押してください。	25
	• 近くに電子レンジや無線装置があるときはマルチリモコンで操作できないことがあります。	
	• マルチリモコンをもう一度登録し直してください。	25
	• マルチリモコン先端部を手などで覆わないようにしてください。	
	• マルチリモコンは最後に登録した1台のテレビしか操作できません。	
マルチリモコンの① ～ ⑫/選局**の数字ボタン**を押しても、チャンネルが選べない。	• 数字ボタンを押す前に、見たい放送（地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル）のボタンを押してください。	47
	• チャンネル番号を直接入力する場合は、10キーボタンを押したあとに数字ボタンを押してください。最後に⑫/選局ボタンを押すとチャンネルが切り換わります。	47
本機のマルチリモコンで、**つないだ機器を操作できない。**	• 本機のマルチリモコンで操作できるのはブラビアリンク対応機器のみです。	76
	• つないだ機器ごとにマルチリモコンに登録してください。	74
	• ブルーレイディスクレコーダーをつないだときは、つないだ機器側とリモコンモード設定を合わせてください。	75
	• マルチリモコンの機器選択ボタンで選んでから操作してください。	77
Edy/eLIOが使えない。	• FeliCaポートに置いたカードやおサイフケータイがEdy/eLIOに対応しているか確認してください。カードがEdyに対応している場合は、Edyマーク（ ）が、eLIOに対応している場合は、eLIOマーク（ ）がカードに印刷されています。おサイフケータイには、FeliCaマーク（ ）がついています。	
	• おサイフケータイにEdyアプリやeLIOアプリがインストールされているか確認してください。	
	• マルチリモコンを金属から離してください。	
	• マルチリモコンの電池を交換してください。	25
	• カードを数ミリ移動させるか、マルチリモコンから数ミリ浮かせてみてください。	
おサイフケータイが使えない。	• おサイフケータイの電池があるか確認してください。電池残量が全くないと、おサイフケータイ機能が使えません。	
	• 携帯電話のICロックをオフにしてください。	
	• マルチリモコンを金属から離してください。	
	• マルチリモコンの電池を交換してください。	25
	• おサイフケータイを数ミリ移動させるか、マルチリモコンから数ミリ浮かせてみてください。	
EdyやFeliCaなどの通信や処理が**中断してしまう。**	• FeliCaボタンが点灯・点滅している間は他のリモコンボタンを押さないでください。	

次のページにつづく⇨

ポケットチャンネル

症状	対処のしかた	参照ページ
ポケットチャンネルが**表示されない。**	● 携帯電話の電波状況を確認してください。電波が届かないところでは、ポケットチャンネルを表示することができません。	
	● 携帯電話の待ち受け画面を表示してください。電源が入っていなかったり、別のアプリケーションが立ち上がっていたりすると、ポケットチャンネルは使えません。	
	● 携帯電話のICロックをオフにしてください。	
	●「アクトビラ」などの決済中やEdyViewer使用中には、本機能は使用できません。決済やEdyViewerの画面を閉じてから、もう一度やり直してください。	
	● FeliCaボタンを押してからしばらくの間、携帯電話をFeliCaポートから離さないようにしてください(約3秒)。	57
	● お使いの携帯電話がおサイフケータイかどうか確認してください。おサイフケータイには、FeliCaマーク( )がついています。	

Edy/eLIO

症状	対処のしかた	参照ページ
支払いができない。	● Edyの場合、事前にチャージ(入金)が必要です。残高照会をし、残高が不足している場合は、チャージをしてください。	112
	● eLIOカードの有効期限が切れていないか確認してください。カードの利用限度額を超過している場合も、そのカードは使えません。	
Edyチャージができない。	● パソコンやおサイフケータイから、Edyのサービス登録でクレジットカード情報を登録してください。詳しい登録方法は、http://www.edy.jp/をご覧ください。	
	● クレジットカード情報の登録が有効になるには、通常2日程度かかります。	
	● 登録されているクレジットカードの有効期限が切れていないか確認してください。有効期限が切れている場合は、新しいクレジットカードを登録し直してください。	
	● カード残高が5万円になっていないか確認してください。チャージした結果、残高が5万円を超過する場合も、チャージはできません。	
EdyギフトでEdyが受け取れない。	● カード残高が5万円になっていないか確認してください。Edyを受け取った結果、残高が5万円を超過する場合も、Edyの受け取りはできません。	
ホームメニューに**EdyViewer**のアイコンが表示されない。	● 本機をインターネットに接続してください。	106

「アクトビラ」

症状	対処のしかた	参照ページ
アクトビラボタンを押してもページが**表示されない。**	● 本機をインターネットに接続してください。	106
再生中の**映像が途切れる。**	● インターネット回線の通信速度が十分でない可能性があります。「アクトビラ ビデオ・フル」の場合は、実効速度12Mbps程度のブロードバンド回線を使用してください。	
決済手段選択画面で**Edy/eLIO決済**が選べない。	● Edy/eLIOでの支払いに対応していないコンテンツもあります。詳しくは、アクトビラ・カスタマーセンターにお問い合わせください。	108

番組表

症状	対処のしかた	参照ページ
番組表や現在番組表に表示される**番組が少ない。**	● お買い上げ時、または長時間メディアレシーバーユニットやディスプレイユニットの電源スイッチで主電源を切った状態のあとは、番組表に表示される番組が少ないことがあります。しばらく視聴すると表示されます。	
	● 番組表や現在番組表が表示されているときに、オプションから[番組情報取得]を選んでください。番組情報を取得し直します。	59
番組表や現在番組表に表示される**チャンネルが少ない。**	● チャンネル登録で、番組表や現在番組表に表示されるチャンネルを設定してください。	92、93
	● 番組表や現在番組表が表示されているときに、オプションから[チャンネル表示形式]を選んで[すべて表示]に設定してください。	59

画面表示

症状	対処のしかた	参照ページ
表示されない設定項目がある。	● 受信している放送や設定・調整状況によっては、表示されない項目や設定できない項目があります。	
地上デジタルの**放送局のマーク**が表示されない。	● 地上デジタルの各放送局をしばらく視聴すると、放送局のマークが表示されます。	
ホームメニューの動作が遅い、スクロールできない。	● [ホームメニュー速度設定]を確認してください。[標準]以外に設定されていると動作がゆっくりになったり、スクロールが無効になります。	100

次のページにつづく⇨

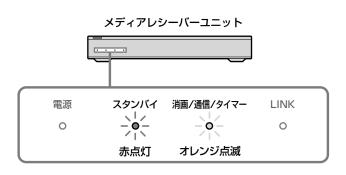
エラーメッセージ

メッセージ一覧	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
B-CASカードを入れてください。		● B-CASカードが挿入されていません。B-CASカードを正しく入れてください。	17
B-CASカードを読み取れません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。	コード：××××	● B-CASカード以外は使えません。付属のB-CASカードをお使いください。	17
		● B-CASカードの入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度しっかり入れ直してください。	17
		● B-CASカードが破損している場合や、入れ直してもメッセージが表示されるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。	17
このB-CASカードには必要な情報がありません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターにお問い合わせください。	コード：××××	● 選局した番組は未契約のため視聴できません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでお問い合わせください。	141
本機では、このサービスには対応していません。	E210	● 放送チャンネルではないため、視聴できません。 別のチャンネルを選局してください。	
信号レベルが低下しています。視聴できる状態ではありません。アンテナ線の緩みや抜けの可能性もあります。	E201	● 雨などの影響により、一時的に受信レベルが低下しています。しばらくお待ちください。アンテナの接続が正しく行われていない可能性もあります。 ● アンテナレベルを確認しながらアンテナの位置、方向、角度を調整してください。強風などでアンテナの向きが変わっていないか確認してください。	91
降雨対応放送に切り換わりました。	E201	● 雨などの影響により、衛星からの電波が弱くなったため、降雨対応放送に切り換わりました。画質や音質が低下した状態で受信します。天候が回復次第、もとの状態に戻ります。	140
受信できません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。大雨・大雪が影響している場合もあります。	E202	● 悪天候による受信障害やアンテナの設定、調整が正しくできていない場合があります。また放送されていないチャンネルを選局している場合もあります。 ● [地上デジタル：自動チャンネル設定]で[初期スキャン]または[再スキャン]をすると、改善する場合があります。	92
このチャンネルは現在休止中です。	E203	● 放送を休止しているチャンネルを選局しています。 別のチャンネルを選局してください。	
該当するチャンネルはありません。	E204	● 放送のないチャンネルを選局しています。 別のチャンネルを選局してください。	
本機では、データを表示できません。	E401	● データ放送を正しく受信できません。 別のチャンネルを選局してください。	
チャンネルが設定されていません。		● チャンネルが割り当てられていない数字ボタンを押しています。	92、93、94

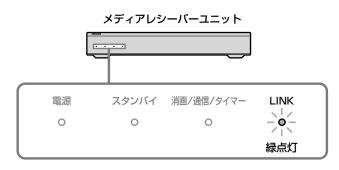
メッセージ一覧	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
この信号には対応していません。入力する信号を変更してください。		• パソコンまたはHDMIの入力信号が未対応の信号です。	164
この信号は推奨していません。入力する信号を変更してください。		• パソコンまたはHDMIの入力信号が推奨でない信号です。	164
展示モードを実行中です。		• 展示モードが「入」に設定されています。展示モードの解除を行ってください。	137
USB機器の接続設定が正しくない可能性があります。		• つないだUSB機器によっては設定が必要な場合がありますので、USB機器側の設定を行ってください。	

電源スタンバイ中の動作について

電源スタンバイ中(スタンバイランプが赤く点灯)、以下のデータを受信したときに、メディアレシーバーユニット前面の消画／通信／タイマーランプが点滅し続けることがあります。
－双方向サービス情報の取得中
－最新ソフトウェアへの更新中

ソフトウェア更新中／データ取得中の表示

消画／通信／タイマーランプ点滅中は、メディアレシーバーユニット内部の回路が自動的に動作し、データ受信とソフトウェアの書き換えをしています。
データ受信やソフトウェアの書き換えが終了すると、自動的に電源スタンバイ状態に戻り、消画／通信／タイマーランプも消灯します。

無線接続状態を確認する

メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの電源を入れたときに、メディアレシーバーユニット前面のLINKランプが緑色に点灯すれば、正しく接続されています。

よりよい接続状態を確保する

設置場所や周囲の環境によっては、無線通信が充分に機能しない場合があります。「故障かな？と思ったら」(☞126ページ)の項目を確認して、よりよい接続状態を確保してください。

展示モードを解除する

お買い上げ時に本機の展示モードが「入」に設定されていることがあります。画面右下に「展示モードを実行中です。」と表示されたときは、下記の方法で展示モードを解除してください。

－個人情報の初期化を行う

［個人情報初期化］（☞100ページ）

個人情報を初期化する

本機を廃棄するときやお買い上げ時の設定に戻したいときは、個人情報を初期化してください。以下のすべての情報が、一括して消去されます。

初期化される内容

- データ放送で登録した個人情報やポイントなど
- 暗証番号・パスワードなどの登録情報
- 予約の情報
- アクトビラ購入履歴
- メール
- 登録したブックマーク
- お好みナビの設定や学習情報、語句の設定
- お気に入りの項目
- 放送設定の設定内容（地域設定など）
- 接続サーバーの設定
- ネットワーク設定（IPアドレスなど）
- レンダラーの設定（アクセス許可など）
- 通信などによる各種証明書
- デジタル放送各種チャンネル設定
- 画質・音質などの設定
- オプション項目の並び換えなどの設定

ダウンロードの流れについて

本機を最新の状態に保つために、デジタル放送から最新情報をダウンロードして、ソフトウェアを更新します。

ダウンロードに必要な条件

- **デジタル放送のアンテナレベル(☞91ページ)が緑のレベルであること**

例:BS放送のアンテナレベル表示画面の場合

ここが緑のレベルであれば、ダウンロードが正しく行われます。

- **[デジタル放送からのダウンロード]が[オート]に設定されていること(☞95ページ)**

ダウンロードの流れ

ダウンロード案内のメールが届く＊
ダウンロードの日程や注意事項が書かれています。

ダウンロードの実行
ダウンロードは自動的に行われます。

データ取得メールが届く＊
更新のための注意事項が書かれています。

ソフトウェアの更新
ソフトウェアの更新は自動的に行われます。

更新終了のメールが届く＊

＊ 新しいメールが届くと古いメールは自動的に削除されます。
メールを確認するには、☞81ページをご覧ください。

ダウンロードの実行

数時間ごとに、デジタル放送から数分程度のソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信され、本機が自動的にその信号を受信します。ダウンロードの実行には20分前後かかります。

ソフトウェアの更新

ダウンロード終了後、マルチリモコンで電源を切ると自動で内部ソフトウェアを更新します。ソフトウェアの更新は10分前後かかります。更新中は本機前面の消画／通信／タイマーランプが点滅し、操作ができないことがあります。

ダウンロードについてのQ&A

「1回目の信号でうまくダウンロードできなかったら？」
ご安心ください。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

「電源コードを抜いておくとダウンロードされないの？」
電源コードが抜かれていたり、メディアレシーバーユニットやディスプレイユニットの電源スイッチで主電源を切ったりしたときは、ダウンロードは行われません。

「ソフトウェア更新中に電源コードを抜くとどうなるの？」
ソフトウェア更新中は、電源コードを抜かないでください。ソフトウェア更新が途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

「ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの？」
ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

ご注意

- 手動ではダウンロードできません。
- ダウンロードをしないように設定すると、デジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。そのため、自動でダウンロードできる設定のままお使いいただくよう、強くおすすめします。
- お買い上げ時は[地上デジタル:自動チャンネル変更]が[する]に設定されているため、新しく放送局が開設されたときなどは、ダウンロードによって受信できる放送のチャンネル番号などが自動的に変わります。視聴予約を設定しているときも、チャンネル番号が変わると正しく予約が行われないことがありますので、ご注意ください。
ホームメニューから(設定)→(放送受信設定)→[放送受信詳細設定]→[地上デジタル:自動チャンネル変更]の順に選ぶ。

デジタル放送／デジタル信号について

画像について

下記のように**全部で5種類の画像方式があります。**

画像方式	説明
1080pのデジタルハイビジョン信号HD	2コマ目（第2フレーム） 1080本 全ライン 1080本 全ライン 1コマ目（第1フレーム） 約1/60秒
1080iのデジタルハイビジョン信号HD	2コマ目（第2フィールド） 540本 偶数ライン 第1フレーム 540本 奇数ライン 1コマ目（第1フィールド） 約1/60秒 1080本
720pのデジタルハイビジョン信号HD	2コマ目（第2フレーム） 720本 全ライン 720本 全ライン 1コマ目（第1フレーム） 約1/60秒
480pの標準テレビ信号SD	2コマ目（第2フレーム） 480本 全ライン 480本 全ライン 1コマ目（第1フレーム） 約1/60秒
480iの標準テレビ信号SD	2コマ目（第2フィールド） 240本 偶数ライン 第1フレーム 240本 奇数ライン 1コマ目（第1フィールド） 約1/60秒 480本

iはインターレース（飛び越し走査）、pはプログレッシブ（順次走査）の略です。

地上デジタル放送について

アンテナについて

現在お使いのUHFアンテナでも地上デジタルを受信できますが、詳しくは、お買い上げ店にお問い合わせください。

ケーブルテレビについて

ケーブルテレビでも受信･視聴できます。
お住まいの地域のケーブルテレビで地上デジタルが放送開始されているかは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

ケーブルテレビ放送会社によって送信方式が異なりますが、本機はパススルー方式のすべての周波数に対応しています。

BS･110度CSデジタル放送について

- 高画質･高音質で、各種テレビ放送･データ放送･ラジオ放送が楽しめます。
- BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルは受信契約が別途必要です。

音声について

次のような音声モードがあります。

音声モード	説明
モノラル	通常のニュース放送などに使われています。
ステレオ	音楽番組などに使われています。
サラウンド	映画などに使われています。
圧縮Bモード	CDと同等の高音質になります。

また、上記の音声の他にも、二か国語番組などの二重音声や、音声信号が複数ある番組の第2音声などがあります。
本機では、5.1chサラウンドなどの音声は、通常のステレオ放送（2ch）に変換されます。

次のページにつづく⇨

1つの放送局でのマルチ放送について

地上デジタルとBSデジタルでは、1つの放送局が、デジタルハイビジョン信号HDの1チャンネル放送と、標準テレビ信号SDの複数チャンネル(2～5チャンネル)放送を、右の図のように時間帯によって切り換えるマルチ放送とがあります。

1つの放送局がデジタルハイビジョン信号で放送するとき、それぞれのチャンネル(191ch、192ch、193ch)で同じ番組を放送する場合があります(イベント共有)。チャンネル+／−ボタンでチャンネルを選ぶときは、代表チャンネルのみが表示されます。

HD デジタルハイビジョン信号

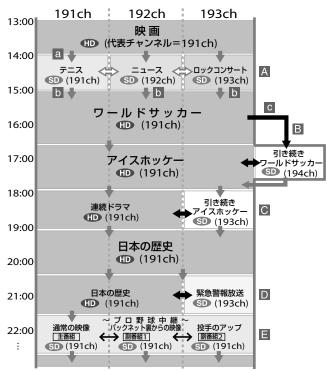
SD 標準テレビ信号

➡ 自動的に切り換わる

⇨ チャンネル+／−ボタンで切り換える

➡ 数字ボタンでチャンネル番号を入力して切り換える

→ オプションの[映像切換]で切り換える

右記の番組は例であり、実際の放送局での放送内容とは関係ありません。

A 複数のチャンネルで違う番組を同時に放送 [マルチチャンネル放送]

上の例のように、同じ放送局の別々のチャンネルで、テニス、ニュース、ロックコンサートなどのようにそれぞれ違う番組を同時間帯に放送します。

a マルチチャンネル放送開始／b マルチチャンネル放送終了

B 延長した番組を最後まで放送[臨時放送]

上の例のように、サッカー中継が予定放送時間内に終わらないときに、同じ放送局の別チャンネルで引き続き試合終了まで放送し、元のチャンネルでは予定どおり、後番組のアイスホッケーを放送します。

c 臨時放送開始

C 他のチャンネルで引き続き放送 [イベントリレー]

放送中の番組が終了したあと別チャンネルで引き続き放送されるときは、お知らせが表示されます。[番組の継続視聴]を[する]に設定(☞95ページ)しているときは、時間になると自動的に切り換わります。

D 地震などの災害時に特別番組を放送 [緊急警報放送]

警戒警報や津波警報が発令されたときなどに放送されることがあり、画面に案内が表示されます。放送を見るときは、[はい]を選んでください。

E さまざまな角度から番組を放送 [マルチビュー放送]

上の例のように、プロ野球中継で、同じチャンネルのまま、最大3方向(通常の映像、バックネット裏からの映像、投手のアップ)の画面を見ることができます。オプションから[映像切換]を選びます。

雨天など受信状態が悪いときの放送

[降雨対応放送]

お買い上げ時は、「降雨対応放送に切り換わりました。」と表示され、画質や音質が通常放送に比べ低下した状態で引き続き受信するように設定されています。

ちょっと一言

[BS･CS:降雨対応放送受信]を[切]に設定すると、降雨対応放送に切り換わらなくなります(☞93ページ)。

デジタル放送お問い合わせ先一覧

2009年8月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BS・110度CSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
WOWOW[*1]	0120-580807 受付 9:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル[*2]	スター・チャンネル カスタマーセンター 0570-013-111 PHS、IP電話のお客様は 045-339-0399 受付 10:00 ～ 18:00 http://www.star-ch.co.jp/ なお、スター・チャンネルBSの加入申し込みは、下記のスカパー！ｅ２へお問い合わせください。

＊1 テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（WOWOW プロモチャンネル：791ch）は無料放送です。

＊2 テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

110度CSデジタル衛星サービス	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
スカパー！ｅ２	■ カスタマーセンター 「スカパー！ｅ２ カスタマーセンター」 0570-08-1212 PHS、IP電話のお客様は 045-276-7777 受付 10:00 ～ 20:00（年中無休） ■ ホームページ 「スカパー！ｅ２ ホームページ」 http://www.e2sptv.jp

受信地域（エリア）や受信方法などのデジタル放送全般について

機関	ホームページアドレス
（社）デジタル放送推進協会（Dpa）	http://www.dpa.or.jp

地デジの受信相談について

機関	お問い合わせ電話番号
総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター	電話：0570-07-0101 （平日 9:00 ～ 21:00、 土・日・祝日 9:00 ～ 18:00）

録画制限と著作権保護について

デジタル放送では、番組の著作権を保護し、不正コピーやインターネットへの不正な配信を防ぐため、コピー制御信号を番組に多重し、暗号をかけて放送されております。同梱されているB-CASカードは必ず挿入してください。

デジタル放送の番組には次のような「コピー制御信号」が付加されています

● 録画禁止

「録画禁止」の番組は、著作権が保護されているためデジタル録画できません。地上デジタルやBSデジタルの無料放送は、VHSなどのアナログ録画機器で録画できますが、BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルは、番組によってアナログ録画できない場合があります。

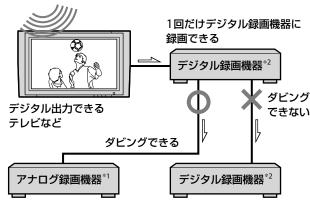
● 1回だけ録画可能

「1回だけ録画可能」な番組は、著作権保護技術に対応した録画機器及び記録メディアにてデジタル録画できます。しかし、デジタル録画した番組を更にデジタル録画(コピー)することはできません。VHSなどのアナログ録画機器では録画に制約はありません。

● 録画可能

個人的に利用される場合に限って、制限なしに録画可能です。

「番組説明」画面(☞59ページ)の番組情報欄で「コピーコントロール」情報を確認してください。

「1回だけ録画可能」の例

*1 VHS、8mmなど。
*2 DVDレコーダー、ハードディスクレコーダー、D-VHSビデオなど。

「1回だけ録画可能」な番組の録画について

光デジタル音声出力における録音制限について

著作権が保護されている番組では、光デジタル音声出力からの信号を録音できない場合があります。

> あなたが録画･録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できませんのでご注意ください。

ご注意

2008年7月より、一部のデジタル放送には「ダビング10」のコピー制御信号が加えられています。詳しくは、録画機器の取扱説明書をご覧ください。

本機の省エネ対応について

本機では、通常時の消費電力量を設定によって抑えたり、しばらく何も操作をしなかったときなどに自動で電源スタンバイになるようにするなど、省エネに対応しています。
ホームメニューから(設定)→(機能設定)→[省エネ設定]の順に選んで、以下の設定を行うことができます(☞97ページ)。

設定項目	できること
消費電力	[消費電力]を[減(明)]または[減(暗)]に設定すると、消費電力を軽減できます。 また、ラジオ放送などをお楽しみになるときは、[減(消画)]にすれば、画面を消して音声のみを楽しめます。
明るさセンサー	周囲の明るさに合わせて、自動的に画面の明るさを調整します。画質モード(☞82ページ)と消費電力の設定により、効果が異なったり、効果が出にくい場合があります。お買い上げ時の設定は[切]になっています。
無操作電源オフ	[無操作電源オフ]を[1時間]または[2時間]、[3時間]に設定すると、チャンネル切り換えや音量調節など、設定した時間内に何も操作をしなかったときは、「無操作電源オフによりまもなく電源が切れます。」と表示され、その5分後に自動で電源スタンバイになります。 お買い上げ時の設定は、[切]になっています。

また、以下の省エネ機能もあります。

機能	できること
バックライト	[バックライト]を低くすると消費電力を軽減できます。 ホームメニューから(設定)→ (画質·映像設定)→[画質]→[バックライト]の順に選ぶ(☞82ページ)。
オートシャットオフ*	約9分間、無信号を検出すると「オートシャットオフによりまもなく電源が切れます。」と画面に表示され、その1分後に電源スタンバイになります。深夜などの放送終了後には、自動で電源スタンバイになります。 * 地上アナログのときのみ働きます。

ご注意

明るさセンサー(☞176ページ)の前に物を置かないでください。自動明るさ調節機能が働かないことがあります。

ちょっと一言

消画にしたままで電源を切ると、次に電源を入れたときは[消費電力]が[標準]に戻ります。

ブラビアリンクで使われているHDMI機器制御について

ブラビアリンクの使いかたについて詳しくは、☞別冊の「ブラビアリンク接続・設定ガイド」をご覧ください。

HDMI機器制御とは

HDMI機器制御は、HDMIで規格化されているHDMI CEC(Consumer Electronics Control)を使った機器間相互制御の機能です。ソニーのHDMI機器制御対応のテレビやハードディスク搭載ブルーレイディスクレコーダー、AVアンプなどをHDMIケーブルでつなぐと、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

HDMI機器制御機能を使うには

- 対応機器それぞれで、正しい接続・設定をする。
- 本機と対応機器の主電源を切らない。
- 本機で、対応機器を接続したHDMI入力に切り換える。
- 本機で、対応機器の映像や音声が正常に出ることを確認する。

対応機器をつなぐ*

HDMIケーブルでつなぎます。接続にはソニー製のHigh Speed HDMIケーブルをご使用ください。AVアンプとの接続には、HDMIケーブルの他にメディアレシーバーユニットの光デジタル音声出力端子とAVアンプの間を光デジタル接続ケーブルで接続してください(☞32、34ページ)。

＊ HDMI機器制御機能は、ソニーのHDMI機器制御対応機器間のみで可能です。

HDMI機器制御[する]／[しない]の設定をする

HDMI機器制御を使うには、本機とつないだ機器側でそれぞれ設定が必要です。本機側の設定については、☞101ページをご覧ください。つないだ機器の設定はそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

HDMI機器制御設定連動に対応しているソニー製機器をつないでいるときは、本機のHDMI機器制御設定を有効にすると、つないだ機器のHDMI機器制御設定も有効になります。

HDMI機器制御でできること(☞73、76、78ページ)

- つないだ機器の電源を本機と連動して切ることができる。
- つないだ機器で再生すれば、本機の電源も連動し入力も自動で切り換わる。
- 簡単な操作でAVアンプからの音声に切り換えられる。
- AVアンプの音量調節をしたり消音したりできる。
- ホームメニューでHDMI機器を選べば、選んだ機器の電源が自動で入る。
- 本機のマルチリモコンで他機器の基本的な操作ができる。
- つないだ機器の操作メニューを表示して、基本的な操作ができる。

ブラビアリンクに対応している機器

左のロゴが付いている機器で、ブラビアリンクを使えます。

対応機器リスト

対応機器について詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

http://www.sony.co.jp/bravia/support/

ブラビアリンクに対応していない機器

下記の機器では、ブラビアリンクは使えません。

- ブラビアリンクロゴが付いていない機器
- ソニー製　ハードディスク搭載DVDレコーダー「スゴ録」
- ソニー製　ブルーレイディスクレコーダー BDZ-V9/BDZ-V7
- ソニー製以外の機器(つないだときの動作は保証できません)

ご注意

AVアンプは、ホームメニューの(外部入力)からは選べません。

ネットワーク機器について

DLNAについて

本機は、DLNAガイドラインに対応したネットワーク機器（サーバー）に記録された、写真・音楽・映像を楽しめます。
操作のしかたについては☞116ページを、接続、設定については☞106ページをご覧ください。

接続対象機器

- DLNAガイドライン対応のネットワーク機器
- ソニールームリンク機能に対応したネットワーク機器

2009年8月現在推奨機種

- ソニー製　ブルーレイディスクレコーダー
  BDZ-V9
  BDZ-T75
  BDZ-L70/BDZ-L95
  BDZ-X90/BDZ-X95/BDZ-X100
  BDZ-A70
  BDZ-A750/BDZ-A950
- ソニー製　DVDレコーダー
  RDZ-D97A
  RDZ-D77A
- ソニー製　デジタルスチルカメラ
  DSC-G1
  DSC-G3
- ソニー製　HDDコンポ
  NAS-M700HD
  NAS-D500HD
  NAS-M95HD
  NAS-M75HD
  NAS-D55HD
- VAIO Media Ver. 5.0以降のプリインストールモデル
- VAIO Media plus Ver. 1.0*1、1.1、1.2

*1 レンダラー機能を楽しむためにはVAIO Media plus Ver. 1.1以降のバージョンへのアップデートが必要です。

- ソニー製　ホームサーバー
  VGF-HS1シリーズ

本機とのDLNA接続に対応しているサーバーかどうか、次のホームページで最新情報を確認してください。
http://www.sony.jp/event/DLNA/

ネットワーク機器について

- ネットワーク機器の種類によっては、ネットワーク機器側で登録が必要な場合もあります。詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。
- ネットワーク機器でファイアウォールが設定されている場合にはネットワーク機能が使えない場合があります。ネットワーク機器の取扱説明書をご覧のうえ、必要な設定変更をしてください。

再生対象ファイル形式について

ネットワーク機器から送られるファイル形式が下記に該当するファイルを再生できます。ネットワーク機器によっては、ファイル形式を変換して送ります。その場合、変換されたあとのファイル形式が対象となります。詳しくは、ネットワーク機器の取扱説明書をご覧ください。

- 静止画：JPEG形式
- 音楽：MP3形式／リニアPCM形式
- 映像：MPEG2形式／ AVC形式／ DTCP-IPで著作権保護されたデジタル放送コンテンツ*2

*2 DTCP-IP（Digital Transmission Content Protection over Internet Protocol）とは、著作権保護を目的として開発されたネットワーク規格です。

上記のファイル形式でも、一部再生できない場合があります。

次のページにつづく⇨

ネットワーク録画について

本機とネットワーク録画に対応している機器をつなげば、本機からネットワークを通してつないだ機器への録画予約ができます。操作のしかたについては☞120ページをご覧ください。
ネットワーク録画に対応した録画機器について、詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/bravia/support/

レンダラー機能について

レンダラーとはネットワーク上の他の対応コントローラー機器からの操作により写真や音楽、映像を本機で再生して楽しむことができる機能です。
本機のレンダラー機能に対応しているコントローラーについては、下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/event/DLNA/

インターネットブラウザについて

インターネットブラウザの利用、またはかかる機能(ソフトウェアを含む)の不具合、通信障害などに起因または付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

アプリキャストについて

アプリキャストの利用、またはかかる機能(ソフトウェアを含む)の不具合、通信障害などに起因または付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

マルチリモコンについて

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業·科学·医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、巻末にあるソニーご相談窓口にお問い合わせいただき、混信回避のための処理など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、巻末にあるソニーご相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS1

この表示のある無線装置は2.4 GHz帯を使用しています。
変調方式としてDS-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。
従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解／改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー／ライター）について

本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー／ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。使用周波数帯は、13.56MHz帯です。本機内蔵のFeliCaポートを分解、改造したり、型式番号を消すと、法律で罰せられることがあります。周囲で複数のリーダー／ライターをご利用の場合、1m以上間隔をあけてお使いください。また、他の同一の周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。
本製品には暗号機能があります。メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットのシリアルナンバーが一致していないと正しく無線通信できません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
  ただし、液晶パネルは2年間です。
- 本機のメモリーに保存されたデータは、保証の対象外です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーご相談窓口へ

巻末にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。

BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）にお問い合わせください。

修理のときは、シリアルナンバー（SER No.）が一致しているメディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの両方が必要です。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは、保証書をご覧ください。

何らかの原因でコンテンツが外部メディアや外部記録機器（"メモリースティック"、デジタルレコーディングハードディスクドライブなど）に記録できなかった場合や、外部メディア・外部記録機器に記録されたコンテンツが破損または消去された場合など、いかなる場合においてもコンテンツの補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーご相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名： KDL-46ZX5
KDL-52ZX5
型名について詳しくは、☞124ページをご覧ください。

故障の状態： できるだけ詳しく

購入年月日：

メディアレシーバーユニットの定格はメディアレシーバーユニット底面に記載されています。液晶ディスプレイユニットのシリアルナンバー、および定格は端子カバーの内側に記載されています。

お買い上げ店
TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

地域別チャンネル表

地上アナログ放送

かんたん初期設定(☞27ページ)の地上アナログ設定で、チャンネル自動登録として[オート]を選んだとき、マルチリモコンの①～⑫/選局の数字ボタンに割り当てられる地上アナログの放送局は下記のとおりです。引越しなどで最初からチャンネルを割り当て直したいときは、かんたん初期設定を行うか、メニュー(ホームメニュー)からチャンネルスキャンをやり直してください(☞94ページ)。

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
北海道	帯広	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	12	12	⑫
		HBCテレビ	6	6	⑥
		STVテレビ	10	10	⑩
		HTBテレビ	34	34	①
		UHBテレビ	32	32	⑧
	釧路	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	11	11	⑪
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	39	39	⑩
		UHBテレビ	41	41	⑧
	北見(網走)	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	12	12	⑫
		HBCテレビ	1	1	①
		STVテレビ	5	5	⑤
		HTBテレビ	35	35	⑨
		UHBテレビ	27	27	⑦
	新北見	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	53	53	⑪
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	61	61	⑩
		UHBテレビ	59	59	⑧
	旭川	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	11	11	⑪
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	39	39	⑩
		UHBテレビ	37	37	⑧
		TVHテレビ	33	33	④
	札幌	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	12	12	⑫
		HBCテレビ	1	1	①
		STVテレビ	5	5	⑤
		HTBテレビ	35	35	⑩
		UHBテレビ	27	27	⑦
		TVHテレビ	17	17	④
	小樽	NHK総合	11	11	⑪
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	9	9	⑨
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	4	4	④
		UHBテレビ	26	26	⑥
		TVHテレビ	24	24	⑧
	函館	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	10	10	⑩
		HBCテレビ	6	6	⑥
		STVテレビ	12	12	⑫
		HTBテレビ	35	35	③
		UHBテレビ	27	27	②
		TVHテレビ	21	21	①
	室蘭	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		HBCテレビ	11	11	⑪
		STVテレビ	7	7	⑦
		HTBテレビ	39	39	⑩
		UHBテレビ	37	37	⑧
		TVHテレビ	29	29	④
	苫小牧	NHK総合	51	51	③
		NHK教育	49	49	⑫
		HBCテレビ	55	55	①
		STVテレビ	57	57	⑤
		HTBテレビ	61	61	⑩
		UHBテレビ	53	53	⑦
		TVHテレビ	47	47	④

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
青森	青森	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	5	5	⑤
		青森放送	1	1	①
		青森テレビ	38	38	⑫
		青森朝日放送	34	34	⑩
		HTBテレビ	35	35	⑪
		UHBテレビ	27	27	⑧
	八戸	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	7	7	⑦
		青森放送	11	11	⑪
		青森テレビ	33	33	⑫
		青森朝日放送	31	31	④
岩手	盛岡	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	8	8	⑧
		IBCテレビ	6	6	⑥
		テレビ岩手	35	35	③
		めんこいテレビ	33	33	②
		岩手朝日テレビ	31	31	⑤
		東北放送	1	1	①
		仙台放送	12	12	⑫
		ミヤギテレビ	34	34	⑦
		東日本放送	32	32	⑩
宮城	仙台	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	5	5	⑤
		東北放送	1	1	①
		仙台放送	12	12	⑫
		ミヤギテレビ	34	34	⑩
		東日本放送	32	32	⑦
	石巻	NHK総合	51	3	③
		NHK教育	49	5	⑤
		東北放送	59	1	①
		仙台放送	57	12	⑫
		ミヤギテレビ	55	34	⑩
		東日本放送	61	32	⑦
秋田	秋田	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		秋田放送	11	11	⑪
		秋田テレビ	37	37	⑫
		秋田朝日放送	31	31	⑤
	大館	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	8	8	⑧
		秋田放送	6	6	⑥
		秋田テレビ	57	57	⑫
		秋田朝日放送	59	59	⑤
		青森放送	1	1	①
山形	山形	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	4	4	④
		山形放送	10	10	⑩
		山形テレビ	38	38	⑫
		テレビユー山形	36	36	⑥
		さくらんぼテレビ	30	30	⑤
	鶴岡	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	6	6	⑥
		山形放送	1	1	①
		山形テレビ	39	39	⑫
		テレビユー山形	22	22	⑧
		さくらんぼテレビ	24	24	⑤

次のページにつづく⇨

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
福島	福島･郡山	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		福島テレビ	11	11	⑪
		福島中央テレビ	33	33	⑥
		福島放送	35	35	⑩
		テレビユー福島	31	31	④
		東北放送	1	1	①
		仙台放送	12	12	⑫
		ミヤギテレビ	34	34	⑧
		東日本放送	32	32	⑦
	いわき平	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	10	10	⑩
		福島テレビ	8	8	⑧
		福島中央テレビ	58	34	⑥
		福島放送	60	36	⑫
		テレビユー福島	62	32	②
	いわき勿来	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	10	10	⑩
		福島テレビ	8	8	⑧
		福島中央テレビ	34	34	⑥
		福島放送	36	36	⑫
		テレビユー福島	32	32	②
	会津若松	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		福島テレビ	6	6	⑥
		福島中央テレビ	37	37	⑧
		福島放送	41	41	⑩
		テレビユー福島	47	47	④
		仙台放送	12	12	⑫
		ミヤギテレビ	34	34	⑨
		東日本放送	32	32	⑦
茨城	水戸	NHK総合	44	1	①
		NHK教育	46	3	③
		日本テレビ	42	4	④
		TBSテレビ	40	6	⑥
		フジテレビ	38	8	⑧
		テレビ朝日	36	10	⑩
		テレビ東京	32	12	⑫
		放送大学	16	16	⑤
	日立	NHK総合	52	1	①
		NHK教育	50	3	③
		日本テレビ	54	4	④
		TBSテレビ	56	6	⑥
		フジテレビ	58	8	⑧
		テレビ朝日	60	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
栃木	宇都宮	NHK総合	51	1	①
		NHK教育	49	3	③
		日本テレビ	53	4	④
		TBSテレビ	55	6	⑥
		フジテレビ	57	8	⑧
		テレビ朝日	41	10	⑩
		テレビ東京	44	12	⑫
		とちぎテレビ	31	31	⑤
	矢板	NHK総合	40	1	①
		NHK教育	30	3	③
		日本テレビ	36	4	④
		TBSテレビ	42	6	⑥
		フジテレビ	45	8	⑧
		テレビ朝日	59	10	⑩
		テレビ東京	61	12	⑫
		とちぎテレビ	33	33	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
群馬	前橋	NHK総合	52	1	①
		NHK教育	50	3	③
		日本テレビ	54	4	④
		TBSテレビ	56	6	⑥
		フジテレビ	58	8	⑧
		テレビ朝日	60	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
		群馬テレビ	48	48	⑤
		放送大学	40	16	⑦
	桐生	NHK総合	51	1	①
		NHK教育	57	3	③
		日本テレビ	53	4	④
		TBSテレビ	55	6	⑥
		フジテレビ	35	8	⑧
		テレビ朝日	59	10	⑩
		テレビ東京	61	12	⑫
		群馬テレビ	41	48	⑤
埼玉	さいたま	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		テレビ埼玉	38	38	⑦
		放送大学	16	16	⑤
		MXテレビ	14	14	②
		群馬テレビ	48	48	⑪
		千葉テレビ	46	46	⑨
	熊谷･児玉	NHK総合	51	1	①
		NHK教育	35	3	③
		日本テレビ	53	4	④
		TBSテレビ	55	6	⑥
		フジテレビ	57	8	⑧
		テレビ朝日	59	10	⑩
		テレビ東京	61	12	⑫
		テレビ埼玉	30	38	⑦
		放送大学	40	40	⑤
		群馬テレビ	48	48	⑪
千葉	千葉	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		千葉テレビ	46	46	⑨
		放送大学	16	16	⑤
		MXテレビ	14	14	②
		tvk	42	42	⑦
		テレビ埼玉	38	38	⑪
	東金	NHK総合	35	1	①
		NHK教育	38	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		千葉テレビ	31	46	⑪
	銚子	NHK総合	51	1	①
		NHK教育	49	3	③
		日本テレビ	53	4	④
		TBSテレビ	55	6	⑥
		フジテレビ	57	8	⑧
		テレビ朝日	59	10	⑩
		テレビ東京	61	12	⑫
		千葉テレビ	39	46	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
東京	東京	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		MXテレビ	14	14	②
		放送大学	16	16	⑤
		tvk	42	42	⑦
		千葉テレビ	46	46	⑨
		テレビ埼玉	38	38	⑪
	八王子	NHK総合	33	1	①
		NHK教育	29	3	③
		日本テレビ	35	4	④
		TBSテレビ	37	6	⑥
		フジテレビ	31	8	⑧
		テレビ朝日	45	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
		MXテレビ	40	14	⑤
		tvk	42	42	⑦
		テレビ埼玉	38	38	⑪
	多摩	NHK総合	49	1	①
		NHK教育	47	3	③
		日本テレビ	51	4	④
		TBSテレビ	53	6	⑥
		フジテレビ	55	8	⑧
		テレビ朝日	57	10	⑩
		テレビ東京	59	12	⑫
		MXテレビ	61	14	⑤
		tvk	42	42	⑦
		テレビ埼玉	38	38	⑪
神奈川	横浜1（みなと）	NHK総合	52	1	①
		NHK教育	50	3	③
		日本テレビ	54	4	④
		TBSテレビ	56	6	⑥
		フジテレビ	58	8	⑧
		テレビ朝日	60	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
		tvk	48	42	⑦
	横浜2	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑥
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
		tvk	42	42	⑦
		放送大学	16	16	⑤
		MXテレビ	14	14	②
	平塚	NHK総合	33	1	①
		NHK教育	29	3	③
		日本テレビ	35	4	④
		TBSテレビ	37	6	⑥
		フジテレビ	39	8	⑧
		テレビ朝日	41	10	⑩
		テレビ東京	43	12	⑫
		tvk	31	42	⑤
	小田原	NHK総合	52	1	①
		NHK教育	50	3	③
		日本テレビ	54	4	④
		TBSテレビ	56	6	⑥
		フジテレビ	58	8	⑧
		テレビ朝日	60	10	⑩
		テレビ東京	62	12	⑫
		tvk	46	42	⑤
	秦野	NHK総合	47	1	①
		NHK教育	49	3	③
		日本テレビ	51	4	④
		TBSテレビ	53	6	⑥
		フジテレビ	55	8	⑧
		テレビ朝日	57	10	⑩
		テレビ東京	59	12	⑫
		tvk	61	42	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
山梨	甲府	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	3	3	③
		山梨放送	5	5	⑤
		テレビ山梨	37	37	⑥
		日本テレビ	4	4	④
		TBSテレビ	6	6	⑦
		フジテレビ	8	8	⑧
		テレビ朝日	10	10	⑩
		テレビ東京	12	12	⑫
長野	長野1	NHK総合	44	2	②
		NHK教育	46	9	⑨
		テレビ信州	40	40	⑥
		長野朝日	50	50	④
		信越放送	48	48	⑪
		長野放送	42	42	⑩
	長野2	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	9	9	⑨
		テレビ信州	30	30	⑥
		長野朝日	20	20	④
		信越放送	11	11	⑪
		長野放送	38	38	⑩
	飯田	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	3	3	③
		テレビ信州	42	42	⑨
		長野朝日	44	44	⑪
		信越放送	6	6	⑥
		長野放送	40	40	⑦
	松本	NHK総合	44	44	②
		NHK教育	46	46	⑨
		テレビ信州	48	48	③
		長野朝日	50	50	⑩
		信越放送	40	40	⑪
		長野放送	42	42	⑤
新潟	新潟	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	12	12	⑫
		新潟放送	5	5	⑤
		新潟総合テレビ	35	35	⑩
		テレビ新潟	29	29	④
		新潟テレビ21	21	21	③
	上越	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	1	1	①
		新潟放送	10	10	⑩
		新潟総合テレビ	33	33	⑫
		テレビ新潟	27	27	⑧
		新潟テレビ21	37	37	⑥
富山	富山	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	10	10	⑩
		北日本放送	1	1	①
		富山テレビ	34	34	⑫
		チューリップテレビ	32	32	⑥
		北陸放送	6	6	②
		石川テレビ	37	37	④
	高岡	NHK総合	48	48	③
		NHK教育	46	46	⑩
		北日本放送	50	50	①
		富山テレビ	44	44	⑫
		チューリップテレビ	42	42	⑥
石川	金沢	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	8	8	⑧
		テレビ金沢	33	33	⑩
		北陸朝日	25	25	⑦
		北陸放送	6	6	⑥
		石川テレビ	37	37	⑫
		北日本放送	1	1	①
		富山テレビ	34	34	③
福井	福井	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	3	3	③
		福井放送	11	11	⑪
		福井テレビ	39	39	⑫
		北陸放送	6	6	⑥

次のページにつづく⇨

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
岐阜	岐阜	NHK総合	39	3	③
		NHK教育	9	9	⑨
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		メ～テレ	11	11	⑪
		中京テレビ	35	35	⑥
		岐阜テレビ	37	37	⑦
		テレビ愛知	25	25	④
		三重テレビ	33	33	⑧
	各務原	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	9	9	⑨
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		メ～テレ	11	11	⑪
		テレビ愛知	25	25	④
		中京テレビ	35	35	⑫
		岐阜テレビ	41	41	⑦
静岡	静岡	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		静岡放送	11	11	⑪
		テレビ静岡	35	35	⑫
		第一テレビ	31	31	④
		あさひテレビ	33	33	⑥
	浜松	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	8	8	⑧
		静岡放送	6	6	⑥
		テレビ静岡	34	34	⑫
		第一テレビ	30	30	②
		あさひテレビ	28	28	⑩
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		テレビ愛知	25	25	⑦
	富士	NHK総合	52	52	⑨
		NHK教育	54	54	②
		静岡放送	41	41	⑪
		テレビ静岡	39	39	⑦
		第一テレビ	27	27	③
		あさひテレビ	29	29	⑤
	三島・沼津	NHK総合	53	53	⑨
		NHK教育	51	51	②
		静岡放送	55	55	⑪
		テレビ静岡	59	59	⑦
		第一テレビ	61	61	③
		あさひテレビ	57	57	⑤
	藤枝	NHK総合	42	42	⑨
		NHK教育	44	44	②
		静岡放送	40	40	⑪
		テレビ静岡	38	38	⑦
		第一テレビ	24	24	③
		あさひテレビ	26	26	⑤
	島田	NHK総合	56	56	⑨
		NHK教育	54	54	②
		静岡放送	62	62	⑪
		テレビ静岡	58	58	⑦
		第一テレビ	48	48	③
		あさひテレビ	50	50	⑤
愛知	名古屋	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	9	9	⑨
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		メ～テレ	11	11	⑪
		中京テレビ	35	35	⑦
		テレビ愛知	25	25	⑫
		三重テレビ	33	33	⑧
		岐阜テレビ	37	37	⑥
	豊橋	NHK総合	54	54	③
		NHK教育	50	50	⑨
		東海テレビ	56	56	①
		CBCテレビ	62	62	⑤
		メ～テレ	60	60	⑪
		中京テレビ	58	58	⑦
		テレビ愛知	52	52	④
		三重テレビ	33	33	⑧
		岐阜テレビ	37	37	⑥

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
愛知	豊田	NHK総合	53	53	③
		NHK教育	51	51	⑨
		東海テレビ	57	57	①
		CBCテレビ	55	55	⑤
		メ～テレ	61	61	⑪
		中京テレビ	59	59	⑦
		テレビ愛知	49	49	④
		三重テレビ	33	33	⑧
		岐阜テレビ	37	37	⑥
三重	津	NHK総合	31	31	③
		NHK教育	9	9	⑨
		東海テレビ	1	1	①
		CBCテレビ	5	5	⑤
		メ～テレ	11	11	⑪
		中京テレビ	35	35	⑫
		三重テレビ	33	33	⑦
		テレビ愛知	25	25	②
	伊勢	NHK総合	53	31	③
		NHK教育	49	9	⑨
		東海テレビ	57	1	①
		CBCテレビ	55	5	⑤
		メ～テレ	61	11	⑪
		中京テレビ	47	35	⑦
		三重テレビ	59	33	④
		テレビ愛知	25	25	⑫
滋賀	大津	NHK総合	28	2	②
		NHK教育	46	12	⑫
		毎日放送	36	4	④
		ABCテレビ	38	6	⑥
		関西テレビ	40	8	⑧
		読売テレビ	42	10	⑩
		びわ湖放送	30	30	⑨
		KBS京都	34	34	⑦
	彦根	NHK総合	52	2	②
		NHK教育	50	12	⑫
		毎日放送	54	4	④
		ABCテレビ	58	6	⑥
		関西テレビ	60	8	⑧
		読売テレビ	62	10	⑩
		びわ湖放送	56	56	⑨
京都	京都	NHK総合	32	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		KBS京都	34	34	⑦
		テレビ大阪	19	19	③
	山科	NHK総合	38	2	②
		NHK教育	50	12	⑫
		毎日放送	54	4	④
		ABCテレビ	56	6	⑥
		関西テレビ	58	8	⑧
		読売テレビ	60	10	⑩
		KBS京都	40	34	⑦
		テレビ大阪	19	19	③
大阪	大阪	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		テレビ大阪	19	19	③
		KBS京都	34	34	⑦
		サンテレビ	36	36	⑨
兵庫	神戸・芦屋	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		サンテレビ	36	36	③
		テレビ大阪	19	19	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
兵庫	姫路	NHK総合	50	2	②
		NHK教育	52	12	⑫
		毎日放送	54	4	④
		ABCテレビ	58	6	⑥
		関西テレビ	60	8	⑧
		読売テレビ	62	10	⑩
		サンテレビ	56	3	③
	明石	NHK総合	51	2	②
		NHK教育	49	12	⑫
		毎日放送	53	4	④
		ABCテレビ	57	6	⑥
		関西テレビ	59	8	⑧
		読売テレビ	61	10	⑩
		サンテレビ	55	3	③
	川西	NHK総合	29	2	②
		NHK教育	31	12	⑫
		毎日放送	35	4	④
		ABCテレビ	37	6	⑥
		関西テレビ	39	8	⑧
		読売テレビ	41	10	⑩
		サンテレビ	33	3	③
	長田	NHK総合	44	2	②
		NHK教育	46	12	⑫
		毎日放送	38	4	④
		ABCテレビ	40	6	⑥
		関西テレビ	42	8	⑧
		読売テレビ	48	10	⑩
		サンテレビ	34	3	③
	三木	NHK総合	44	2	②
		NHK教育	46	12	⑫
		毎日放送	34	4	④
		ABCテレビ	38	6	⑥
		関西テレビ	40	8	⑧
		読売テレビ	42	10	⑩
		サンテレビ	55	3	③
奈良	奈良	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		奈良テレビ	55	55	⑤
		KBS京都	34	34	③
和歌山	和歌山	NHK総合	32	2	②
		NHK教育	25	12	⑫
		毎日放送	42	4	④
		ABCテレビ	44	6	⑥
		関西テレビ	46	8	⑧
		読売テレビ	48	10	⑩
		テレビ和歌山	30	30	⑤
	海南	NHK総合	50	2	②
		NHK教育	52	12	⑫
		毎日放送	54	4	④
		ABCテレビ	58	6	⑥
		関西テレビ	60	8	⑧
		読売テレビ	62	10	⑩
		テレビ和歌山	56	56	⑤
鳥取	鳥取	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	4	4	④
		山陰中央テレビ	24	24	⑫
		山陰放送	22	22	⑩
		日本海テレビ	1	1	①
	米子	NHK総合·鳥取	32	32	⑤
		NHK総合·島根	6	6	⑥
		NHK教育	12	12	⑫
		山陰中央テレビ	34	34	③
		山陰放送	10	10	⑩
		日本海テレビ	30	30	①
島根	松江	NHK総合	6	6	⑥
		NHK教育	12	12	⑫
		山陰中央テレビ	34	34	③
		山陰放送	10	10	⑩
		日本海テレビ	30	30	①

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
島根	浜田	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	9	9	⑨
		山陰中央テレビ	58	58	⑧
		山陰放送	5	5	⑤
		日本海テレビ	54	54	③
岡山	岡山	NHK総合	5	5	⑤
		NHK教育	3	3	③
		西日本放送	9	9	⑨
		瀬戸内海放送	25	25	⑦
		山陽放送	11	11	⑪
		TSCテレビせとうち	23	23	②
		岡山放送	35	35	①
広島	広島	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	7	7	⑦
		中国放送	4	4	④
		広島テレビ	12	12	⑫
		広島ホームテレビ	35	35	②
		テレビ新広島	31	31	①
	福山	NHK総合	5	5	⑤
		NHK教育	3	3	③
		中国放送	7	7	⑦
		広島テレビ	11	11	⑪
		広島ホームテレビ	57	57	②
		テレビ新広島	54	54	①
	尾道	NHK総合	1	1	①
		NHK教育	7	7	⑦
		中国放送	10	10	⑩
		広島テレビ	12	12	⑫
		広島ホームテレビ	24	24	⑤
		テレビ新広島	26	26	⑥
	呉	NHK総合	11	11	⑪
		NHK教育	1	1	①
		中国放送	9	9	⑨
		広島テレビ	5	5	⑤
		広島ホームテレビ	24	24	④
		テレビ新広島	26	26	⑥
山口	山口	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	1	1	①
		山口放送	11	11	⑪
		テレビ山口	38	38	⑦
		山口朝日放送	28	28	④
		KBCテレビ	2	2	②
		RKBテレビ	8	8	⑧
		FBSテレビ	35	35	⑫
		TVQ九州放送	23	23	③
		テレビ西日本	10	10	⑩
		大分放送	5	5	⑤
	下関	NHK総合	39	39	⑨
		NHK教育	41	41	①
		山口放送	4	4	④
		テレビ山口	33	33	⑦
		山口朝日放送	21	21	⑤
		KBCテレビ	2	2	②
		RKBテレビ	8	8	⑧
		FBSテレビ	35	35	⑪
		TVQ九州放送	23	23	③
		テレビ西日本	10	10	⑩
	宇部	NHK総合	58	6	⑨
		NHK教育	55	12	①
		山口放送	61	4	⑪
		テレビ山口	44	33	⑦
		山口朝日放送	24	21	⑤
		KBCテレビ	2	2	②
		RKBテレビ	8	8	⑧
		テレビ西日本	10	10	⑩
	岩国	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	1	1	①
		山口放送	11	11	⑪
		テレビ山口	62	22	⑦
		山口朝日放送	28	28	⑤

次のページにつづく⇨

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
徳島	徳島	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	12	12	⑫
		四国放送	1	1	①
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
		テレビ大阪	19	19	②
		サンテレビ	36	36	⑦
		テレビ和歌山	55	55	⑤
香川	高松	NHK総合	37	37	⑤
		NHK教育	39	39	③
		西日本放送	41	9	⑨
		瀬戸内海放送	33	33	⑦
		山陽放送	29	29	⑪
		TSCテレビせとうち	19	19	①
		岡山放送	31	31	⑫
		毎日放送	4	4	④
		ABCテレビ	6	6	⑥
		関西テレビ	8	8	⑧
		読売テレビ	10	10	⑩
	丸亀	NHK総合	44	44	⑤
		NHK教育	40	40	③
		西日本放送	50	50	⑨
		瀬戸内海放送	42	42	⑦
		山陽放送	48	48	⑪
		TSCテレビせとうち	46	46	⑥
		岡山放送	52	52	⑫
愛媛	松山	NHK総合	6	6	⑥
		NHK教育	2	2	②
		南海放送	10	10	⑩
		愛媛朝日テレビ	25	25	⑦
		あいテレビ	29	29	⑧
		テレビ愛媛	37	37	⑫
		西日本放送	9	9	⑨
		山陽放送	11	11	⑪
		TSCテレビせとうち	23	23	①
		広島テレビ	12	12	③
		広島ホームテレビ	35	35	④
		テレビ新広島	31	31	⑤
	新居浜	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	4	4	④
		南海放送	6	6	⑥
		愛媛朝日テレビ	14	14	⑩
		あいテレビ	27	27	⑧
		テレビ愛媛	36	36	⑫
		西日本放送	9	9	⑨
		山陽放送	11	11	⑪
		TSCテレビせとうち	23	23	①
		広島テレビ	12	12	③
		テレビ新広島	31	31	⑤
		瀬戸内海放送	33	33	⑦
高知	高知	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	6	6	⑥
		高知放送	8	8	⑧
		テレビ高知	38	38	⑩
		高知さんさんテレビ	40	40	⑪
福岡	福岡	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	6	6	⑥
		KBCテレビ	1	1	①
		RKBテレビ	4	4	④
		FBSテレビ	37	37	⑫
		TVQ九州放送	19	19	⑤
		テレビ西日本	9	9	⑨
	北九州	NHK総合	6	6	⑥
		NHK教育	12	12	⑫
		KBCテレビ	2	2	②
		RKBテレビ	8	8	⑧
		FBSテレビ	35	35	④
		TVQ九州放送	23	23	③
		テレビ西日本	10	10	⑩

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
福岡	久留米	NHK総合	46	46	③
		NHK教育	54	54	⑥
		KBCテレビ	57	57	①
		RKBテレビ	48	48	④
		FBSテレビ	52	52	⑫
		TVQ九州放送	14	14	⑤
		テレビ西日本	60	60	⑨
		サガテレビ	36	36	②
	大牟田	NHK総合	53	53	③
		NHK教育	50	50	⑥
		KBCテレビ	58	58	①
		RKBテレビ	61	61	④
		FBSテレビ	43	43	⑫
		TVQ九州放送	19	19	⑤
		テレビ西日本	55	55	⑨
		サガテレビ	36	36	②
	行橋	NHK総合	49	49	⑥
		NHK教育	46	46	⑫
		KBCテレビ	57	57	②
		RKBテレビ	60	60	⑧
		FBSテレビ	43	43	④
		TVQ九州放送	19	19	③
		テレビ西日本	54	54	⑩
佐賀	佐賀	NHK総合	38	38	⑨
		NHK教育	40	40	②
		サガテレビ	36	36	④
		KBCテレビ	57	57	①
		RKBテレビ	48	48	⑧
		FBSテレビ	52	52	③
		TVQ九州放送	14	14	⑤
		テレビ西日本	60	60	⑩
		RKKテレビ	11	11	⑪
		テレビ熊本	34	34	⑥
		長崎放送	5	5	⑦
		テレビ長崎	37	37	⑫
長崎	長崎	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	1	1	①
		長崎放送	5	5	⑤
		テレビ長崎	37	37	⑪
		長崎文化放送	27	27	⑨
		長崎国際テレビ	25	25	⑦
		KBCテレビ	57	57	②
		RKBテレビ	4	4	④
		テレビ西日本	9	9	⑧
		RKKテレビ	11	11	⑩
		テレビ熊本	34	34	⑥
		KKTテレビ	22	22	⑫
	佐世保	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	2	2	②
		長崎放送	10	10	⑩
		テレビ長崎	35	35	④
		長崎文化放送	31	31	⑤
		長崎国際テレビ	17	17	⑨
熊本	熊本	NHK総合	9	9	⑨
		NHK教育	2	2	②
		RKKテレビ	11	11	⑪
		テレビ熊本	34	34	⑥
		KKTテレビ	22	22	④
		熊本朝日放送	16	16	③
		KBCテレビ	1	1	①
		RKBテレビ	4	4	⑫
		TVQ九州放送	19	19	⑩
		テレビ長崎	37	37	⑦
		サガテレビ	36	36	⑧
		長崎放送	5	5	⑤

都道府県	地域名	放送局名	受信CH	表示CH	リモコンボタン
大分	大分	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	12	12	⑫
		大分放送	5	5	⑤
		テレビ大分	36	36	⑦
		大分朝日放送	24	24	⑨
		南海放送	10	10	⑥
		KBCテレビ	1	1	①
		RKBテレビ	4	4	④
		FBS放送	37	37	⑧
		TVQ九州放送	19	19	⑩
		テレビ西日本	9	9	⑪
宮崎	宮崎	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	12	12	⑫
		宮崎放送	10	10	⑩
		テレビ宮崎	35	35	③
		南日本放送	1	1	①
		鹿児島テレビ	38	38	⑨
		鹿児島放送	32	32	⑦
	延岡	NHK総合	4	4	④
		NHK教育	2	2	②
		宮崎放送	6	6	⑥
		テレビ宮崎	39	39	⑧
鹿児島	鹿児島	NHK総合	3	3	③
		NHK教育	5	5	⑤
		南日本放送	1	1	①
		鹿児島テレビ	38	38	⑨
		鹿児島放送	32	32	⑦
		鹿児島読売テレビ	30	30	⑪
		テレビ熊本	34	34	②
		KKTテレビ	22	22	⑧
		熊本朝日放送	16	16	⑩
		宮崎放送	10	10	⑥
		テレビ宮崎	35	35	④
	阿久根	NHK総合	8	8	⑧
		NHK教育	12	12	⑫
		南日本放送	10	10	⑩
		鹿児島テレビ	35	35	⑥
		鹿児島放送	23	23	④
		鹿児島読売テレビ	17	17	①
		テレビ熊本	34	34	②
		KKTテレビ	22	22	⑦
		熊本朝日放送	16	16	⑨
		RKKテレビ	11	11	⑪
沖縄	那覇	NHK総合	2	2	②
		NHK教育	12	12	⑫
		琉球放送	10	10	⑩
		琉球朝日放送	28	28	①
		沖縄テレビ	8	8	⑧

次のページにつづく⇨

地上デジタル放送

マルチリモコンの①～⑫/選局の数字ボタンに割り当てられる地上デジタルの放送局は下記のとおりです(2009年8月現在は放送を開始していない放送局もあります)。
引越しや新しく放送局が開設されるなどでチャンネルを割り当て直したいときは、メニュー(ホームメニュー)からチャンネルスキャンをやり直してください(☞92ページ)。
また、各都道府県名の欄にない放送局を受信できる場合もあります。このときは数字ボタンに空きがあれば、その放送局を自動的に任意の番号として割り当てます。

都道府県	放送局名	リモコンボタン
北海道(帯広)	NHK総合·帯広	③
	NHK教育·帯広	②
	HBC帯広	①
	STV帯広	⑤
	HTB帯広	⑥
	UHB帯広	⑧
	TVH帯広	⑦
北海道(釧路)	NHK総合·釧路	③
	NHK教育·釧路	②
	HBC釧路	①
	STV釧路	⑤
	HTB釧路	⑥
	UHB釧路	⑧
	TVH釧路	⑦
北海道(北見)	NHK総合·北見	③
	NHK教育·北見	②
	HBC北見	①
	STV北見	⑤
	HTB北見	⑥
	UHB北見	⑧
	TVH北見	⑦
北海道(旭川)	NHK総合·旭川	③
	NHK教育·旭川	②
	HBC旭川	①
	STV旭川	⑤
	HTB旭川	⑥
	UHB旭川	⑧
	TVH旭川	⑦
北海道(札幌)	NHK総合·札幌	③
	NHK教育·札幌	②
	HBC札幌	①
	STV札幌	⑤
	HTB札幌	⑥
	UHB札幌	⑧
	TVH札幌	⑦
北海道(函館)	NHK総合·函館	③
	NHK教育·函館	②
	HBC函館	①
	STV函館	⑤
	HTB函館	⑥
	UHB函館	⑧
	TVH函館	⑦
北海道(室蘭)	NHK総合·室蘭	③
	NHK教育·室蘭	②
	HBC室蘭	①
	STV室蘭	⑤
	HTB室蘭	⑥
	UHB室蘭	⑧
	TVH室蘭	⑦

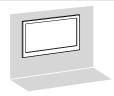
都道府県	放送局名	リモコンボタン
青森	NHK総合·青森	③
	NHK教育·青森	②
	RAB青森放送	①
	ATV青森テレビ	⑥
	青森朝日放送	⑤
岩手	NHK総合·盛岡	①
	NHK教育·盛岡	②
	IBCテレビ	⑥
	テレビ岩手	④
	めんこいテレビ	⑧
	岩手朝日テレビ	⑤
宮城	NHK総合·仙台	③
	NHK教育·仙台	②
	TBCテレビ	①
	仙台放送	⑧
	ミヤギテレビ	④
	KHB東日本放送	⑤
秋田	NHK総合·秋田	①
	NHK教育·秋田	②
	ABS秋田放送	④
	AKT秋田テレビ	⑧
	AAB秋田朝日放送	⑤
山形	NHK総合·山形	①
	NHK教育·山形	②
	YBC山形放送	④
	YTS山形テレビ	⑤
	テレビユー山形	⑥
	さくらんぼテレビ	⑧
福島	NHK総合·福島	①
	NHK教育·福島	②
	福島テレビ	⑧
	福島中央テレビ	④
	KFB福島放送	⑤
	テレビユー福島	⑥
茨城	NHK総合·水戸	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	放送大学	⑫
栃木	NHK総合·東京	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	とちぎテレビ	③
	放送大学	⑫

都道府県	放送局名	リモコンボタン
群馬	NHK総合·東京	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	群馬テレビ	③
	放送大学	⑫
埼玉	NHK総合·東京	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	テレ玉	③
	放送大学	⑫
千葉	NHK総合·東京	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	チバテレビ	③
	放送大学	⑫
東京	NHK総合·東京	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	東京MXテレビ	⑨
	放送大学	⑫
神奈川	NHK総合·東京	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	tvk	③
	放送大学	⑫
新潟	NHK総合·新潟	①
	NHK教育·新潟	②
	BSN	⑥
	NST	⑧
	TeNYテレビ新潟	④
	新潟テレビ21	⑤

都道府県	放送局名	リモコンボタン
富山	NHK総合･富山	③
	NHK教育･富山	②
	KNB北日本放送	①
	BBT富山テレビ	⑧
	チューリップテレビ	⑥
石川	NHK総合･金沢	①
	NHK教育･金沢	②
	テレビ金沢	④
	北陸朝日放送	⑤
	MRO	⑥
	石川テレビ	⑧
福井	NHK総合･福井	①
	NHK教育･福井	②
	FBCテレビ	⑦
	福井テレビ	⑧
山梨	NHK総合･甲府	①
	NHK教育･甲府	②
	YBS山梨放送	④
	UTY	⑥
長野	NHK総合･長野	①
	NHK教育･長野	②
	テレビ信州	④
	abn長野朝日放送	⑤
	SBC信越放送	⑥
	NBS長野放送	⑧
静岡	NHK総合･静岡	①
	NHK教育･静岡	②
	SBS	⑥
	テレビ静岡	⑧
	静岡第一テレビ	④
	静岡朝日テレビ	⑤
岐阜	NHK総合･岐阜	③
	NHK教育･名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	岐阜テレビ	⑧
愛知	NHK総合･名古屋	③
	NHK教育･名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	テレビ愛知	⑩
三重	NHK総合･津	③
	NHK教育･名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	三重テレビ	⑦
滋賀	NHK総合･大津	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	BBCびわ湖放送	③
京都	NHK総合･京都	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	KBS京都	⑤
大阪	NHK総合･大阪	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	テレビ大阪	⑦
兵庫	NHK総合･神戸	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	サンテレビ	③
奈良	NHK総合･奈良	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	奈良テレビ	⑨
和歌山	NHK総合･和歌山	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	テレビ和歌山	⑤
鳥取	NHK総合･鳥取	③
	NHK教育･鳥取	②
	山陰中央テレビ	⑧
	BSSテレビ	⑥
	日本海テレビ	①
島根	NHK総合･松江	③
	NHK教育･松江	②
	山陰中央テレビ	⑧
	BSSテレビ	⑥
	日本海テレビ	①
岡山	NHK総合･岡山	①
	NHK教育･岡山	②
	RNC西日本テレビ	④
	KSB瀬戸内海放送	⑤
	RSKテレビ	⑥
	TSCテレビせとうち	⑦
	OHKテレビ	⑧
広島	NHK総合･広島	①
	NHK教育･広島	②
	RCCテレビ	③
	広島テレビ	④
	広島ホームテレビ	⑤
	TSS	⑧
山口	NHK総合･山口	①
	NHK教育･山口	②
	KRY山口放送	④
	ｔｙｓテレビ山口	③
	ｙａｂ山口朝日	⑤
徳島	NHK総合･徳島	③
	NHK教育･徳島	②
	四国放送	①
香川	NHK総合･高松	①
	NHK教育･高松	②
	RNC西日本テレビ	④
	KSB瀬戸内海放送	⑤
	RSKテレビ	⑥
	TSCテレビせとうち	⑦
	OHKテレビ	⑧
愛媛	NHK総合･松山	①
	NHK教育･松山	②
	南海放送	④
	愛媛朝日	⑤
	あいテレビ	⑥
	テレビ愛媛	⑧
高知	NHK総合･高知	①
	NHK教育･高知	②
	高知放送	④
	テレビ高知	⑥
	さんさんテレビ	⑧
福岡	NHK総合･福岡 NHK総合･北九州	③
	NHK教育･福岡 NHK教育･北九州	②
	KBC九州朝日放送	①
	RKB毎日放送	④
	FBS福岡放送	⑤
	TVQ九州放送	⑦
	TNCテレビ西日本	⑧
佐賀	NHK総合･佐賀	①
	NHK教育･佐賀	②
	STSサガテレビ	③
長崎	NHK総合･長崎	①
	NHK教育･長崎	②
	NBC長崎放送	③
	KTNテレビ長崎	⑧
	NCC長崎文化放送	⑤
	NIB長崎国際テレビ	④
熊本	NHK総合･熊本	①
	NHK教育･熊本	②
	RKK熊本放送	③
	TKUテレビ熊本	⑧
	KKTくまもと県民	④
	KAB熊本朝日放送	⑤
大分	NHK総合･大分	①
	NHK教育･大分	②
	OBS大分放送	③
	TOSテレビ大分	④
	OAB大分朝日放送	⑤
宮崎	NHK総合･宮崎	①
	NHK教育･宮崎	②
	MRT宮崎放送	⑥
	UMKテレビ宮崎	③
鹿児島	NHK総合･鹿児島	③
	NHK教育･鹿児島	②
	MBC南日本放送	①
	KTS鹿児島テレビ	⑧
	KKB鹿児島放送	⑤
	KYT鹿児島読売TV	④
沖縄	NHK総合･那覇	①
	NHK教育･那覇	②
	RBCテレビ	③
	QAB琉球朝日放送	⑤
	沖縄テレビ（OTV）	⑧

別売りアクセサリーについて

本機は以下の壁掛けユニットなどに対応しています(2009年8月現在)。
壁掛けユニットなどは確実な取り付けが必要です。必ず専門業者に取り付けを依頼してください。本書とともにお使いの別売りアクセサリーの取扱説明書をよくお読みのうえ、確実な取り付けを行ってください。

壁掛けユニットを使う

壁掛けユニット　SU-WL700

取り付け時に本機に付属の部品を使います。

スペーサー(黒色)(4個)

本機との設置について

別売りアクセサリーの取扱説明書にある設置手順に対応して本機では以下の作業が必要です。本書とあわせてアクセサリーの取扱説明書もご覧ください。設置手順のあとに(　)付きの数字が表示されている説明では、別売りアクセサリーの取扱説明書で同じ数字のある説明もご覧ください。

1 壁掛けユニットの部品を確認する(1)。

壁掛けユニットの取扱説明書をご覧ください。

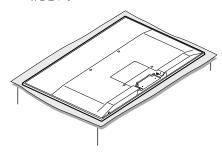
2 取り付け位置を決める(2-1)。

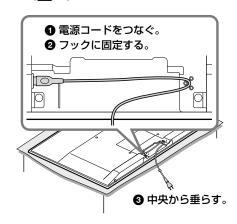
この取扱説明書☞159ページのディスプレイユニット取り付け寸法表を参照して、取り付け位置を決めてください。

3 ベースブラケットを壁に取り付ける(2-2 ～ 3)。

壁掛けユニットの取扱説明書をご覧ください。

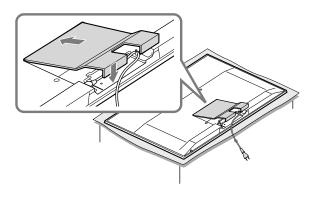
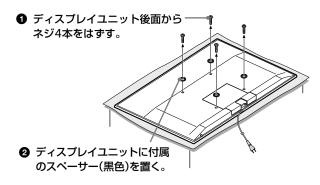
4 必要に応じてスタンドをはずす(4-1)。

- お買い上げ時の状態では、スタンドは取り付けられていませんので、ディスプレイユニットの画面を下にして置いてください。

- すでにスタンドが取り付けられている場合は、端子カバーとスタンドをはずしてください(☞「端子カバーのはずしかた」183ページ、「スタンドのはずしかた」15ページ)。

5 ディスプレイユニットに付属の電源コードをつなぐ(5-1)。

6 ディスプレイユニットに付属の端子カバーを取り付ける(角度をつける場合のみ)。

ご注意

ディスプレイユニットを垂直に取り付けて使用する場合(0°)は、端子カバーを取り付けられません。

その他

7 スペーサーを置く。

8 マウンティングブラケットとロックブラケットを取り付ける(4-3 ～ 4-7)。

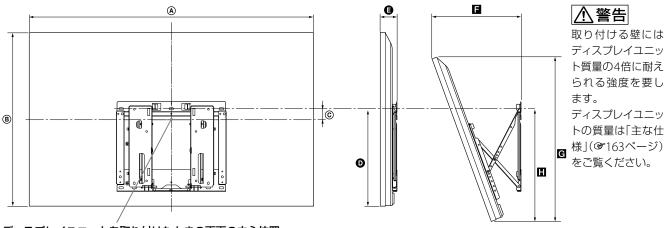
壁掛けユニットの取扱説明書をご覧ください。

9 壁紙Ⓛを準備する(5-2)。

❶ この取扱説明書のディスプレイユニット取り付け寸法表(☞下記)を参照して、取り付け位置を決める。

❷ 壁掛けユニットの取扱説明書をご覧になり、型紙を壁に貼る。

引き続き壁掛けユニットの取扱説明書をご覧になり、ディスプレイユニットを壁に取り付けてください(5-3 ～ 6)。

ディスプレイユニット取り付け寸法表(SU-WL700)

⚠警告

取り付ける壁にはディスプレイユニット質量の4倍に耐えられる強度を要します。
ディスプレイユニットの質量は「主な仕様」(☞163ページ)をご覧ください。

単位:mm

ディスプレイユニット型名	ディスプレイユニット寸法		画面中心寸法	取り付け角度による長さ				
				角度0°		角度20°		
	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	F	G	H
KDL-46ZX5	1134	718	60	437	61	346	677	498
KDL-52ZX5	1271	799	19	437	62	375	753	498

取り付け寸法は取り付け状態により若干異なることがあります。

次のページにつづく⇨

ご注意

- ディスプレイユニットを壁やフロアスタンドに取り付けた後では、電源コードをつなぐことはできません。
- 壁掛けユニットやフロアスタンドを使うときは、[スピーカー特性]を[壁掛け／壁寄せ]に設定してください(☞90ページ)。
- ディスプレイユニットを壁やフロアスタンドに取り付けるときは、ディスプレイユニットの下に敷いた布などといっしょにディスプレイユニットを持ち上げてください。

フロアスタンドを使う

フロアスタンド　SU-FL71M
SU-FL71L

取り付け時に本機に付属の部品を使います。

スペーサー（銀色）（4個）

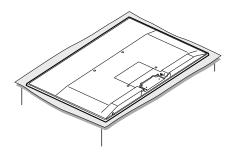
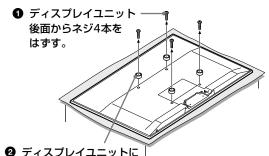
フロアスタンド取付用ネジ（M6×20mm）（4本）

本機との設置について

別売りアクセサリーの取扱説明書にある設置手順に対応して本機では以下の作業が必要です。本書とあわせてアクセサリーの取扱説明書もご覧ください。

はじめにフロアスタンドに付属の取扱説明書の「1 フロアスタンドを組み立てる」からご覧になり、フロアスタンドの組み立てを行ってください。
組み立て後、「2 テレビの取り付け準備をする」のかわりに、下記の手順を行ってください。

1 必要に応じてスタンドをはずす。

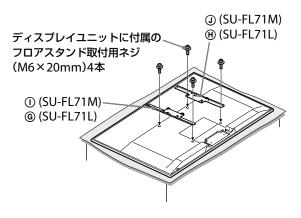
- お買い上げ時の状態では、スタンドは取り付けられていませんので、ディスプレイユニットの画面を下にして置いてください。

- すでにスタンドが取り付けられている場合は、端子カバーとスタンドをはずしてください（☞「端子カバーのはずしかた」183ページ、「スタンドのはずしかた」15ページ）。

2 スペーサーを置く。

ご注意

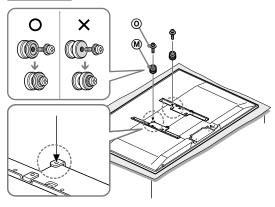
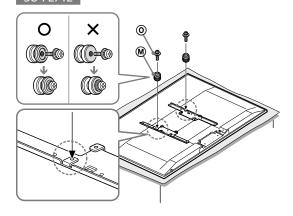
- ディスプレイユニットを壁やフロアスタンドに取り付けた後では、電源コードをつなぐことはできません。
- 端子カバーは取り付けないでください。取り付けるとディスプレイユニットをフロアスタンドに設置できません。
- 壁掛けユニットやフロアスタンドを使うときは、［スピーカー特性］を［壁掛け／壁寄せ］に設定してください（☞90ページ）。
- ディスプレイユニットを壁やフロアスタンドに取り付けるときは、ディスプレイユニットの下に敷いた布などといっしょにディスプレイユニットを持ち上げてください。

3 ブラケットⒾⒿ(SU-FL71M)またはブラケットⒼⒽ(SU-FL71L)をディスプレイユニットに取り付ける。

❶ 手順2ではずしたネジ穴に合わせてブラケットを置く。

❷ ディスプレイユニットに付属のフロアスタンド取付用ネジ(M6×20mm)4本で固定する。

角穴が中央より上部になるように、
左右を正しく置いてください。

4 フックⓂをブラケットに取り付ける。

SU-FL71M

SU-FL71L

5 ディスプレイユニットに付属の電源コードをつなぐ。

引き続きフロアスタンドの取扱説明書をご覧になり、ディスプレイユニットをフロアスタンドに取り付けてください(3 ～ 5)。

その他

主な仕様

	メディアレシーバーユニット	MBT-WZ5
システム	受信方式	NTSC方式、地上デジタル放送方式、BSデジタル放送方式、110度CSデジタル放送方式
	受信チャンネル	VHF 1 ～ 12チャンネル、UHF 13 ～ 62チャンネル、CATV（ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要）、地上アナログ：C13 ～ C63、地上デジタル･BSデジタル･110度CSデジタル（テレビ･ラジオ･独立データ）の各チャンネル
	BSデジタル･110度CSデジタル対応周波数	1022 ～ 2072MHz
	BSデジタル･110度CSデジタル対応ローカル周波数	10.678GHz
入出力端子	アンテナ端子	VHF/UHF、BS/110度CS IF 75Ω F型コネクター（コンバーター用電源出力、DC15/11V最大4W、芯線側＋、オート／入／切、メニュー切り換え）
	ビデオ1、2入力端子	S2映像：4ピンミニDIN　Y：1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負　C：0.286Vp-p（バースト信号）、75Ω 映像：ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負 音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
	コンポーネント1、2入力端子	D5映像：D端子　Y：1Vp-p（0.3V負同期付き）　PB/PR、CB/CR：±350mVp-p、入力インピーダンス75Ω 音声：ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
	HDMI1 ～ 4入力端子	映像：デジタルRGB/Y CB（PB） CR（PR） 音声：PCM（32kHz、44.1kHz、48kHz）、ドルビーデジタル、MPEG2 AAC（デジタル放送） （アナログ）音声（HDMI1入力のみ）：PC音声入力端子を兼用
	音声出力（可変／固定）端子	2ch出力、ピンジャック、最大出力レベル 2.0Vrms、出力インピーダンス 5kΩ
	光デジタル音声出力端子	角型端子、PCM（32kHz、44.1kHz、48kHz）、ドルビーデジタル、MPEG2 AAC（デジタル放送）
	電話回線端子	モジュラージャック、直流抵抗値 294Ω
	LAN（10/100）端子	10BASE-T/100BASE-TXコネクター（ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は10BASE-T/100BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。）
	PC入力端子	RGB映像：Mini D-Sub15ピン　RGB信号：0.7Vp-p、75Ω同期信号：TTLレベル、2.2kΩ 音声：ステレオミニジャック、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上
	USB端子	Hi-Speed USB
電源部、その他	モデム通信速度	2400bps
	使用温度	0℃～ 40℃
	消費電力	36W
	消費電力（待機時）	0.45W（リモコン待機時　ただし、データ取得時を除く）、30W（高速起動「入」時）
	最大外形寸法（幅×高さ×奥行き）	43.0×6.8×28.2cm
	質量	4.1kg
	電源	AC100V、50/60Hz
	付属品	「付属品を確かめる」（☞12ページ）をご覧ください。

ディスプレイユニット		KDL-46ZX5	KDL-52ZX5
システム	使用スピーカー	フルレンジ 3.4×10.4cm楕円型(2)、 ツイーター 1.8×4.0cm楕円型(2)	
	音声出力	実用最大出力:10W+10W、 負荷インピーダンス:7Ω	
電源部、その他	使用温度	0℃～40℃	
	消費電力	198W	218W
	消費電力(待機時)	0.3W(リモコン待機時　ただし、データ取得時を除く)、16W(高速起動「入」時)	
	受信機型サイズ	46V	52V
	パネル解像度	1920×1080×3(RGB)(ドット:水平×垂直)	
	有効画面サイズ(幅･高さ･対角)	101.8･57.3･116.8cm	115.2･64.8･132.2cm
	視野角(左右／上下)	178/178度(JEITA規格準拠コントラスト比10:1)	
	最大外形寸法(最大突起部分を除く)(幅×高さ×奥行き)	113.4×71.8×5.8cm 113.4×76.1×31.9cm(スタンド含む)	127.1×79.9×5.9cm 127.1×84.2×31.9cm(スタンド含む)
	質量	22.7kg 26.9kg(スタンド含む)	28.2kg 32.4kg(スタンド含む)
	電源	AC100V、50/60Hz	
	付属品	「付属品を確かめる」(☞12ページ)をご覧ください。	

次のページにつづく⇨

PC入力対応信号表

解像度	水平[pixel]／垂直[line]	水平周波数[kHz]／垂直周波数[Hz]	VESA規格
VGA	640/480	31.5/60	－
SVGA	800/600	37.9/60	○
XGA	1024/768	48.4/60	○
WXGA	1280/768	47.4/60	○
	1280/768	47.8/60	○
	1360/768	47.7/60	○
SXGA	1280/1024	64.0/60	○
HDTV	1920/1080	67.5/60	－

- Sync on Green/Composite Sync/Interlace信号には対応していません。
- PC入力対応信号表以外の信号を入力した場合、正しく表示されなかったり、各種設定ができなかったりすることがあります。
- 本機は垂直周波数が60Hzの入力信号を推奨しています。
- 接続状況によっては、映像がにじんだりぼやけたりして、正しく表示されないことがあります。その場合、パソコンの設定を変更してPC入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。
- ご使用のパソコンによっては、1920 pixel×1080 line/60Hz出力が選べないものがあります。また、1920 pixel×1080 line/60Hz出力が選べる場合でも、本機で動作確認されている1920 pixel×1080 line/60Hzとは異なる信号が出力されるものがあります。これらの場合、パソコンの設定を変更してPC入力対応信号表にある他の入力信号を選んでください。

D端子について

デジタル放送には次のような信号フォーマットがあります。

信号フォーマット	走査線数	有効走査線数
525i(480i)	525本	480本
525p(480p)	525本	480本
1125i(1080i)	1125本	1080本
750p(720p)	750本	720本
1125p(1080p)	1125本	1080本

iはインターレース:飛び越し走査、pはプログレッシブ:順次走査の略です。
( )内は有効走査線数で数えたときの別称です。

デジタル放送の信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	525i	525p	1125i	750p	1125p
D1端子	○	×	×	×	×
D2端子	○	○	×	×	×
D3端子	○	○	○	×	×
D4端子	○	○	○	○	×
D5端子	○	○	○	○	○

別売りアクセサリー

2009年8月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

フロアスタンド　SU-FL71L
SU-FL71M
壁掛けユニット　SU-WL700
接続ケーブルなど
衛星アンテナなど

- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。
  JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
  Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- “XMB”、および“クロスメディアバー”は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- "FACE DETECTION"のロゴはソニー株式会社の商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- DLNA and DLNA CERTIFIED are trademarks and/or service marks of Digital Living Network Alliance.
- AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- 「アクトビラ」マーク、および「ａｃＴＶｉｌａ」、「アクトビラ」は、株式会社アクトビラの商標または登録商標です。
- 「おサイフケータイ」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- FeliCa（フェリカ）はソニー株式会社の登録商標です。
- 「POCKETCHANNEL」、「ポケットチャンネル」はソニー株式会社の登録商標です。
- 「Edy（エディ）」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- 「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルの登録商標です。
- 本機は電気通信事業法の規定に基づく技術基準適合認定モデルです。

機器名	認証番号
KDL-46ZX5	A09-0128005
KDL-52ZX5	A09-0128005

- このテレビは日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

この度は弊社製品 (以下「本製品」) をお買い上げいただきありがとうございます。
本製品のご使用を開始される前に必ず、本製品に含まれるソフトウェアに関するこのお知らせをお読みください。
お客様による本製品の使用開始をもって、このお知らせの内容をご確認の上、ご同意いただけたものとさせていただきます。

ソフトウェア使用許諾契約書

本製品に含まれるソフトウェア(以下「許諾ソフトウェア」とします)につきまして、下記のソフトウェア使用許諾契約書及び本冊子の次のページ以降に記載されております各「お知らせ」をご確認ください。

なお、下記のソフトウェア使用許諾契約書と、各「お知らせ」に記載されておりますソフトウェアの使用許諾条件に矛盾又は齟齬などがある場合には、各「お知らせ」にかかるソフトウェアの範囲において、各「お知らせ」に記載されております使用許諾条件が優先致します。

ソフトウェア使用許諾契約書

本契約は、お客様 (以下「使用者」とします) と弊社 (以下「ソニー」とします) との間における許諾ソフトウェアの使用許諾に関する条件を規定しております。

第1条 (総則)
許諾ソフトウェアは、日本国内外の著作権法並びに著作者の権利及びこれに隣接する権利に関する諸条約その他知的財産権に関する法律によって保護されています。許諾ソフトウェアは、本契約の条件に従いソニーから使用者に対して使用許諾されるもので、許諾ソフトウェアの著作権等の知的財産権は使用者に移転いたしません。

第2条 (使用権)
1. ソニーは、許諾ソフトウェアの日本国内における非独占的な使用権を使用者に許諾します。
2. 前項に定める使用権とは、本製品上においてのみ、使用者が許諾ソフトウェアを使用する権利をいいます。
3. 許諾ソフトウェアの使用は私的範囲に限定されるものとし、使用者は許諾ソフトウェアを営利目的に用いてはならないものとします。

第3条 (許諾条件)
1. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部又は全部を複製、複写若しくは修正、追加等の改変をしてはならないものとします。
2. 使用者は、許諾ソフトウェアを日本国外に輸出又は移送してはならないものとします。
3. 使用者は、許諾ソフトウェアに関し、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイル等のソースコード解析作業を行ってはならないものとします。
4. 使用者は、許諾ソフトウェアの一部を許諾ソフトウェアから切り離して単独のソフトウェアとして使用してはならないものとします。
5. 使用者は、許諾ソフトウェアを再使用許諾、貸与又はリースその他の方法で第三者に使用させてはならないものとします。
6. 使用者は、許諾ソフトウェアを使用して、ソニーを含む第三者の著作権、特許権その他の知的財産権を侵害するような行為を行ってはならないものとします。
7. 使用者は、本製品と共に許諾ソフトウェアの一切 (全ての構成部分、マニュアルなどの関連書類、電子文書及び本契約文書を含みます) を譲受人に譲渡し、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意することを条件とし、許諾ソフトウェア及び前条に規定するその使用権を第三者に譲渡することができるものとします。尚、許諾ソフトウェアの一切が譲受人に譲渡され、かつ当該譲受人が本契約の全条項に同意した時点をもって、当該譲受人とソニーとの間で本契約の内容を条件とする契約が成立し、かつ、元の使用者とソニーとの間での本契約は解除されるものとします。

第4条 (許諾ソフトウェアの権利)
許諾ソフトウェアに関する著作権等一切の権利は、ソニー及びソニーが許諾ソフトウェアに含まれるソフトウェアの使用、再許諾を許諾された原権利者 (以下「原権利者」といいます) に帰属するものとし、使用者は、許諾ソフトウェアに関して本契約に基づき許諾された使用権以外の権利を有しないものとします。

第5条 (無保証)
許諾ソフトウェアの使用は、使用者の責任で行っていただくものとします。許諾ソフトウェアは現状有姿でソニーから使用者に対して提供されるものとし、ソニー及び原権利者は使用者に対して、エラー･バグ等の不具合がないこと、中断なく稼動すること、有用であること、使用者のご利用目的に合致していること等を含め、許諾ソフトウェアに関し明示であると黙示であるとを問わず何らの保証も行わないものとします。

第6条 (ソニー及び原権利者の免責)
許諾ソフトウェア (全ての構成部分、媒体、電子文書、マニュアルなどの関連書類を含みます) に関連して使用者又は第三者に生じた損害に対して、ソニー及び原権利者が負うべき責任の範囲は、許諾ソフトウェアの使用権取得に際して使用者が負担された金額を超えないものとします。但し、これを制限する別途法律の定めがある場合はこの限りではありません。

第7条 (第三者に対する責任)
使用者が許諾ソフトウェアを使用することにより、第三者との間で著作権、特許権その他の知的財産権の侵害を理由として紛争が生じた場合、使用者自身が自らの費用で解決するものとし、ソニー及び原権利者に一切の迷惑をかけないものとします。

第8条 (許諾ソフトウェアのアップデート)
使用者は、許諾ソフトウェアの機能の向上、エラーの修正等の目的のため、ソニー、原権利者、放送事業者又はそれらが委託した第三者が、インターネット、放送、外部機器等を利用して、許諾ソフトウェアを適宜アップデートすること、及びアップデートされた許諾ソフトウェアについても本契約の各条件が適用されることに同意するものとします。

第9条 (契約解除)
1. ソニーは、使用者において次の各号の一に該当する事由が生じた場合、直ちに本契約を解除し、又はそれによって蒙った損害の賠償を使用者に対し請求できるものとします。
   (1) 本契約に定める条項に違反したとき
   (2) 差押、仮差押、仮処分その他強制執行の申立を受けたとき
2. 本契約解除後といえども、第1条、第4条乃至第7条、第10条および第11条の規定は、有効に存続するものとします。

第10条 (許諾ソフトウェアの廃棄)
前条の規定により本契約が終了した場合、使用者は、直ちに許諾ソフトウェアの使用を中止し、許諾ソフトウェアの全てを廃棄するか、ソニーに対して返還するものとします。ソニーが要求した場合、使用者は許諾ソフトウェアを廃棄した旨を証明する文書をソニーに差し入れるものとします。

第11条 (その他)
1. 本契約の一部が法律によって無効となった場合でも、当該条項以外は有効に存続するものとします。
2. 本契約の準拠法は、日本国の法律とします。
3. 本契約に定めなき事項若しくは本契約の解釈に疑義を生じた場合には、ソニー及び使用者は誠意をもって協議し、解決するものとします。

以　上

GNU GPL/LGPL 適用ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、以下のGNU General Public License (以下「GPL」とします) またはGNU Lesser General Public License (以下「LGPL」とします) の適用を受けるソフトウェアが含まれております。
お客様は添付のGPL/LGPLの条件に従いこれらのソフトウェアのソースコードの入手、改変、再配布の権利があることをお知らせいたします。

パッケージリスト

linux-kernel
busybox
glibc
pump-autoip
libjs

これらのソースコードは、Web でご提供しております。ダウンロードする際には、以下のURL にアクセスしてください。
http://www.sony.net/Products/Linux/
なお、ソースコードの中身についてのお問い合わせはご遠慮ください。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights.
These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

次のページにつづく ⇨

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program `Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Library General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.
To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:
   a) The modified work must itself be a software library.
   b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
   c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.
   d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

   (For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

   These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

    a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
    b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

次のページにつづく ⇨

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

BSDに関するお知らせ

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. The names of the authors may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

以　上

JPEGに関するお知らせ

本製品の一部には、Independent JPEG Group の研究成果を使用しています。

以上

FreeType2に関するお知らせ

This software is based in part of the work of the FreeType Team.

以上

モリサワフォントに関するお知らせ

本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。

以上

OpenSSL ソフトウェアに関するお知らせ

本製品には、弊社がその著作権者とのライセンス契約に基づき使用しているソフトウェアである「OpenSSL (「Original SSLeay」と称するライブラリーを含む)」が搭載されております。当該 ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は、以下の内容をお客様に通知する義務があります。

下記内容をご一読くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

<OpenSSL>
Copyright (c) 1998-2006 The OpenSSL Project. All rights reserved.
Copyright (c) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/).

= OpenSSL License =
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

= Original SSLeay License =
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word "cryptographic" can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

以　上

Expatに関するお知らせ

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd and Clark Cooper
Copyright (c) 2001, 2002, 2003 Expat maintainers.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

以上

CURLに関するお知らせ

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2006, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

以上

SEEに関するお知らせ

Copyright (c) 2003, 2004
David Leonard. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Mr Leonard nor the names of the contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY DAVID LEONARD AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL DAVID LEONARD OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

_ _

The author of this software is David M. Gay.

Copyright (c) 1991, 2000 by Lucent Technologies.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software and in all copies of the supporting documentation for such software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, NEITHER THE AUTHOR NOR LUCENT MAKES ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

以上

AGGに関するお知らせ

The Anti-Grain Geometry Project
A high quality rendering engine for C++
http://antigrain.com

Anti-Grain Geometry - Version 2.3
Copyright (C) 2002-2005 Maxim Shemanarev (McSeem)

Permission to copy, use, modify, sell and distribute this software is granted provided this copyright notice appears in all copies.
This software is provided "as is" without express or implied warranty, and with no claim as to its suitability for any purpose.

以上

libpixmanに関するお知らせ

libpixregion

Copyright 1987, 1998 The Open Group

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation.

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE OPEN GROUP BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of The Open Group shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from The Open Group.

Copyright 1987 by Digital Equipment Corporation, Maynard, Massachusetts.

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify, and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Digital not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission.

DIGITAL DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL DIGITAL BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

_ _

libic

Copyright © 2001 Keith Packard

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Keith Packard not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Keith Packard makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

KEITH PACKARD DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL KEITH PACKARD BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

_ _

slim

slim is Copyright © 2003 Richard Henderson

Permission to use, copy, modify, distribute, and sell this software and its documentation for any purpose is hereby granted without fee, provided that the above copyright notice appear in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of Richard Henderson not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific, written prior permission. Richard Henderson makes no representations about the suitability of this software for any purpose. It is provided "as is" without express or implied warranty.

RICHARD HENDERSON DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS, IN NO EVENT SHALL RICHARD HENDERSON BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

以上

giflibに関するお知らせ

The GIFLIB distribution is Copyright (c) 1997 Eric S. Raymond

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

以上

使用上のご注意

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。屋外や窓際には置かないでください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上に物を置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(滅点)が表れたりしますが、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密な技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素があります。

メモリーに保存されるデータに関するご注意

- 本機のメモリーには、各種機能の設定時にIPアドレス、ブックマークなどが、また、ご使用にあたってメール、番組購入履歴などが記録されます。
- 本機のメモリーには、放送事業者の要求によりお客様が入力した個人情報や、データ放送のポイントなどが記録される場合があります。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。消去方法について詳しくは、100ページをご覧ください。
- 本機の不具合・修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損・消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください。

液晶画面、外装のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面に触れないようにしてください。
- 画面や外装の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布または、付属のクリーニングクロスでふきとってください。外装の汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布または、付属のクリーニングクロスでカラぶきしてください。
- アルコールやベンジン、シンナーなどは使わないでください。表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 布または、付属のクリーニングクロスにゴミが付着したまま強くふいた場合、傷が付くことがあります。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

マルチリモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの無線通信についてのご注意

- 本機は暗号機能を搭載していますが、傍受*にご注意ください。本機は無線通信を使用しているため、第三者が故意に傍受する可能性があります。機密を要する重要な通信または人命に関わる用途には使用しないでください。

* 傍受とは、無線通信の内容を第三者が受信機で故意または偶然に受信することです。

- 設置場所の無線通信の状態により、映像、音声に乱れ(画質劣化、途切れ、ノイズ、雑音)が発生することがあります。
  - 人や動物が動いた場合
  - 物が動いた場合(カーテン、ふすま、障子など)
  - ラックの上下に配置した場合
  - 冷蔵庫などの大型・金属製の家具、器具などの影にある場合
  - ホームパーティなどでの人ごみ
- 主電源を入れたときや無線通信が一時停止したときに、無線通信が開始し本機のシステムが起動するために15～20秒程度必要です。この間はメディアレシーバーユニット側の制御はできません。
- メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの配置間隔は、50cm以上10m以内で設置してください。
- 最大の通信距離は約10mですが、設置場所の環境により短くなります。
- メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの間には、何も置かないようにしてください。
- 次のような環境で使用すると、メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットとの間で電波が通りにくくなり、通信距離が短くなることがあります。
  - 鉄筋／コンクリート／石の壁や床／床暖房の入った部屋
  - 鉄製の間仕切りやドア、防火ガラス、金属などの材料を使った家具や電化製品などがメディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの間にある場合

－ガラスなどの材料の扉の付いたラックにメディアレシーバーユニットを収納した場合
- メディアレシーバーユニットは、金属性のラックには設置しないでください。無線通信に支障をきたします。
- 鏡や金属板、金属でできた壁面と平行に向かい合う位置に、ディスプレイユニットを設置しないでください。無線が干渉して画像に乱れが発生します。
- 映像や音声に乱れが発生した場合には、メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの配置を確認してください。
- お買い上げ時のメディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの組み合わせのみ、無線通信（60GHz）ができます。
- パソコンの画像や電子番組表などの静止画を表示したときには、無線通信の状態によっては画質が劣化する場合があります。
- 信号の内容により映像や音声の遅れを感じることがあります。
- 本機は国内安全規格に基づいて製品化されていますが、まれに他の機器と干渉してノイズを発生することがあります。干渉がある場合は、他の機器との距離を離してください。
- 法律で禁止されている事項があります。
  この製品は、電波法38条の2第1項に基づく技術基準適合証明を受けた特定無線設備を使用しているため、ご利用に際しては下記に記載する使用条件を遵守してくださいますよう、お願いいたします。なお、使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねます。
  －本機内蔵の無線装置を分解/改造ならびに変更をしない。
  －本機内蔵の無線装置に貼られている証明のラベルを剥がさない。
- この機器は2.4GHz帯および60GHz帯の無線周波数帯を使用していますが、他の無線装置も同じ周波数を使っていることがあります。この機器と他の無線装置間との電波干渉を防止するために、下記事項に注意してご使用ください。
  この無線装置の使用周波数は2.4GHz帯および60GHz帯を使用します。変調方式として2.4GHz帯はDS-SSおよびオフセットQPSK方式、60GHz帯はOFDM方式を採用しています。
- この製品は、日本国内でのみ使用可能です。

＜2.4GHz帯の場合＞

この機器の使用周波数は2.4GHz帯を含んでいます。この周波数帯では電子レンジなどの産業･科学･医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

- 電子レンジ使用中に2.4GHz帯を使用した場合本機の無線通信が電子レンジの発する電波の干渉を受け、画像が乱れることがあります。電子レンジから離れた場所で本機を使用してください。電子レンジを使用していないときは、本機は干渉を受けません。
- 近くで2.4GHz、IEEE802.11b/g/n準拠の無線LANアクセスポイントまたは、無線装置を使用しているとき、電波の干渉を受ける場合があります。

＜60GHz帯の場合＞

20m四方のエリアでは、本機を含む2組以上の60GHz帯の無線装置を動作させないでください。電波の干渉により無線通信ができないことがあります。

この機器には技術的条件適合認定を受けた無線設備が内蔵されており、証明ラベルは無線設備上に添付されております。

廃棄するときのご注意

家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの液晶テレビを廃棄される場合は、収集･運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

- 指定された種類の電池を使用する。
- **廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

もし電池の液が漏れたときは、マルチリモコンの電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

安全点検チェックリスト

愛情点検

安全点検項目

イラストはディスプレイユニットの例です。
本機ではメディアレシーバーユニットも同様に確認してください。

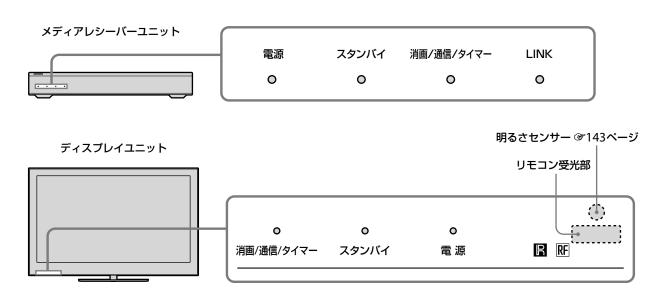
❶	布やテーブルクロスなどで**通風孔をふさいで**いませんか	**設置場所と設置方法**
❷	**水気、油気、湿気、ほこりの多いところ**に置いていませんか	
❸	**不安定な場所**に置いたり、**不安定な置きかた**をしていませんか	
❹	電源コードが**物(椅子、机、台など)の下敷き**になっていませんか	**電源コードとプラグ**
❺	**たこ足配線**をしていませんか	
1	電源コードを動かしたとき、**電源が入ったり切れたり**しませんか	
2	電源コードが窮屈に**折れ曲がったり、キズがついたり**していませんか	
3	電源コードやプラグが**異常な熱**を持っていませんか	
4	**異常な熱や煙**が発生したり**変な臭いや音**(パチパチ)がしませんか	**本体**
5	電源を入れても**画像や音が出ない**ことがありませんか	
6	**画像や音が途切れたり、乱れたり**しませんか	
7	**通風孔から水や異物**(紙·虫·クリップ·ピンなど)が入った形跡がありませんか	
8	**故障状態のまま**使用していませんか	

その他

	点検結果 年／月 ○良い ×悪い					処置手順
❸						×印の項目があるとき そのままお使いになりますと故障や事故の原因になることがあります。 正しく安全な設置場所や設置方法に必ず改善してください。
3						1つでも×印があるとき **すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。** お買い上げ店、またはソニーご相談窓口にご相談ください。
6						

その他

各部の名前

本機前面のランプ

ご注意

リモコン受光部／明るさセンサーの前には物を置かないでください。

ランプの点灯・点滅について

イラストはメディアレシーバーユニットのランプです。

主電源「切」のとき

電源	スタンバイ	消画/通信/タイマー	LINK
○	○	○	○

電源スタンバイ中

電源	スタンバイ	消画/通信/タイマー	LINK
○	赤点灯	○	○

電源を入れたとき（☞25ページ）

電源	スタンバイ	消画/通信/タイマー	LINK
赤点灯	赤点灯	赤点灯	○

電源が入っているとき

電源	スタンバイ	消画/通信/タイマー	LINK
緑点灯	○	○	○

消画中（☞97ページ）

電源	スタンバイ	消画/通信/タイマー	LINK
緑点灯	○	緑点灯	○

通信中（☞51ページ）

電源	スタンバイ	消画/通信/タイマー	LINK
緑点灯	○	オレンジ点滅	○

衛星アンテナ電源のショートなど（☞130ページ）

電源	スタンバイ	消画/通信/タイマー	LINK
緑点滅	○	○	○

自己診断表示（☞124ページ）

電源	スタンバイ	消画/通信/タイマー	LINK
○	赤点滅	○	○

主電源「切」以外のときは、上記に加えて、次のランプも点灯します。

スリープタイマー／オンタイマー作動中（☞98ページ）

ただし、消画中は緑色に点灯します。

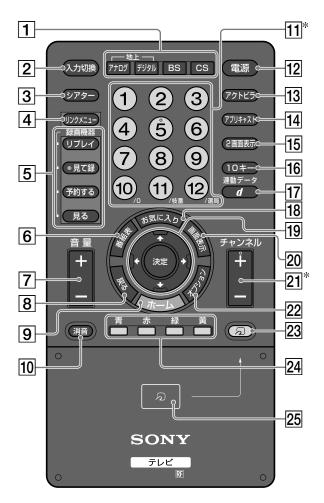
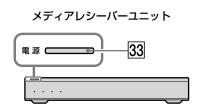
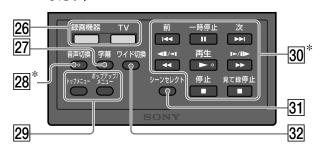
電源	スタンバイ	消画/通信/タイマー	LINK
○	○	オレンジ点灯	○

無線接続中（☞136ページ）

電源	スタンバイ	消画/通信/タイマー	LINK
○	○	○	緑点灯

次のページにつづく⇨

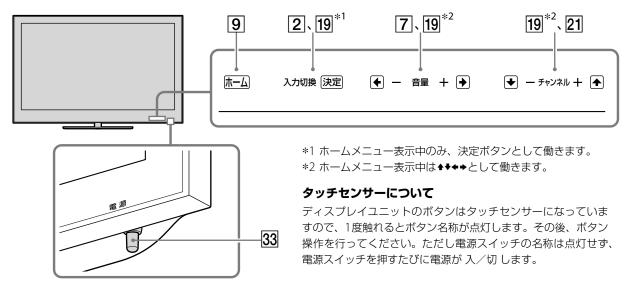
マルチリモコンと本体のボタン

マルチリモコン

本体

ふたの中

＊ の付いたボタン（チャンネル＋ボタン、音声切換ボタン、再生ボタン、数字ボタンの「5」）の上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

ディスプレイユニット

*1 ホームメニュー表示中のみ、決定ボタンとして働きます。
*2 ホームメニュー表示中は↑↓←→として働きます。

タッチセンサーについて

ディスプレイユニットのボタンはタッチセンサーになっていますので、1度触れるとボタン名称が点灯します。その後、ボタン操作を行ってください。ただし電源スイッチの名称は点灯せず、電源スイッチを押すたびに電源が 入／切 します。

1 放送切換用ボタン(地上アナログ、地上デジタル、BS、CS)(☞47ページ)

2 入力切換(☞64ページ)

3 シアター(☞76ページ)

シアターモードになります。映画の視聴に適した映像に自動で設定します。HDMIケーブルでAVアンプとつないでいれば、スピーカー出力も自動で切り換わります(☞78ページ)。
もとの設定に戻すには、もう一度ボタンを押してください。

ご注意

電源を切ると設定が「切」に戻ります。

4 リンクメニュー(☞76ページ)

HDMI入力につないだHDMI機器を選び、機器の操作メニューを表示します。

5 他機器操作用ボタン(☞76ページ)

6 番組表(☞47、58ページ)

7 音量+／−

音量を調節します。

8 戻る

1つ前の画面に戻ります。

9 ホーム(☞42ページ)

10 消音

消音になります。電源スタンバイ時に押すと、最小の音量で電源が入ります。音量+ボタンを押すと、音声が出ます。

11 数字

チャンネルを切り換えたり(☞47ページ)、数字を入力します。

12 電源スイッチ

電源を入／スタンバイします。

13 アクトビラ(☞108ページ)

14 アプリキャスト(☞114ページ)

15 2画面表示(☞55ページ)

16 10キー(☞47ページ)

17 連動データ*d*(☞51ページ)

18 お気に入り(☞49ページ)

19 ↑↓←→決定

↑↓←→でホームメニューなどの項目を選んだり、カーソルの移動をします。
決定で選んだ項目を決定します。

20 画面表示

チャンネルや番組情報、時計などの表示／非表示を切り換えます。

ご注意

[表示設定]で[時計表示]を[入]に設定しているときは、時計を非表示にできません(☞99ページ)。

次のページにつづく⇨

その他

21 チャンネル＋／－(☞47ページ)

22 オプション(☞42ページ)

23 FeliCaボタン(☞57、110ページ)

24 カラーボタン(青、赤、緑、黄)
(☞51、52ページ)

25 FeliCaポート(☞57、110ページ)

26 機器選択ボタン(☞76ページ)

27 字幕

字幕の入／切や言語を切り換えます。

ちょっと一言

- 字幕放送の取得には、時間がかかることがあります。
- 字幕ボタンを押すと、番組に字幕があるかどうかに関わらず、[第1言語]または[第2言語]、[切]に切り換わります。次に字幕のある番組が放送されたときに切り換えた字幕が表示されます。
- 字幕放送とはデジタル放送の映画やドラマなどの字幕のことです。

28 音声切換

副音声や第2音声(デジタル放送のみ)があるときに切り換えます。

ちょっと一言

チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。

29 他機器操作用ボタン(☞76ページ)

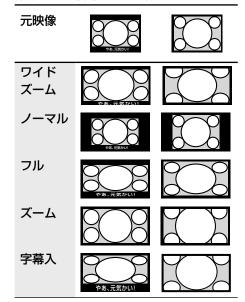
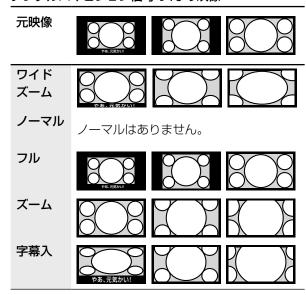
30 他機器操作用ボタン(☞76ページ)

31 シーンセレクト

押すと、下記の画面が表示されます。
↑↓←→で選んで、決定を押してください。

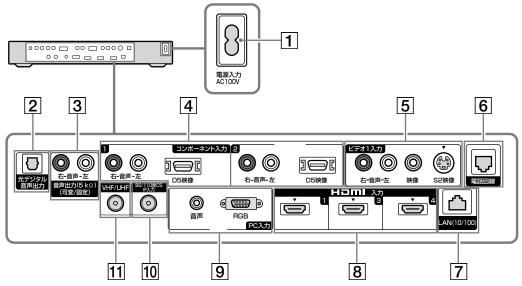
32 ワイド切換

押すと、下記の画面が表示されます。
↑↓で選んで、決定を押してください。

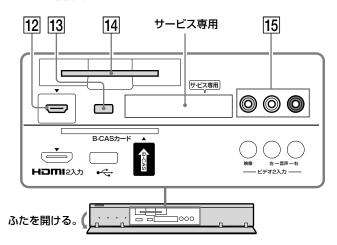
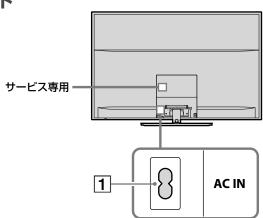
標準テレビ信号の4:3映像

デジタルハイビジョン信号の16:9映像

33 電源スイッチ

メディアレシーバーユニットとディスプレイユニットの主電源を入／切します。

接続端子

メディアレシーバーユニット後面

メディアレシーバーユニット前面

ディスプレイユニット

その他

次のページにつづく⇨

1 **電源入力AC100V端子(☞24ページ)**
付属の電源コードをつなぎます。

2 **光デジタル音声出力端子(☞34ページ)**
AVアンプやホームシアター機器などの、光デジタル音声入力端子につなぎます。
デジタル放送のデジタル音声が出力されます。
また、地上アナログやアナログ録画機器などからのアナログ音声などはPCM音声(2ch)のデジタル信号に変換して出力されます。
Super Audio CDやDVD-Audioを再生する場合、メディアレシーバーユニットと再生する機器をHDMIケーブルでつないでいるときは、メディアレシーバーユニットの光デジタル音声出力端子からは、音声は出力されない場合があります。

3 **音声出力(5kΩ)(可変／固定)端子(左／右)(☞34ページ)**
オーディオ機器の音声入力端子につなぎます。
選んでいるチャンネルや入力の音声が出力されます。

4 **コンポーネント1、2入力端子(D5映像／音声)(☞32、164ページ)**
D5映像入力端子
デジタルCSチューナーや録画機器などのD映像出力端子につなぎます。
音声入力端子
デジタルCSチューナーや録画機器などの音声出力端子につなぎます。

5 **ビデオ1入力端子(S2映像／映像／音声)(ビデオID-1システム)(☞32ページ)**
録画機器やレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどの再生機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。

6 **電話回線端子**
市販のモジュラーテレホンコードカプラーを使って電話回線コンセントにつなぎます。また、ISDN回線をお使いのときは、ターミナルアダプターのアナログポートにつなぎます。ADSL回線をお使いのときは、スプリッターと市販のモジュラーテレホンコードカプラーを使ってつなぎます。

7 **LAN(10/100)端子(☞106ページ)**
別売りのLANケーブルを使って、モデムやルーターにつなぎます。

8 **HDMI1、3、4入力端子(☞32ページ)**
DVDプレーヤーやAVアンプ、パソコンのHDMI出力端子につなぎます。デジタル映像·音声信号を入力します。
対応している映像信号:480i、480p、720p、1080i、1080p、1080/24p
対応している音声信号:リニアPCM 32kHz、44.1kHz、48kHz、ドルビーデジタル、MPEG2 AAC(デジタル放送)
アナログ音声入力端子
HDMI1入力のアナログ音声は、PC入力の音声入力端子と兼用しています。DVI端子搭載機器のアナログ音声出力端子につなぎます。

ご注意
- DVI端子搭載機器と接続する場合は、HDMI1入力に接続し、PC入力の音声入力端子に音声ケーブルを接続してください。[オートインプットスキップ設定]でPC入力の[スキップ設定]が[オート]に設定されていて、PC入力のRGB入力端子にケーブルが接続されていない場合のみ、DVI端子搭載機器の音声が出力されます。
- DVI端子搭載機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルをご使用ください。
- HDMIおよびDVI端子搭載機器と接続できますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 1080/24pが入力されているときに、2画面にして左画面に表示すると、右画面の映像がちらついて見えることがあります。

9 **PC入力端子(RGB ／音声)(☞35、164ページ)**
RGB入力端子
別売りのMini D-Sub15 - Mini D-Sub15ディスプレイケーブル(アナログRGB)を使って、パソコンのD-SUB出力端子につなぎます。Macintoshコンピューターにつなぐときは、必要に応じて市販のアダプターをお使いください。
音声入力端子
別売りの音声ケーブル(ステレオミニプラグ:抵抗なし)を使って、パソコンの音声出力端子につなぎます。
HDMI1入力の音声入力端子を兼用しています。

10 **BS/110度CS IF入力端子(☞20ページ)**
衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15/11Vの直流電圧が出ています。

ご注意
VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

11 VHF/UHFアンテナ入力端子（☞20ページ）

VHF/UHF用同軸アンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

12 HDMI2入力端子

DVDプレーヤーやAVアンプ、パソコンのHDMI出力端子につなぎます。デジタル映像･音声信号を入力します。

対応している映像信号：480i、480p、720p、1080i、1080p、1080/24p

対応している音声信号：リニアPCM 32kHz、44.1kHz、48kHz、ドルビーデジタル、MPEG2 AAC（デジタル放送）

ご注意

- DVI端子搭載機器と接続する場合は、HDMI1入力に接続し、PC入力の音声入力端子に音声ケーブルを接続してください。［オートインプットスキップ設定］でPC入力の［スキップ設定］が［オート］に設定されていて、PC入力のRGB入力端子にケーブルが接続されていない場合のみ、DVI端子搭載機器の音声が出力されます。
- DVI端子搭載機器と接続する場合は、DVI-HDMI変換用のケーブルをご使用ください。
- HDMIおよびDVI端子搭載機器と接続できますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。
- 1080/24pが入力されているときに、2画面にして左画面に表示すると、右画面の映像がちらついて見えることがあります。

13 ⭠(USB)端子（☞36ページ）

デジタルカメラなどUSB端子のある機器につなぎます。

14 B-CASカード挿入口（☞17ページ）

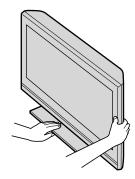
付属のB-CASカードを挿入します。

15 ビデオ2入力端子（映像／音声）（ビデオID-1システム）

テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。

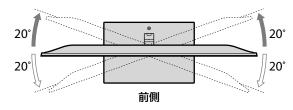
見やすい角度に調節する［スイーベル］

ご注意

- ディスプレイユニットとスタンドの間に手や指をはさまないように動かしてください。調節するときは、壁などにぶつからないようにしてください。
- 調節するときに、液晶画面には触れないでください。
- ディスプレイユニットの向きを左右に調節したときに、スタンドの角がテレビ台などからはみ出すと落下やけがの恐れがあります。はみ出さないようにスタンドの位置を調節してください。

角度を調節するときは、スタンド部分がずれたり、浮いたりしないように手で支えてください。

ディスプレイユニットの向きを左右に調節する（スイーベル）

上から見た図

前側

端子カバーのはずしかた

図のように端子カバーをおさえる。

❶を斜めに引きあげ、❷をはずし下にさげる。

その他

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

その他

た行

な行

は行

次のページにつづく⇨

ま行

や行

ら行

わ行

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

その他

ソニーご相談窓口のご案内

ソニー製品の使い方相談、修理相談、お買い物相談については下記の窓口またはお買い上げの販売店をご利用ください。
なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「故障とお考えになる前に」または「故障かな？」などを一度ご覧になり故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①**型名**　②**お買い上げ日**　③**故障症状**を具体的にご連絡ください。

【ソニー製品の使い方・修理・お買い物に関するお問い合わせ】

ホームページ　製品のサポート情報やお問い合わせについてご覧いただけます。

サポート・お問い合わせ　**http://www.sony.jp/support/**

お電話

使い方相談窓口	修理相談窓口	買い物相談窓口
フリーダイヤル:0120－333－020	フリーダイヤル:0120－222－330	フリーダイヤル:0120－777－886
携帯電話･PHS･一部のIP電話：0466－31－2511	携帯電話･PHS･一部のIP電話：0466－31－2531	携帯電話･PHS･一部のIP電話：0466－31－2546
受付時間　月～金：　9:00～18:00 土・日・祝：9:00～17:00	受付時間　月～金：　9:00～20:00 土・日・祝：9:00～17:00 ※取扱説明書、リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	受付時間　月～金：　9:00～18:00 土・日・祝：9:00～17:00

FAX（共通）0120－333－389

【 Customer Information Center Japan 】
FreeDial 0120-000-488
The number you can call from your cellular phone or PHS or IP phone is following : 0466-31-2561
Business hours : Mon.- Fri. 9:00-20:00　Sat. Sun. & Public holidays 9:00-17:00

【ソニーお客様ご相談カウンター】

ソニー製品の基本的な使い方について、サポートをさせていただく「総合相談窓口」です。
詳細はホームページhttp://www.sony.jp/support/counter/にてご確認ください。
修理に関しては修理相談窓口（フリーダイヤル 0120-222-330）へご相談ください。

名　　称	所　在　地
お客様ご相談カウンター銀座	〒104-0061　東京都中央区銀座5-3-1　ソニービル6F
お客様ご相談カウンター名古屋	〒460-0008　愛知県名古屋市中区栄1-23-10　SFI名古屋ビル1F
お客様ご相談カウンター梅田	〒530-0001　大阪府大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENT4F　ソニースタイル大阪 内
お客様ご相談カウンター福岡	〒810-0072　福岡県福岡市中央区長浜1-4-13　SFI福岡ビル1F

【出張修理受付窓口】

大型テレビなどの一部製品につきましては、出張修理を受け付けております。
出張修理は、「修理相談窓口」（フリーダイヤル 0120-222-330）へご相談ください。

【持込修理受付窓口】

お買い上げの販売店以外でも、「ソニーサービスステーション」と「ソニー修理受付認定店」で、持込修理の受け付けや付属品・部品のお取り寄せを承っております。
「ソニー修理受付認定店」につきましては、「修理相談窓口」（フリーダイヤル0120-222-330）へお問い合わせいただくか、ホームページhttp://www.sony.jp/support/でもご案内しておりますのでご利用ください。

ソニーサービスステーション一覧

名　称	電話番号	所　在　地
サービスステーション札幌	011-862-4486	〒003-0027 北海道札幌市白石区本通21丁目北1-14
サービスステーション仙台中央	022-292-1631	〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡2-5-30 SFI仙台ビル1F
サービスステーション大宮	048-653-6900	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1-210 SFI大宮ビル1F
サービスステーション品川	03-6748-3990	〒108-0075 東京都港区港南1-7-1 1F
サービスステーション秋葉原	03-5818-0521	〒110-0005 東京都台東区上野3-1-2 秋葉原新高第一生命ビル1F
サービスステーション横浜	045-231-6968	〒220-0022 神奈川県横浜市西区花咲町5-137 SFI横浜ビル1F
お客様ご相談カウンター名古屋	052-205-6860	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-23-10 SFI名古屋ビル1F
サービスステーション日本橋	06-6643-1501	〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1-13-17 ナンバ辻本ニッセイビル1F
サービスステーション京都	075-661-5040	〒601-8121 京都府京都市南区上鳥羽大物町8 SFI京都ビル1F
サービスステーション広島	082-545-4611	〒730-0811 広島県広島市中区中島町2-21 SFI広島ビル1F
お客様ご相談カウンター福岡	092-781-6682	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-4-13 SFI福岡ビル1F
サービスステーション那覇	098-877-0323	〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-17-15

●記載内容は予告なく変更になることがありますので、予めご了承ください。

（2009年10月現在）